

令和6年度
学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業

成果報告書

(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する
大規模アンケート調査等)

2025年3月31日



Build Beyond As One.

目次

1. 事業概要 p.2

1.1. 本事業の背景・目的	3
1.2. 本事業の全体像	4
1.3. 有識者会議の開催	5

2. 大規模アンケート調査の実施概要 p.6

2.1. 調査方針	7
2.2. 標本設計	8
2.3. 調査概要	9
2.4. 調査対象数	13
2.5. 調査回答数	14

3. 大規模アンケート調査等の分析結果 p.15

3.1. 分析テーマ一覧	16
3.2. 分析結果の見方	20
3.3. テーマ別分析結果	21
3.4. 追加ヒアリング調査結果	115
参考 主なデータの教科別サンプル数	116
経年変化分析の留意点	121

4. 主な分析結果のまとめ p.123

別添資料

1. アンケート調査票（教師向け調査）
2. アンケート調査票（低学年児童向け調査）
3. アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）

1. 事業概要



1. 事業概要

1.1. 本事業の背景・目的

- 学校での指導・学習の質をより高めていく上で、デジタル教科書を始めとするICT機器等の効果的な活用が重要視されています。過年度の実証事業を通じてデジタル教科書の利用は試行的に全国へと広がりましたが、令和6年度以降は、外国語を皮切りとしてデジタル教科書の段階的な導入が始まり、これまでの「**実証**」段階から、**日常的に使う「実用」段階に移行**しようとしています。
- その一方、約半数の教員がデジタル教科書をほとんど使用していないことも分かっており、未だ授業において十分に活用されているとは言えません。**デジタル教科書が効果を発揮する場面やその活用方法を可視化の上、周知し、教員のデジタル教科書活用を促進する**（デジタル教科書を活用する教員の裾野を広げる）**ことが重要です。**

デジタル教科書の導入に係るこれまでの経緯

2019

平成31年

「学校教育法」等の一部改正 / 「GIGAスクール構想」の始動

デジタル教科書を使用できるように。 / 1人1台端末環境の整備開始。

2020

令和2年

「学習指導要領」の改訂及び順次移行

社会的変化が加速する中、「主体的・対話的で深い学び」が求められるように。

2021

令和3年

1人1台端末環境での学習開始 / 実証事業の開始

義務教育段階における1人1台端末の配備が完了。

2022

令和4年

実証事業によるデジタル教科書の配布対象を拡大

英語について、全国全ての小・中学校を対象に、デジタル教科書を提供。

2023

令和5年

実証事業によるデジタル教科書の配布対象を更に拡大

引き続き英語を全国の学校に提供。加えて、算数・数学も半数の学校に提供。

今年度

2024

令和6年

デジタル教科書の段階的な導入開始

外国語、算数・数学からデジタル教科書を段階的に導入。

今年度から、外国語（英語）のデジタル教科書を全校に導入。

デジタル教科書を日常的に使用する「実用」段階への移行に伴い、学校現場の対応が急務。

本事業の目的

デジタル教科書の活用促進

- これまでの実証事業から、デジタル教科書等は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に寄与することが明らかになり、学校現場での効果的な活用が期待される。
- 一方、デジタル教科書を日常的に活用している教員は全体の半数程度しかないという調査結果もあり※、更なる活用促進が課題。

デジタル教科書の効果・影響の把握・分析

- 令和6年度から、まずは外国語（英語）、算数・数学について、デジタル教科書の段階的導入が開始。
- デジタル教科書がどのような教科・発達段階・場面において効果を有するのか、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の比較も含め、定量的・定性的なエビデンスデータを収集の上、評価することが必要。

※ 令和5年度「大規模アンケート調査等の実施による学習者用デジタル教科書の効果・影響等の把握・分析等に関する実証研究事業」において、小・中学校の教員に対して、デジタル教科書の授業での使用頻度を調査したところ、約半数の教員が4回に1回未満の頻度でしか使用していないことが明らかとなっている。

1. 事業概要

1.2. 本事業の全体像

- 前述の背景・目的から、本事業では次の3つの調査研究を実施しました。
- ①「**研修に関する調査研究**」では、全国5の都道府県教育委員会と連携し、有識者（次頁参照）の指導助言の下で、デジタル教科書の活用促進に関する研修の改善に取り組みました。②「**授業改善に関する調査研究**」では、全国から小学校を2校、中学校を1校選定し、同校と連携してデジタル教科書等を活用した授業改善に取り組みました。さらに、全国の小・中学校の教員及び児童生徒に対する③「**大規模アンケート調査等**」の実施を通じて、デジタル教科書が学習に及ぼす効果・影響を定量的・定性的に把握・分析しました。このうち、本書は、③「**大規模アンケート調査等**」の結果をまとめたものです。

本事業を構成する3つの調査研究

	都道府県教育委員会における 研修に関する調査研究	市町村教委及び実証研究校における 授業改善に関する調査研究	デジタル教科書の効果・影響の把握に資する 大規模アンケート調査等
対象	・ 全国5の都道府県教育委員会 （群馬県、埼玉県、富山県、山梨県、福岡県）	・ 左記の参加県教育委員会管下の 小学校2校、中学校1校	・ 全国の小・中学校に所属する教員及び 児童生徒（標本抽出）
実施 内容	・ 都道府県教育委員会が実施するデジタル教科書の活用に係る研修（年内2回）を対象に、有識者の指導助言の下、その改善に取り組んだ。 ・ 研修の成果を定性的・定量的に評価し、どのように研修を実施すれば、効果的なデジタル教科書の活用促進に繋がるのかを検証した。	・ 各校において、外国語及び算数・数学の授業（年内2回）を対象に、有識者の指導助言の下、その改善に取り組んだ。 ・ また、市町村教育委員会と連携し、各校における授業改善の取組を地域内に展開。市町村レベルでのデジタル教科書の活用促進を図った。	・ 全国の小・中学校のうち、外国語、算数・数学のほか複数教科のデジタル教科書を使用している学校を対象に、教員及び児童生徒を抽出し、アンケート調査を実施した。 ・ 過年度との比較から経年変化を分析するほか、新規の調査観点を追加し分析を行った。 ・ 特別な配慮を必要とする児童生徒への影響については追加ヒアリング調査も実施。
成果物	・ 研修計画、研修に使用した資料等一式 ・ 研修効果の検証結果 など	・ 実践事例集 ・ 実践事例動画 など	・ アンケート調査結果 ・ 追加ヒアリング調査結果 など

本書の対象

1. 事業概要

1.3. 有識者会議の開催

- 本事業では、各調査研究の実施に当たっての指導・助言を得るため、デジタル教科書等の活用や各教科の指導に精通する有識者にご協力いただきました。また、各有識者には、「研修に関する調査研究」及び「授業改善に関する調査研究」について討議するWG、「大規模アンケート調査等」について討議するWGに参画いただき、本事業の実施内容及び成果に助言を頂きました。

有識者（WG委員）一覧

氏名	所属・職名	研修	授業改善	アンケート
主査 中川 一史	放送大学 教授	○	○	○
中橋 雄	日本大学 教授	○	○	○
高橋 瑞人	枚方市教育委員会事務局 学校教育部教育指導課 主幹	○	○	○
副査※1 稲垣 忠	東北学院大学 教授	—	—	○
齊藤 萌木	共立女子大学 専任講師	—	—	○
太田 洋	東京家政大学 教授	—	○※2	—
岡部 恭幸	神戸大学 教授	—	○※2	—
副査※1 小林 祐紀	放送大学 准教授	○※3	—	—
齋藤 嘉則	東京学芸大学 教授	○※3	—	—
佐藤 幸江	放送大学 客員教授	○※3	—	—
岩崎 有朋	札幌国際大学 教授	○※3	—	—

- ※1 アンケート調査WGの副査を稲垣委員、研修・授業改善WGの副査を小林委員にそれぞれ依頼した。
※2 外国語科の授業改善を太田委員、算数・数学科の授業改善を岡部委員にそれぞれ依頼した。
※3 各委員には本事業に参加した全国5の県教育委員会が行う研修の内容等に直接の指導・助言を依頼した。

開催要領

第1回 研修・授業改善WG

日時： 2024年9月2日
議事： 実証研究状況の報告及び
以降の取組に向けた意見交換
昨年度成果物に関する意見聴取

第2回 研修・授業改善WG

日時： 2024年11月～12月（書面開催）
議事： 実証研究状況の報告
成果物の構成に関する意見聴取

第3回 研修・授業改善WG

日時： 2025年2月18日
議事： 実証研究結果の報告
研修・授業改善における成果と課題及び
今後の取組方針に関する意見聴取

第1回 アンケート調査WG

日時： 2024年8月（書面開催）
議事： 調査方針及び設問設計に対する意見聴取
標本設計に対する意見聴取

第2回 アンケート調査WG

日時： 2025年2月25日
議事： アンケート集計・分析結果の報告
分析結果に対する意見聴取

2. 大規模アンケート調査の実施概要



2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.1. 調査方針

- 大規模アンケート調査は、以下の方針に基づき、調査項目等を検討しました。
- この検討に当たっては、デジタル教科書の活用による効果・影響等に関する知見を有し、過年度の大規模アンケート調査の設計にもご協力をいただいた有識者（p.5参照）から、ご意見を伺いました。

1 学習者用デジタル教科書の活用場面・活用頻度やその影響に係る経年変化と、その要因を調査する

- ・ 過年度の事業を通じて、各校にはデジタル教科書の利用が浸透。特に英語は、2年前より全学校に対してデジタル教科書を配布しており、今年度は、多くの学校がデジタル教科書を“2年以上”利用した経験がある中での調査になる見込み。
- ・ 昨年度から継続して、**デジタル教科書の利用経験の蓄積に応じた、活用場面の変化や、児童生徒への影響の変化等を把握**することで、デジタル教科書の効果的な活用方法や今後の利用拡大に向けた課題等を明らかにしたい。

<昨年度から踏襲する設問>

教師による学習場面別の使用効果/授業負担の軽減/導入時の課題/家庭学習での使用状況/児童生徒による使用感/使用による効果や影響/機能別の使用頻度 等

2 学習形態別の使用頻度や教科別の使用効果等を調査し、現場の多様な活用情報を収集する

- ・ デジタル教科書の更なる活用を今後検討するための材料として、使用頻度等の「量」に関する調査だけでなく、活用方法等の「質」に関する調査が必要になる。
- ・ 単なるデジタル教科書自体の使用頻度に留まらず、**個別・協働・一斉という場面ごとの使用頻度や、デジタル教科書の活用が適している学習活動が何かを教科別に把握**することで、デジタル教科書に関するより多様な活用状況を明らかにする。

<今年度新規追加する設問>

学習形態別の使用頻度/デジタル教科書の使用が適していると考えられる学習活動（教科別）/特支の観点でデジタル教科書の使用が有効と考えられる児童生徒の特性

3 学校の働き方改革の観点から、過年度調査で十分に分析できている項目は削除することで、回答負担を抑制する

- ・ 昨年度調査で特に有益な示唆が得られなかった設問や、**既に傾向が十分に把握できている設問は削除し、現場の回答負担を抑制**する。

<昨年度から削除する設問>

ICT環境の整備状況/端末の使用時間/アカウントの登録主体/健康面への配慮（一部）

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.2. 標本設計

- 調査の実施にあたり、標本から母集団を正しく推定する上で統計的に十分な調査対象数を確保しつつ、学校現場の回答負担を抑制する観点から、必要以上に調査規模を大きくせずに精度を担保できるよう、標本設計を行いました。
- 以下のとおり、調査対象校の地域、学校規模、教科書発行者の割合が、全国と同程度の割合になるように考慮しています。

調査対象数

基本方針

- ・ 児童生徒については教科別※1・発達段階別※2に、教員については教科別・校種別に、「**標本誤差±2.5%（信頼基準95%）**」を達成する上で**必要な回答数（約1,500人）を確保**する。
- ・ **回収率は、昨年度調査を踏まえて、60%を仮定**し、上記で算定した必要な回答数（約1,500人）よりも余裕のある**調査対象数（約2,600人）を確保**する。
- ・ 上記の方針の下、**必要以上に調査規模を大きくせずに調査を行い、学校現場の負担を抑制**する。

留意事項

- ・ 英語、算数・数学以外の教科は、ごく一部の学校にしかデジタル教科書を配布していないため、教科別に上記標本誤差を達成するために必要な回答数を確保できない。
- ・ そこで、英語、算数・数学以外の教科については、可能な限り多くの回答数を確保した上で、その回答数から計算される標本誤差とあわせて、調査結果の妥当性を評価する。

抽出方法

基本方針

- ・ 母集団を正しく推定できるよう、**地域、学校規模、教科書発行者の偏りに留意**して調査対象校を抽出する。
- ・ 具体的には、地域別※3、学校規模別※4に**層別した上で、全国と同様の割合となるように調査対象校を抽出**する。
- ・ その上で、抽出された調査対象校における**教科書発行者の割合が、全国の導入割合と乖離していないことを確認**し、乖離している場合には必要な調整を行う。
(全国で100校以上の調査対象校を確保していることから、全国的な割合と乖離することは考えにくい、念のため確認する。)

留意事項

- ・ 英語、算数・数学以外の教科は、ごく一部の学校にしかデジタル教科書を配布していないため、必ずしも上記のとおり、抽出を行うことができない。
- ・ そこで、英語、算数・数学以外の教科については、特定の学校に調査負担が偏らないよう（例えば、同一校に複数教科について問うなど）に配慮した上で、可能な限り多くの回答数を確保できるよう抽出する。

※1 「英語」、「算数・数学」及び「その他の教科」を言う。 ※2 「小学校低学年児童」、「小学校中学年児童」、「小学校高学年児童」及び「中学校生徒」を言う。

※3 「北海道」、「東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国・四国」及び「九州」を言う。 ※4 「大規模」、「中規模」及び「小規模」を言う。

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.3. 調査概要（1/4：教師向け調査）

- 教師向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料①「アンケート調査票（教師向け調査）」を参照ください。

調査概要（教師向け調査）

調査対象教科	主要5教科 ：国語、算数、数学、英語、理科、社会（地理、歴史、公民） 主要5教科以外 ：生活、保健、保体、道徳、美術、図画工作、技術、家庭、音楽	
調査対象者	令和6年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校、中学校又は特別支援学校に属する教師	
回答期間	令和6年11月4日～12月25日（未回答者への督促期間を含む。）	
調査項目	Q.1 回答する教科 Q.2 学習者用デジタル教科書を使用している学年・担当クラス Q.3 学習者用デジタル教科書の使用開始時期 Q.4 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導有無 Q.5 必要な配慮の内容 Q.6 必要な配慮の中で学習者用デジタル教科書の活用が有効と感じる観点 Q.7 学習者用デジタル教科書の本年度における使用開始時期 Q.8 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.9 学習場面別の学習者用デジタル教科書の使用頻度 Q.10 児童生徒の学習媒体の指定状況 Q.11 学習者用デジタル教科書の授業での使用時間 Q.12 学習者用デジタル教科書を使う家庭学習を実施しているか	Q.13 家庭学習を出す頻度 Q.14 個別学習の場面における教科書の効果 Q.15 協働学習の場面における教科書の効果 Q.16 一斉学習の場面における教科書の効果 Q.17 学習者用デジタル教科書/紙の教科書が適している学習活動 Q.18 学習者用デジタル教科書の活用による変化（授業準備） Q.19 学習者用デジタル教科書の活用による変化（授業中） Q.20 学習者用デジタル教科書の活用による変化（授業後） Q.21 学習者用デジタル教科書の導入に当たった課題 Q.22 デジタル教科書の活用方法に関する情報に触れる機会の有無 Q.23 デジタル教科書の活用方法に関する情報にどのように触れたか Q.24 学習者用デジタル教科書に関する研修を受けたことがあるか Q.25 どのような研修を受けたことがあるか

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.3. 調査概要（2/4：小学校低学年児童向け調査）

- 小学校低学年児童向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料②「アンケート調査票（低学年児童向け調査）」を参照ください。

調査概要（低学年児童向け調査）

調査対象教科	主要5教科 ：国語、算数 主要5教科以外 ：生活、道徳、図画工作、音楽
調査対象者	令和6年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校又は特別支援学校小学部に属する低学年児童（1、2年生）
回答期間	令和6年11月4日～12月25日（未回答者への督促期間を含む。）
調査項目	Q.1 回答者の学年 Q.2 回答者のクラス Q.3 学習者用デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感※ Q.4 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.5 回答対象の教科の勉強が好きか Q.6 回答対象の教科の勉強が好きになった時期 Q.7 回答対象の教科の理解度

※ 本設問については選択肢等の表示順を昇順（デジタル教科書が上）と降順（紙の教科書が上）をランダムで表示するよう制御してカウンターバランスを取った。

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.3. 調査概要（3/4：小学校中高学年児童向け調査）

- 小学校中高学年児童向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料③「アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）」を参照ください。

調査概要（中高学年児童向け調査）

調査対象教科	主要5教科 ：国語、算数、理科、社会、英語（高学年のみ） 主要5教科以外 ：保健、道徳、図画工作、家庭（高学年のみ）、音楽	
調査対象者	令和6年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校又は特別支援学校小学部に属する中高学年児童（3～6年生）	
回答期間	令和6年11月4日～12月25日（未回答者への督促期間を含む。）	
調査項目	Q.1 回答者の学年 Q.2 回答者のクラス Q.3 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感※ Q.4 デジタル教科書の使いづら点 Q.5 デジタル教科書の健康面への影響 Q.6 回答対象の教科の理解度 Q.7 デジタル教科書の影響（主体的な学び） Q.8 デジタル教科書の影響（対話的で深い学び）	Q.9 回答対象の教科の勉強が好きか Q.10 回答対象の教科の勉強が好きになった時期 Q.11 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.12 学習場面別の学習者用デジタル教科書の使用頻度 Q.13 デジタル教科書・教材の機能の使用頻度 Q.14 学校の授業時間以外の勉強時間 Q.15 家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度

※ 本設問については選択肢等の表示順を昇順（デジタル教科書が上）と降順（紙の教科書が上）をランダムで表示するよう制御してカウンターバランスを取った。

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.3. 調査概要（4/4：中学生向け調査）

- 中学生向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料③「アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）」を参照ください。

調査概要（中学生向け調査）

調査対象教科	主要5教科：国語、数学、英語、理科、社会（地理、歴史、公民） 主要5教科以外：保体、道徳、美術、技術、家庭、音楽	
調査対象者	令和6年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された中学校又は特別支援学校中学部に属する生徒	
回答期間	令和6年11月4日～12月25日（未回答者への督促期間を含む。）	
調査項目	Q.1 回答者の学年 Q.2 回答者のクラス Q.3 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感※ Q.4 デジタル教科書の使いづら点 Q.5 デジタル教科書の健康面への影響 Q.6 回答対象の教科の理解度 Q.7 デジタル教科書の影響（主体的な学び） Q.8 デジタル教科書の影響（対話的で深い学び） Q.9 回答対象の教科の勉強が好きか Q.10 回答対象の教科の勉強が好きになった時期 Q.11 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.12 学習場面別の学習者用デジタル教科書の使用頻度 Q.13 デジタル教科書・教材の機能の使用頻度 Q.14 学校の授業時間以外の勉強時間 Q.15 家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度	

※ 本設問については選択肢等の表示順を昇順（デジタル教科書が上）と降順（紙の教科書が上）をランダムで表示するよう制御してカウンターバランスを取った。

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.4. 調査対象数

- p.8「標本設計」の方針に基づき、以下のとおり、調査対象を抽出の上、アンケート調査への回答を求めました。
- デジタル教科書を配布した児童生徒・教員が十分にある教科（主に英語、算数・数学、国語、理科、社会など主要5教科）については、発達段階別に統計的に必要な精度を確保できるよう、調査対象数を設定しています。

調査対象数（全体）

	小学校			中学校		
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
対象者数 (人)	3,114	3,809	14,177	5,898	31,910	5,880
対象校数 (校)	191			1,139	255	1,312

【補足】

- ・ 各学校の教師数は児童生徒数よりも少ないため、教師の必要回答数を満たすために「教師のみを対象として調査を行う学校」が存在する。
- ・ 教師数は、デジタル教科書の必要冊数に係る事前調査結果から、以下のとおり、推計している。
 - 小学校：各学年のクラス数の合計を教師数と見なす。
 - 中学校：教科別の担当教員数の合計を総教師数と見なす。ただし、掛け持ちが予想される教科（地図、書写、器楽、道徳）は、重複を排除した値を計上。なお、本事業以外でデジタル教科書を配布した教科（英語、算数・数学）については、教科別の担当教員数を把握していないため、本事業の参加校における担当教員数とクラス数の比率から、教員数を総クラス数の3分の1と仮定して推計。

調査対象数（教科別）

	小学校				中学校	
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
国語	1,106	1,114	2,040	172	3,976	129
算数	381	430	2,813	2,681	2,626	2,658
英語	-	-	2,735	2,603	2,605	2,639
生活	140	-	-	6	4,580	119
理科	-	404	698	44	1,117	54
社会	-	291	1,662	71	1,401	
地図	-	-	-	-	323	-
書写	-	-	-	-	-	
保健	-	40	382	14	-	-
道徳	454	482	1,024	98	2,616	62
図画工作	210	210	433	28	2,638	85
家庭	-	-	366	17	1,045	12
音楽	823	838	2,024	164	1,722	27
					家庭	9
					音楽	86
					器楽	-

2. 大規模アンケート調査の実施概要

2.5. 調査回答数

- 児童生徒調査の英語、算数・数学、国語、理科（中学生）、社会、道徳、音楽については、発達段階別に1,000以上の回答を収集でき、信頼水準95%での標本誤差が3%以内となっています。
- 一部の発達段階・教科については、デジタル教科書を配布した学校がごく少数であることから、十分な調査回答数を確保できず、標本誤差が大きく、アンケート調査による「集計値」と「真の値」との間に誤差を含む可能性があることに留意が必要です。

調査回答数（全体）

	小学校				中学校	
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
回答者数 (人)	2,435	2,656	9,900	4,496	17,899	3,203

【補足】

- （ア）「小学校中学年児童」及び「小学校高学年児童」、並びに（イ）「小学校教師」及び「中学校教師」は、過年度と同様に（ア）（イ）の単位で2区分を合算して集計・分析を行うため、同一教科における両区分の総回答数を基に、標本誤差を算出している。
- 中学生の「地理」、「歴史」、「公民」については、他教科との分析粒度の統一及び調査回答数（サンプル数）を確保する目的から、3分野を「社会」として集計し、標本誤差を算出している。
- 一部の発達段階・教科については、デジタル教科書を配布した学校がごく少数であることから、十分な調査回答数を確保できず、標本誤差が5%以上となっていることに留意が必要。

調査回答数（教科別）

	小学校				中学校	
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
国語	891	913	1,344	203	1,532	52
算数	374	344	2,128	2,889	1,931	1,428
英語	-	-	2,013	1,124	2,110	1,502
生活	61	-	-	10	2,591	54
理科	-	360	336	39	635	41
社会	-	58	1,154	67	903	
地図	-	-	-	-	256	
書写	-	-	-	-	-	-
保健	-	36	318	12	1,680	30
道徳	384	328	760	79	1,400	55
図画工作	196	0	92	17	593	6
家庭	-	-	250	12	1,057	8
音楽	529	525	1,505	44	718	7
					2,493	20
器楽	-	-	-	-	-	-

発達段階・教科別に見た信頼水準95%での標本誤差

- : 2.5%未満
- : 2.5%以上3%未満
- : 3%以上5%未満
- : 5%以上
- : 調査対象外

3. 大規模アンケート調査等の分析結果



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.1. 分析テーマ一覧（1/4）

- p.7「調査方針」に基づき、学習者用デジタル教科書の効果・影響等を把握するための42の分析テーマを設定しました。

分析テーマ（1/4）

分析テーマ一覧		掲載ページ
① 授業中のデジタル教科書の使用状況		
①-1 教師のデジタル教科書の使用歴及び今年度の使用開始時期		p.21
①-2 回答教科における、教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度		p.22
①-3 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化		p.23
①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係		p.24
①-5 教師のデジタル教科書の学習場面別の使用頻度		p.25
①-6 教師による授業中での児童生徒の学習媒体（紙の教科書とデジタル教科書のどちらを用いるか）の指定状況		p.29
①-7 児童生徒の授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化		p.30
①-8 児童生徒の学習場面別の授業でのデジタル教科書の使用頻度		p.31
①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化		p.32
② デジタル教科書による授業負担の増減効果		
②-1 デジタル教科書による授業負担への影響		p.40
②-2 デジタル教科書による授業負担の経年変化		p.41
②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連		p.45

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.1. 分析テーマ一覧（2/4）

■ 前ページの続きです。

分析テーマ（2/4）

分析テーマ一覧		掲載ページ
③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較		
③-1 デジタル教科書の場面別の使用感		p.51
③-2 デジタル教科書の場面別の使用感の経年変化		p.53
③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連		p.56
③-4 教師による授業中での児童生徒の学習媒体の指定状況と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連		p.61
④ デジタル教科書を使用するに当たっての課題感		
④-1 デジタル教科書を使用するに当たっての教師の課題感		p.64
④-2 デジタル教科書を使用するに当たっての教師の課題感の経年変化		p.65
④-3 デジタル教科書の授業内での使用歴と、デジタル教科書の課題感の関連		p.66
④-4 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の課題感の関連		p.67
⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感		
⑤-1 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の経年変化		p.68
⑤-2 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いづらさ）の経年変化		p.71
⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連		p.72
⑤-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いづらさ）の関連		p.77

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.1. 分析テーマ一覧（3/4）

■ 前ページの続きです。

分析テーマ（3/4）

分析テーマ一覧	掲載ページ
⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響	
⑥-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連	p.78
⑥-2 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連	p.81
⑥-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連	p.84
⑥-4 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連	p.87
⑥-5 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連	p.90
⑥-6 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連	p.93
⑥-7 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連	p.96
⑥-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連	p.99
⑦ デジタル教科書の健康面への影響	
⑦-1 児童生徒の健康面への影響	p.100
⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況	
⑧-1 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合	p.101
⑧-2 デジタル教科書を使用した家庭学習の出題頻度	p.102
⑧-3 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連	p.103

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.1. 分析テーマ一覧（4/4）

- 前ページの続きです。

分析テーマ（4/4）

分析テーマ一覧		掲載ページ
⑨ 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響		
⑨-1 児童生徒の家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度と、授業の学習場面別のデジタル教科書の使用頻度の関連		p.106
⑩ デジタル教科書に関する情報に触れた経験		
⑩-1 デジタル教科書に関する情報に触れた経験の経年変化		p.110
⑩-2 デジタル教科書に関する研修を受けた経験		p.111
⑩-3 デジタル教科書の使用頻度・時間と、デジタル教科書に関する研修を受けた経験の関連		p.112
⑩-4 デジタル教科書の使用頻度・時間と、受けたことのある研修の内容の関連		p.113
⑪ 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書が有効と感じる観点		
⑪-1 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書が有効と感じる観点		p.114

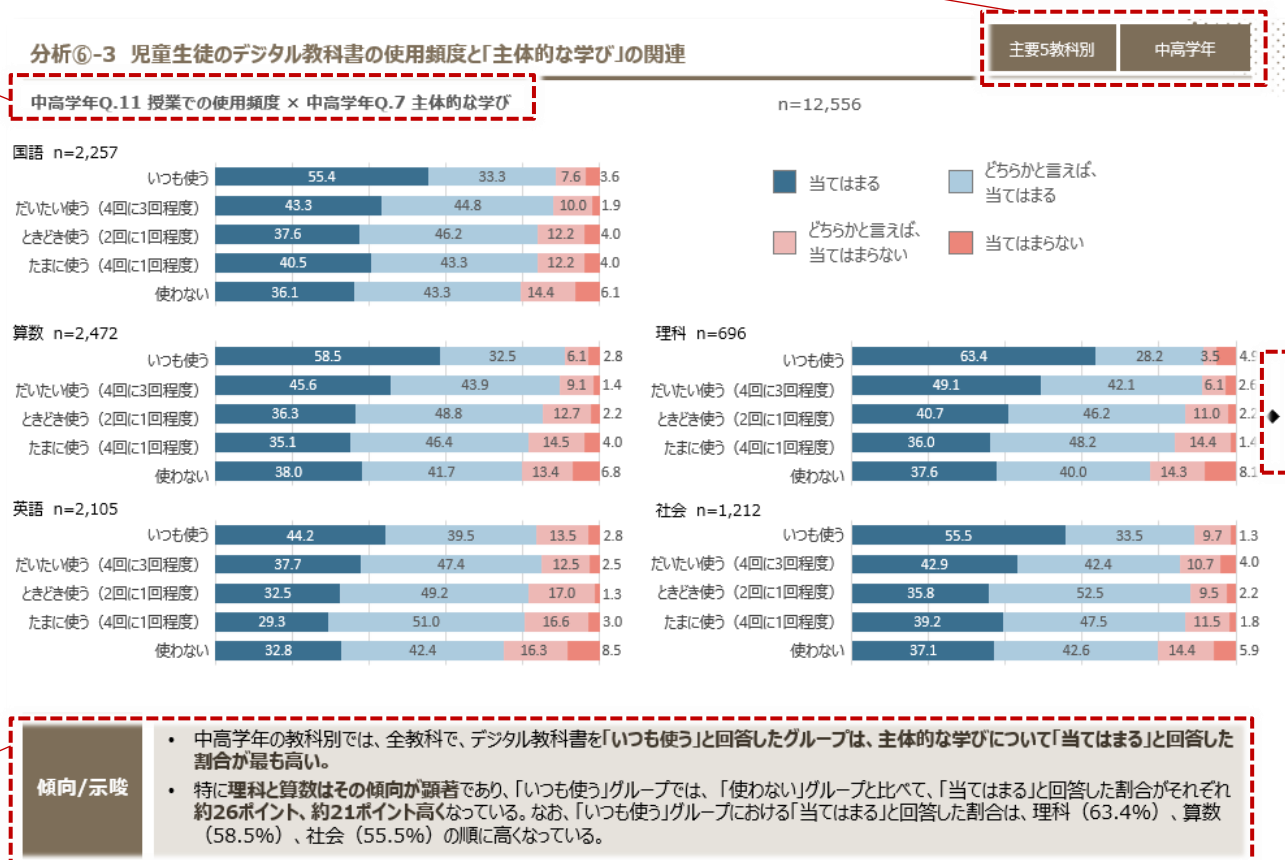
3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.2. 分析結果の見方

■ 次ページ以降の分析結果の見方を示します。

- 分析対象の質問項目を記載。
質問文や選択肢の詳細は、別添資料「アンケート調査票」を参照。

- 当該ページに掲載しているグラフの対象（教科・回答者）を記載。



- グラフから読み取れる傾向・示唆や、数値を解釈する上での留意事項等を記載。

「◆」を付したグラフは、分析対象とする集団のサンプル数が少なく、標本誤差が大きい（10%超）ものであり、数値の解釈に留意が必要。
具体的なサンプル数は、p.116～p.120を参照。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

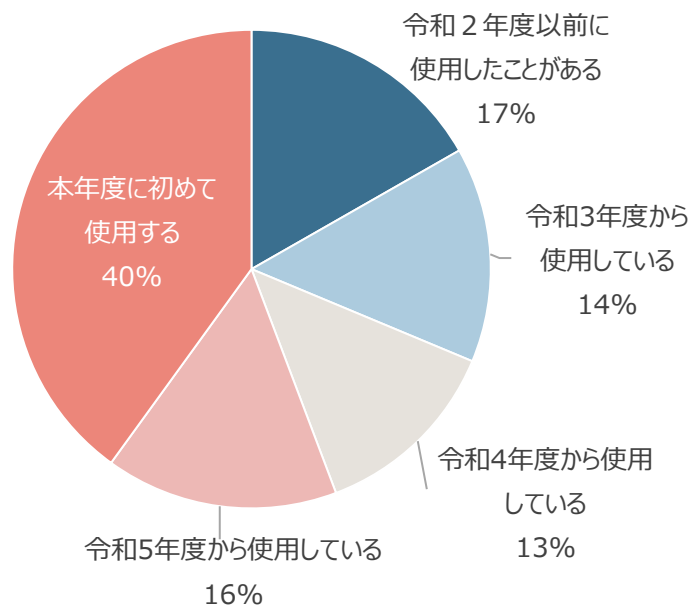
分析①-1 教師のデジタル教科書の使用歴及び今年度の使用開始時期

全教科総計

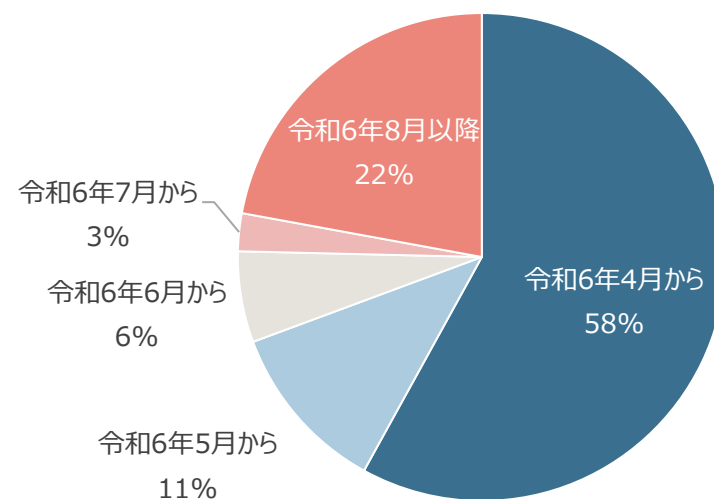
教師

教師Q.3 使用歴、教師Q.7 使用開始時期 n=7,699

学習者用デジタル教科書の使用歴



学習者用デジタル教科書の使用開始時期



傾向/示唆

- デジタル教科書の使用歴について、60%の教師が令和5年度以前から使用しており、1年以上のデジタル教科書の使用経験がある。
- 使用開始時期については、「令和6年4月から」が58%と最も多く、次いで「令和6年8月以降」が22%と多い。年度開始にあわせて使用を開始するケースが多いが、夏季休業後に使用を開始する場合も一定数見受けられた。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

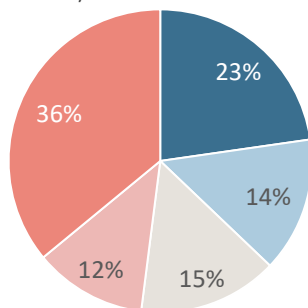
分析①-2 回答教科における、教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度

全教科総計
／主要5教科別

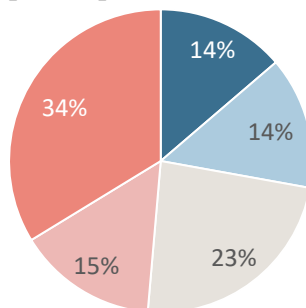
教師

教師Q.8 授業での使用頻度

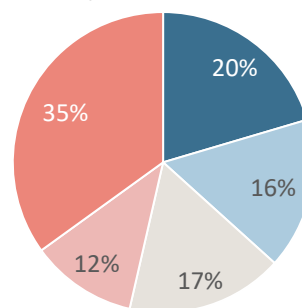
全体【n=7,699】



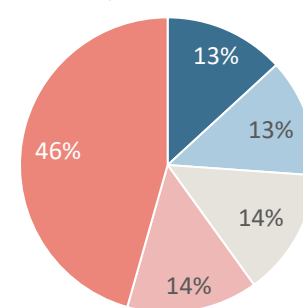
国語【n=255】



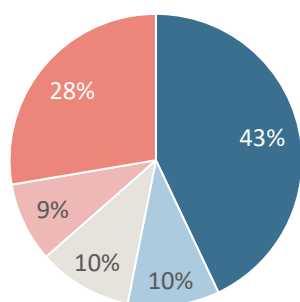
算数【n=2,889】



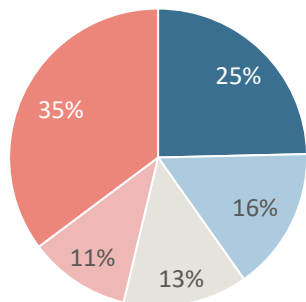
数学【n=1,428】



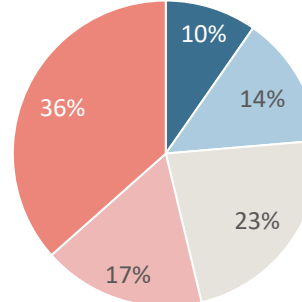
英語(小学校)【n=1,124】



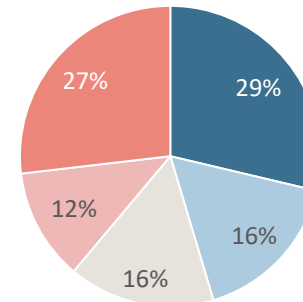
英語(中学校)【n=1,502】



理科【n=93】 ◆



社会【n=108】



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、授業中、4回に1回程度以上デジタル教科書を使用している教師が6割以上を占めている。
- 教科別では、英語（小学校）においてデジタル教科書の使用頻度が高く、「毎授業で使用」と回答した教師が43%を占めている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

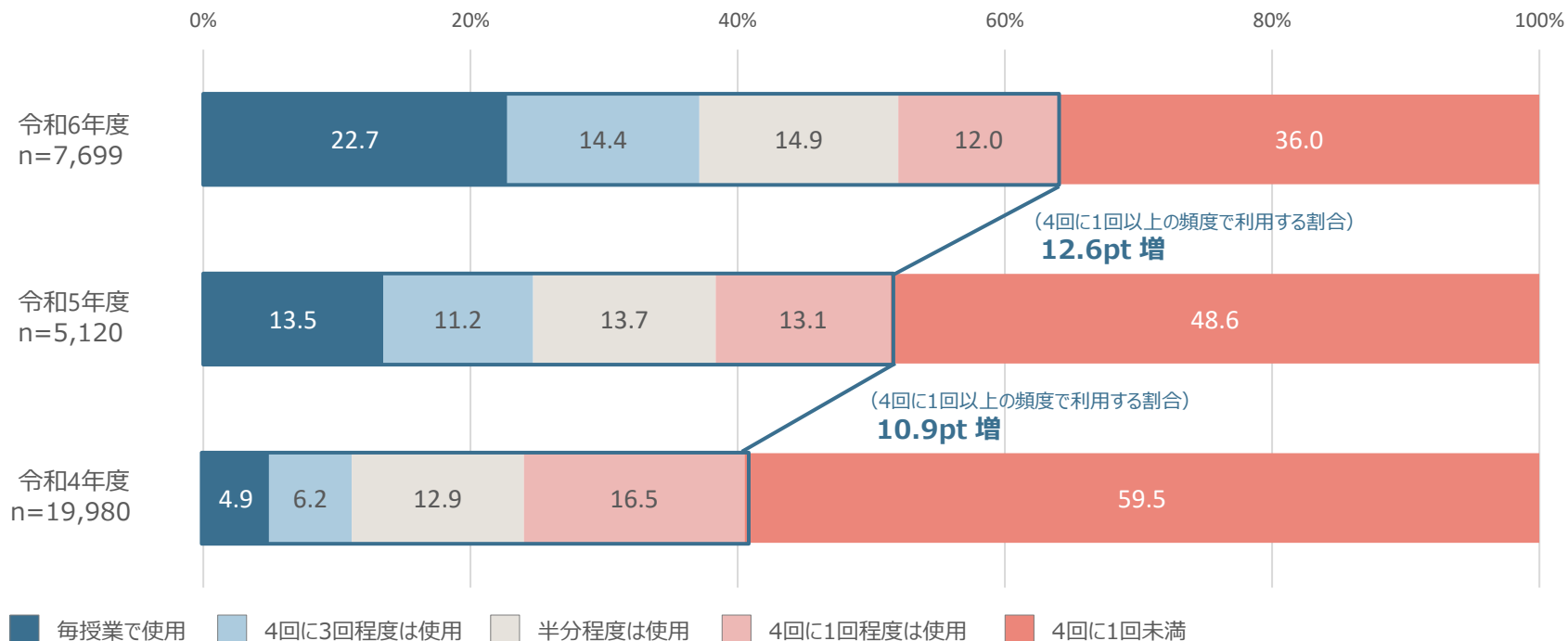
① 授業中のデジタル教科書の使用状況

分析①-3 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化

全教科総計

教師

教師Q.8 授業での使用頻度



傾向/示唆

- 令和6年度では、令和5年度と比較し、「毎授業で使用」の回答が約9ポイント、「4回に3回程度は使用」の回答が約3ポイント高くなっている。「4回に1回程度は使用」以上の合計割合で見ると、約13ポイント増加している。
- 教師の授業中でのデジタル教科書の使用頻度は、年々高まっている。
- なお、年度間の比較においては、経年による変化だけでなく、年度ごとに調査対象教科などが異なることによる影響も含まれている点に留意。（詳細はp.121を参照。以下、経年比較に関するすべての分析について、同様。なお、調査対象教科の構成割合の違いによる影響は無視できる程度に小さいと言える。）

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

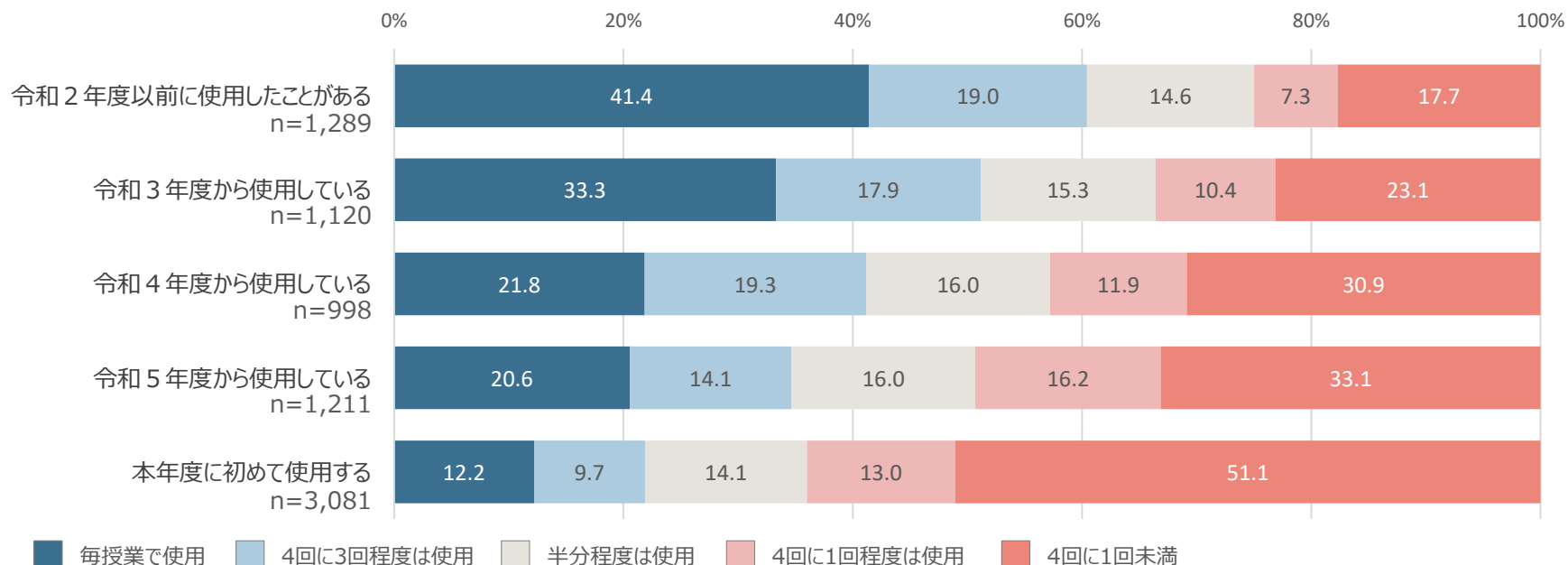
① 授業中のデジタル教科書の使用状況

分析①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係

全教科総計

教師

教師Q.3 使用歴 × 教師Q.8 授業での使用頻度



傾向/示唆

- 「本年度（令和6年度）に初めて使用する」教師よりも、過年度に使用経験がある教師の方が、「4回に1回程度は使用」以上の頻度の回答割合が高くなっている。
- デジタル教科書の使用歴が長く、使用経験が重なるほど、使用頻度が高まっていることが見て取れる。デジタル教科書の活用に慣れ、メリットを理解し活用頻度が高まっていることが一因として考えられる。
- 使用歴ごとに回答教科の構成が大きく異なることには留意が必要。（使用歴が令和2年度以前からの回答者の92%が英語、算数・数学（英語は36.7%）。本年度初めて使用する回答者の85.9%が英語、算数・数学（英語は26.0%）。）ただし、各使用歴で多くを占める英語、算数・数学の回答者に限定した比較では、全教科での比較と同様、使用歴が増えるほど「4回に1回程度は使用」以上の回答割合が高くなっている。（次ページ参照。）

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

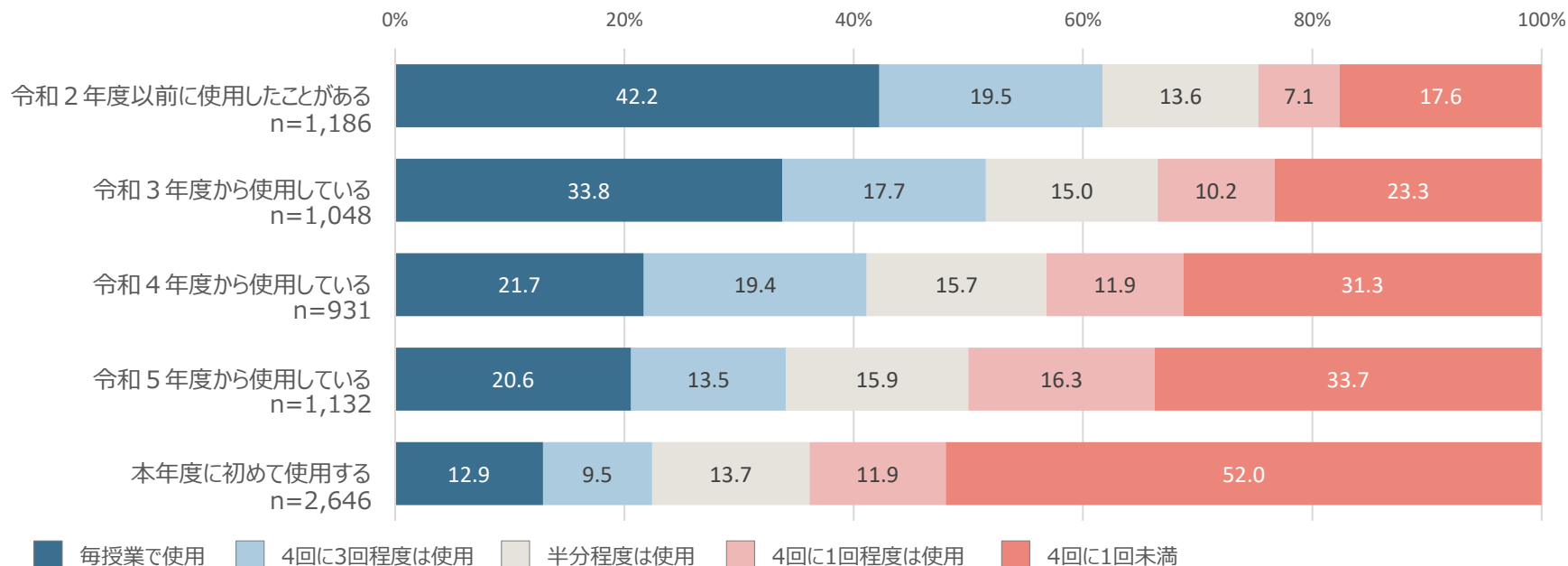
① 授業中のデジタル教科書の使用状況

分析①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係（参考：英語、算数・数学のみ）

全教科総計

教師

教師Q.3 使用歴 × 教師Q.8 授業での使用頻度



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

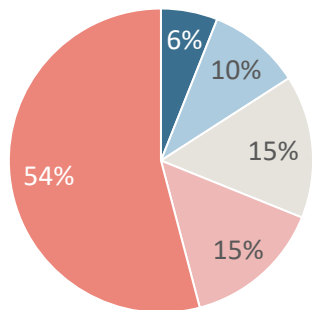
分析①-5 教師のデジタル教科書の学習場面別の使用頻度（児童生徒一人一人が取り組む学習で使用）

全教科総計
／主要5教科別

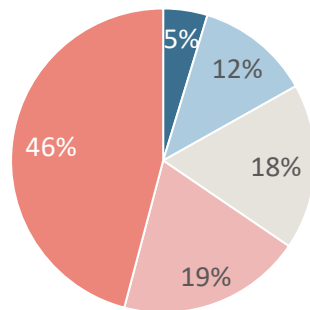
教師

教師Q.9 学習場面別の使用頻度

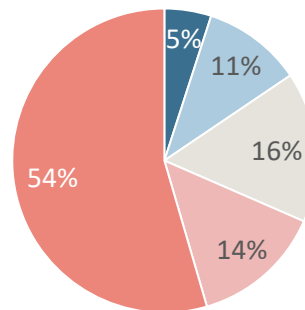
全体【n=7,699】



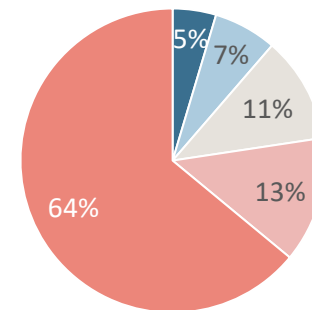
国語【n=255】



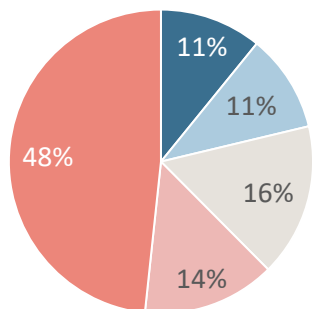
算数【n=2,889】



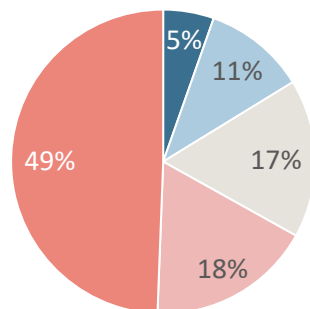
数学【n=1,428】



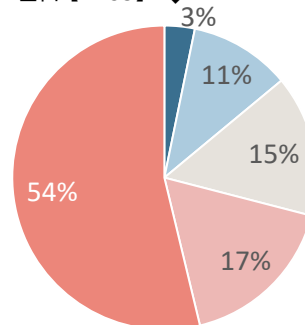
英語（小学校）【n=1,124】



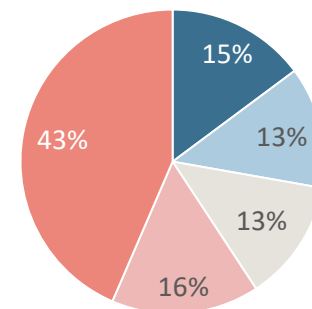
英語（中学校）【n=1,502】



理科【n=93】



社会【n=108】



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、4割以上の教師が、デジタル教科書を使用して児童生徒一人一人が取り組む学習を4回に1回程度以上の授業で行っている。
- 教科別では、国語、英語（小学校）、英語（中学校）、社会においてデジタル教科書の使用頻度が高く、「4回に1回程度は使用」以上の回答割合が5割を超えている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

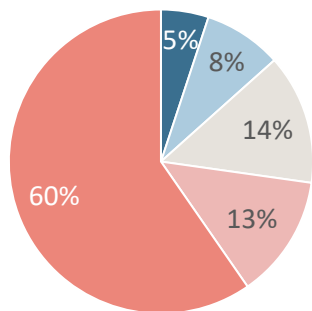
分析①-5 教師のデジタル教科書の学習場面別の使用頻度（児童生徒が協働的に取り組む学習で使用）

全教科総計
／主要5教科別

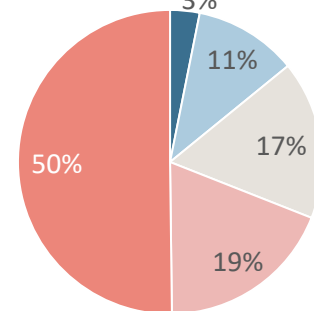
教師

教師Q.9 学習場面別の使用頻度

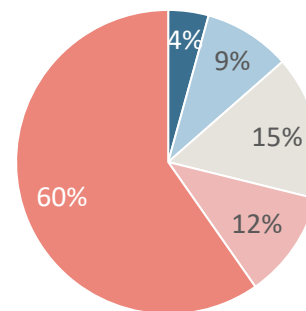
全体【n=7,699】



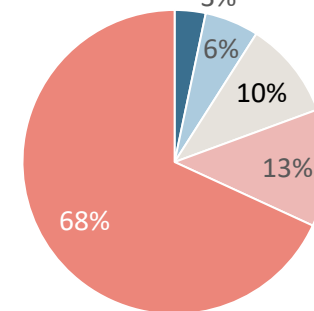
国語【n=255】



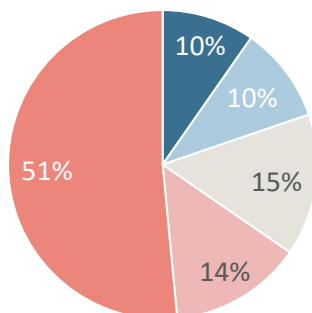
算数【n=2,889】



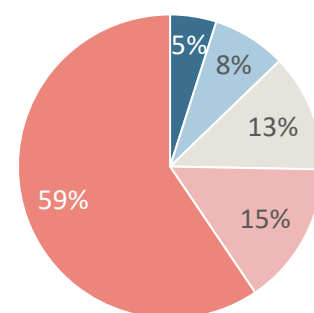
数学【n=1,428】



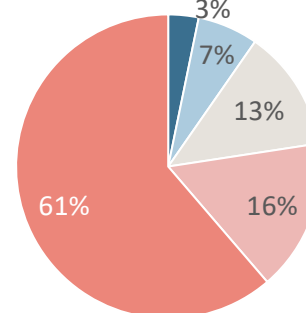
英語（小学校）【n=1,124】



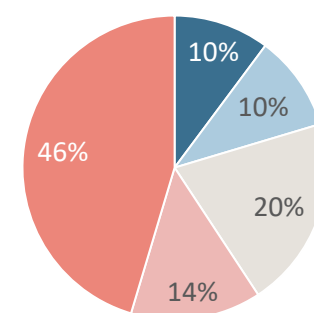
英語（中学校）【n=1,502】



理科【n=93】



社会【n=108】



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、4割の教師が、授業中児童生徒が協働的に取り組む学習で、デジタル教科書を使用して児童生徒が協働的に取り組む学習を4回に1回程度以上の授業で行っている。
- 教科別では、国語、英語（小学校）、社会においてデジタル教科書の使用頻度が高く、「4回に1回程度は使用」以上の回答割合が約半数を占めている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

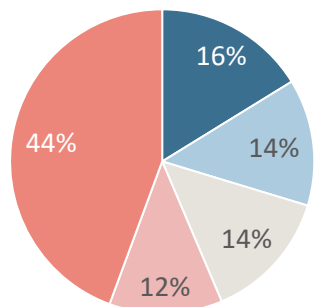
分析①-5 教師のデジタル教科書の学習場面別の使用頻度（児童生徒が一斉に取り組む学習で使用）

全教科総計
／主要5教科別

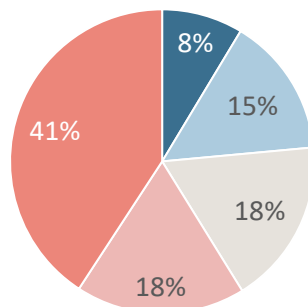
教師

教師Q.9 学習場面別の使用頻度

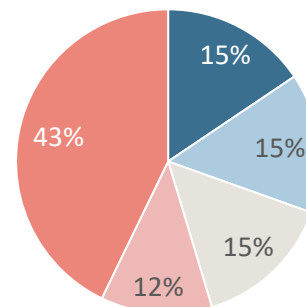
全体【n=7,699】



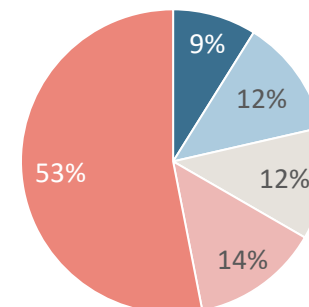
国語【n=255】



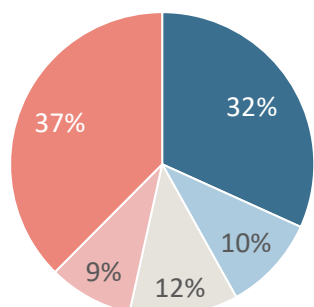
算数【n=2,889】



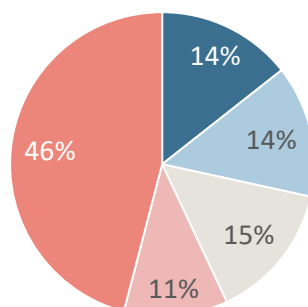
数学【n=1,428】



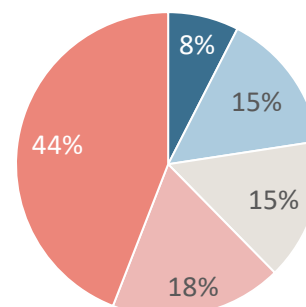
英語（小学校）【n=1,124】



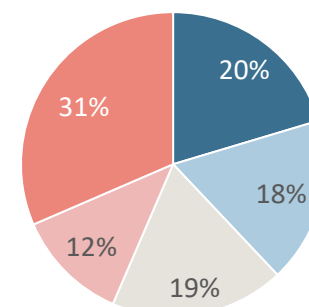
英語（中学校）【n=1,502】



理科【n=93】 ◆



社会【n=108】



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、5割以上の教師が、デジタル教科書を使用して児童生徒が一斉に取り組む学習を4回に1回程度以上の授業で行っている。
- 数学以外の全教科で「4回に1回程度は使用」以上の回答割合が過半数を占めており、特に英語（小学校）、社会での使用頻度が高い。
- 場面ごとに比較すると、デジタル教科書を使用する場面として、「児童生徒が一斉に取り組む学習」、「児童生徒一人一人が取り組む学習」、「児童生徒が協働的に取り組む学習」の順に、デジタル教科書の使用頻度が高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

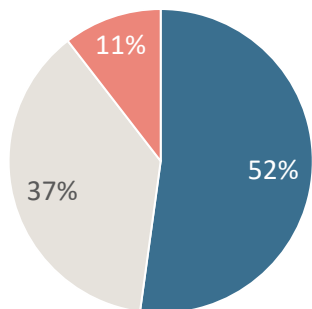
全教科総計
／主要5教科別

教師

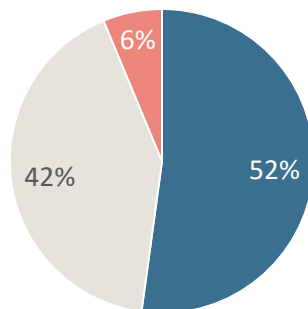
分析①-6 教師による授業中での児童生徒の学習媒体（紙の教科書とデジタル教科書のどちらを用いるか）の指定状況

教師Q.10 学習媒体の指定

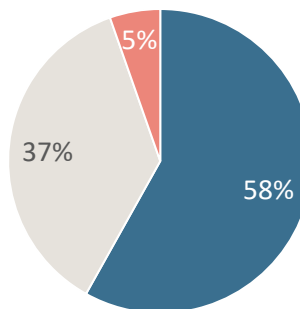
全体【n=7,699】



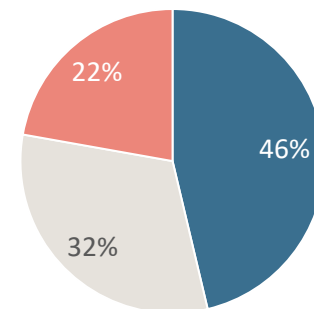
国語【n=255】



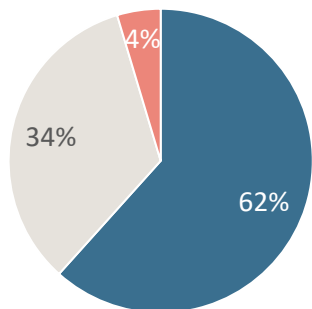
算数【n=2,889】



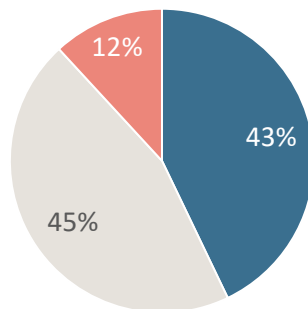
数学【n=1,428】



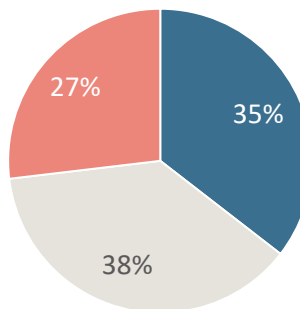
英語（小学校）【n=1,124】



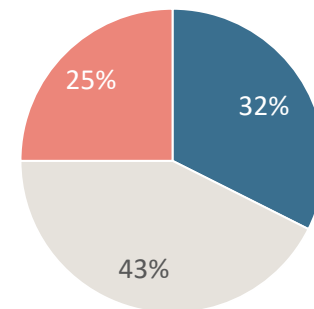
英語（中学校）【n=1,502】



理科【n=93】◆



社会【n=108】



■ 学習媒体を指定している

■ 場面に応じて、学習媒体を教師が指定する場合
と児童生徒が自由を選択する場合がある

■ 児童生徒が自由を選択している

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、学習媒体を指定している教師が半数程度を占めている。
- 教科別では、英語と算数・数学について、小学校においては学習媒体を指定していると回答した教師が過半数を占めている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

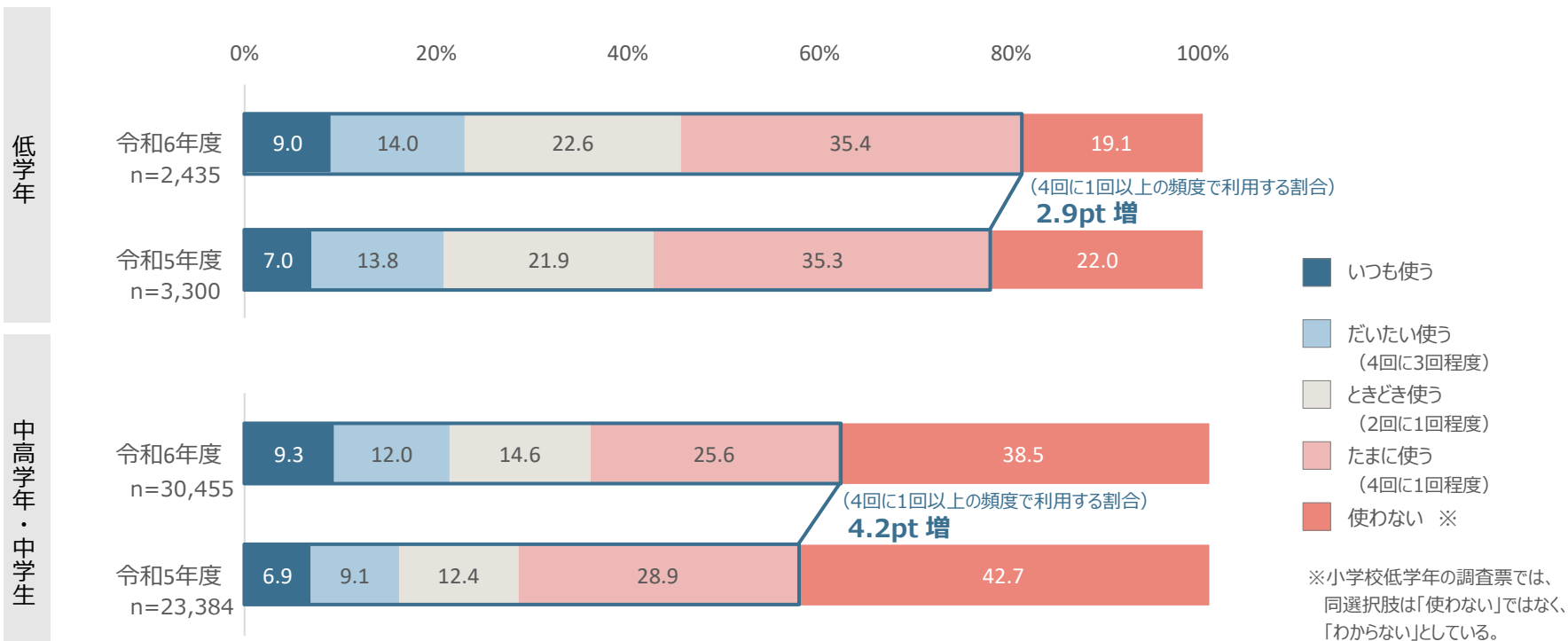
① 授業中のデジタル教科書の使用状況

分析①-7 児童生徒の授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化

全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 使用頻度、中高学年Q.11 使用頻度



傾向/示唆

- 令和5年度と比較すると、低学年、中高学年・中学生ともに、「ときどき使う（2回に1回程度）」以上の回答割合が増加し、「たまに使う（4回に1回程度）」以上の合計割合で見ると、児童生徒の使用頻度は全体的に高まっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

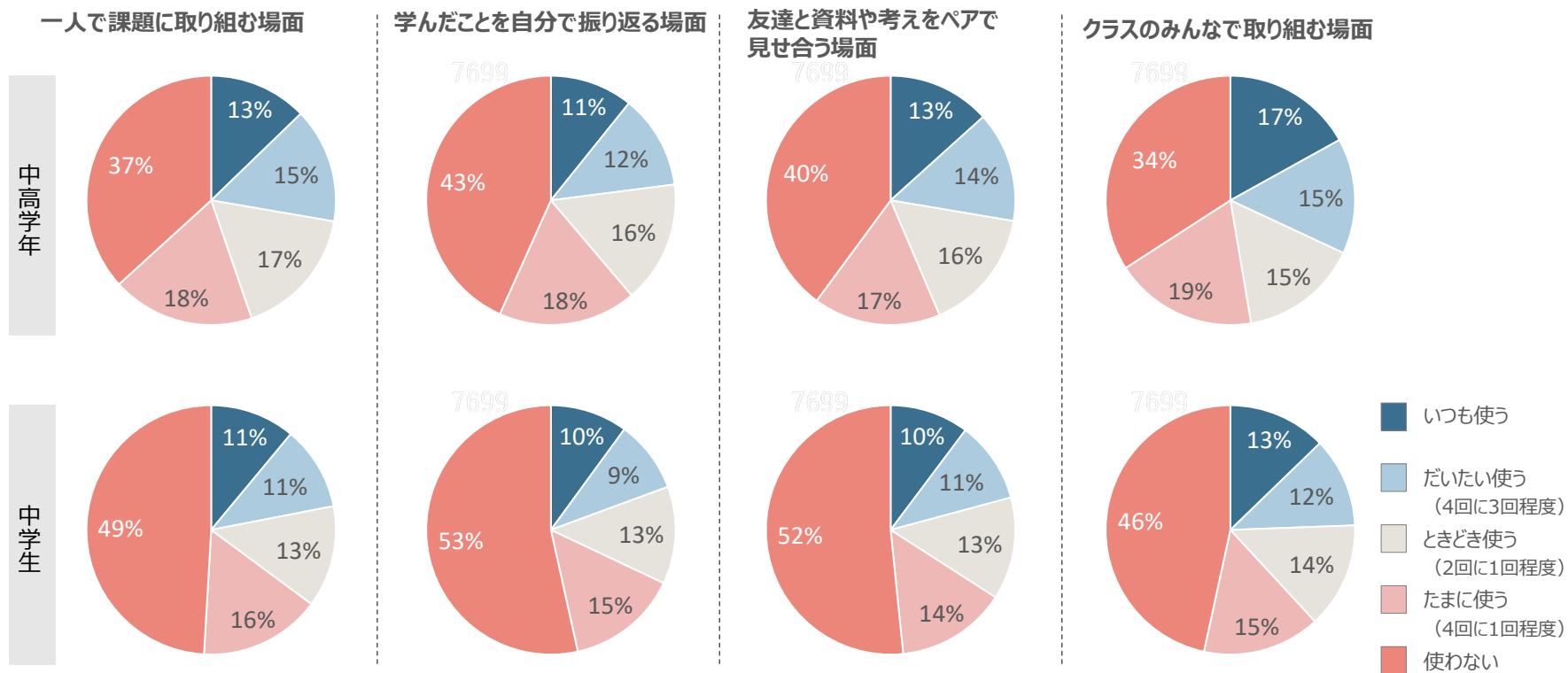
① 授業中のデジタル教科書の使用状況

分析①-8 児童生徒の学習場面別の授業でのデジタル教科書の使用頻度

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.12 学習場面別の使用頻度 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



傾向/示唆

- 教師と同様、一斉（クラスみんなで取り組む場面）、個別（一人で課題に取り組む場面）、協働（友達と資料や考えをペアで見せ合う場面）の順に使用頻度が高い。その後に「学んだことを自分で振り返る場面」での使用頻度が続く。
- すべての場面において、中学生よりも中高学年の方が使用頻度が高い。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

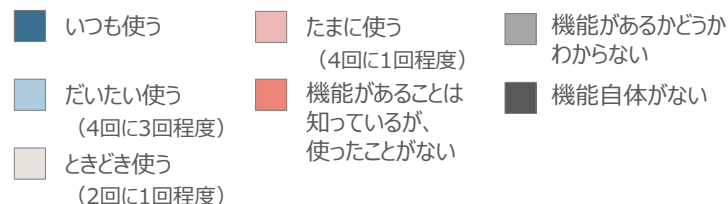
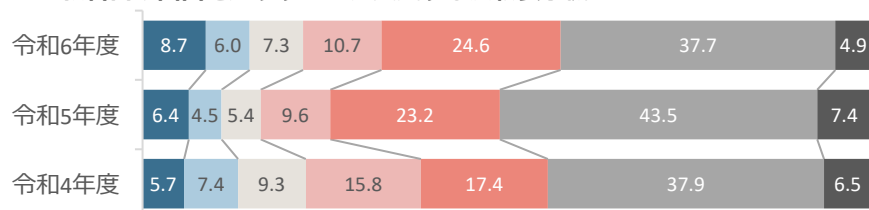
分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化

全教科総計

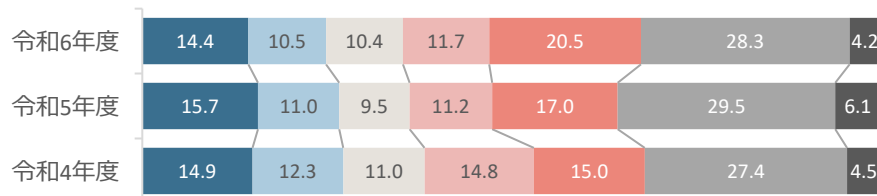
中高学年

中高学年Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=12,556 令和5年度：n=10,633 令和4年度：n=30,628

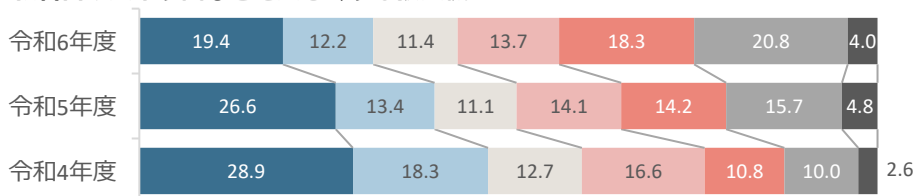
教科書の画面を見やすい色に変更する反転表示機能



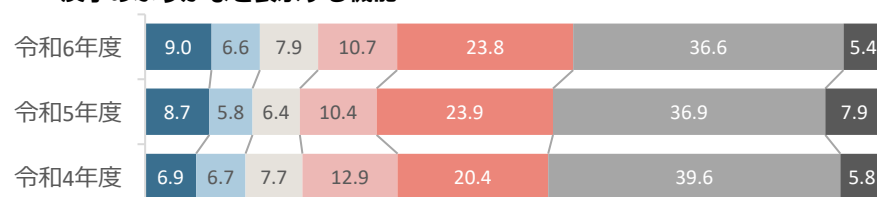
文字の大きさを変えたり、文章の間を広げたりして見やすくする調節機能



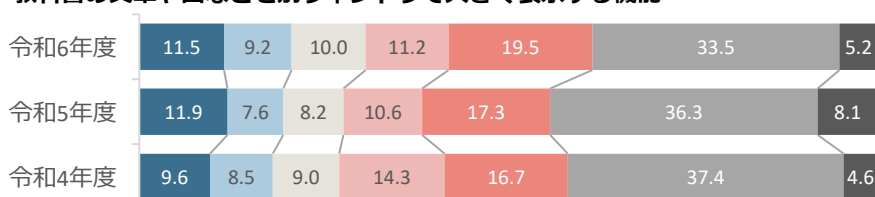
教科書の文章や図などを大きくする拡大機能



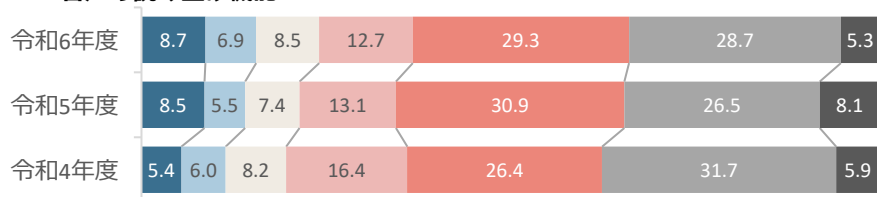
漢字のふりがなを表示する機能



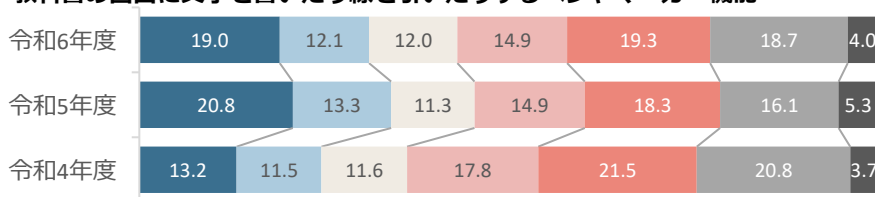
教科書の文章や図などを別ウィンドウで大きく表示する機能



音声の読み上げ機能



教科書の画面に文字を書いたり線を引いたりするペンやマーカー機能



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

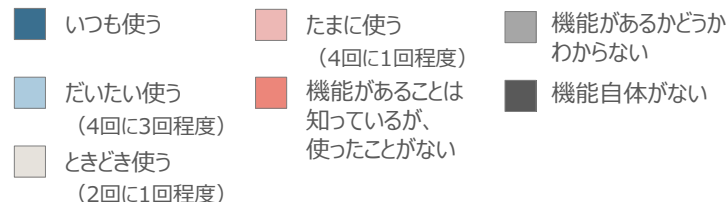
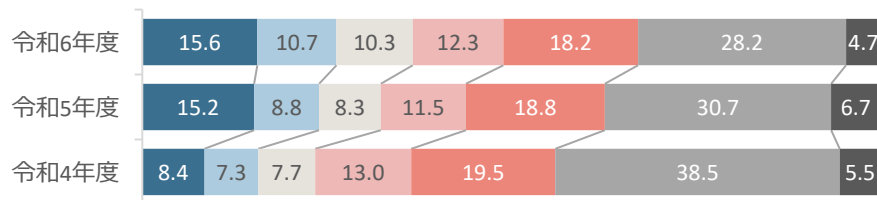
分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化

全教科総計

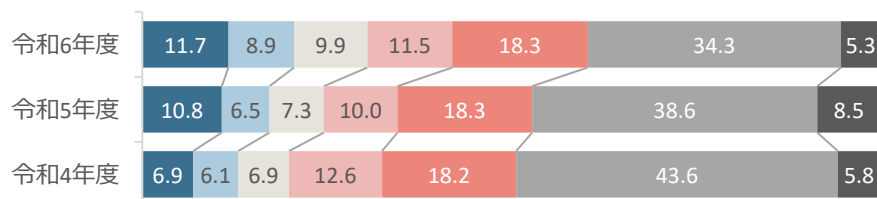
中高学年

中高学年Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=12,556 令和5年度：n=10,633 令和4年度：n=30,628

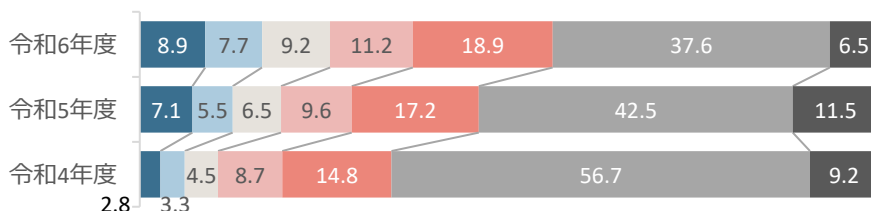
文字を書いたり線を引いたりした画面の保存機能



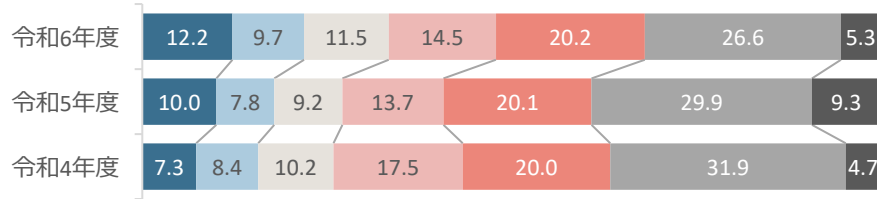
前に保存した画面を表示して、内容を確認する保存履歴の確認機能



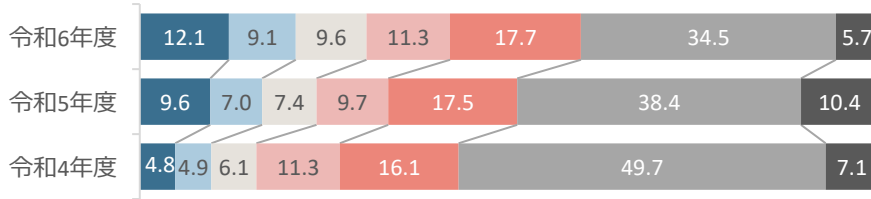
教科書の図や式を使って様々な解法を試すなど、動的に結果を確認できるシミュレーション機能



教科書から再生できる動画やアニメーションへのリンク



教科書の文章や図の一部を切り取って貼り付けたりするワークシート機能



傾向/示唆

- 中高学年では、反転表示機能、ふりがな機能、音声読み上げ機能、画面保存機能、保存履歴確認機能、動画やアニメーションへのリンク、シミュレーション機能、ワークシート機能で、「いつも使う」の回答割合が年々増えている。ただし、その内、反転表示機能、シミュレーション機能、ワークシート機能については、「使ったことがない」の回答割合も年々増えている。
- なお、機能を「使ったことがない」と回答した児童の中には、デジタル教科書自体を使わない児童も含まれており、必ずしも、その機能だけに限定した使用状況を反映しているわけではない点に留意。次ページ以降に「デジタル教科書を使わない」と回答した児童を除いた場合の分析を掲載。全ての児童を対象とした場合と比較し、経年変化の傾向は同様であるが、「たまに使う」以上の回答割合が増えている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

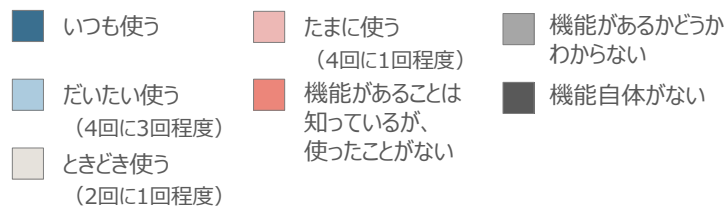
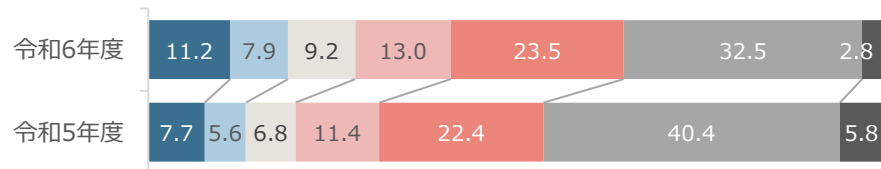
中高学年

分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化（参考：「デジタル教科書を使わない」児童を除いた場合※）

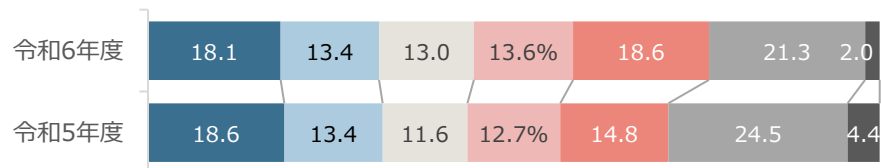
中高学年Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=8,561 令和5年度：n=6,938

（※）令和4年度調査は「デジタル教科書を使わない」という選択肢が存在しないため、掲載していない。

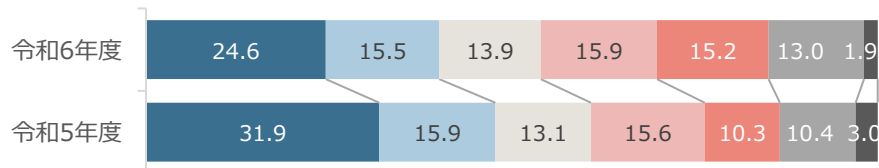
教科書の画面を見やすい色に変更する反転表示機能



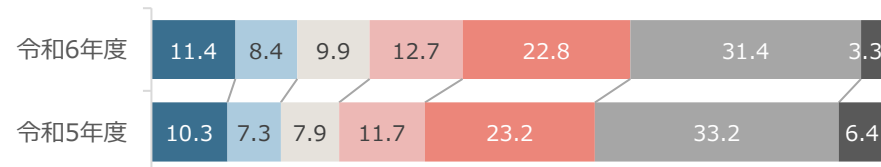
文字の大きさを変えたり、文章の間を広げたりして見やすくする調節機能



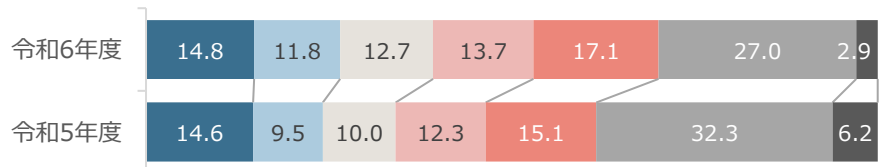
教科書の文章や図などを大きくする拡大機能



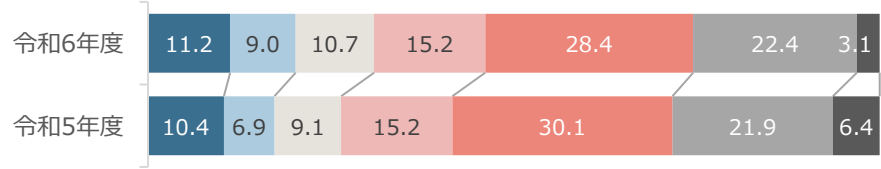
漢字のふりがなを表示する機能



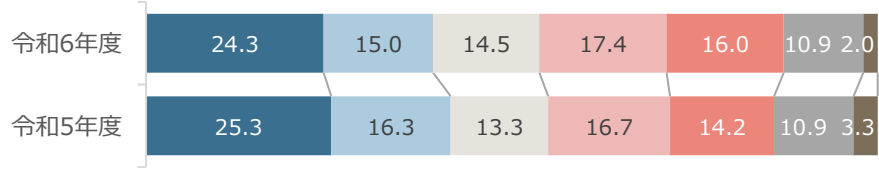
教科書の文章や図などを別ウィンドウで大きく表示する機能



音声の読み上げ機能



教科書の画面に文字を書いたり線を引いたりするペンやマーカー機能



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

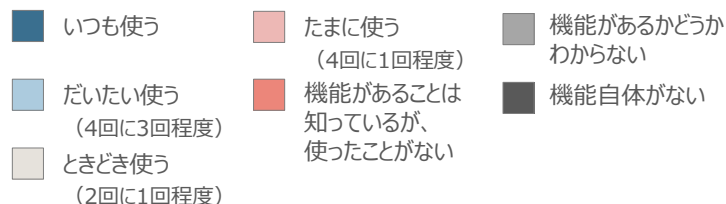
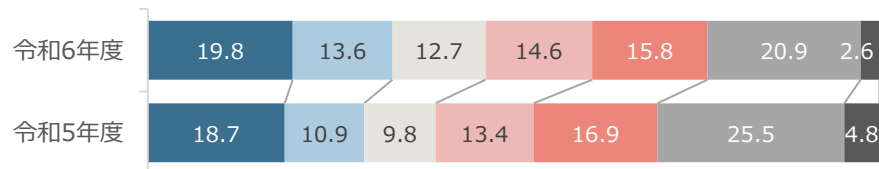
中高学年

分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化（参考：「デジタル教科書を使わない」児童を除いた場合※）

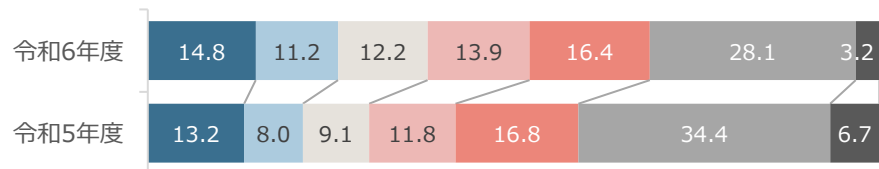
中高学年Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=8,561 令和5年度：n=6,938

（※）令和4年度調査は「デジタル教科書を使わない」という選択肢が存在しないため、掲載していない。

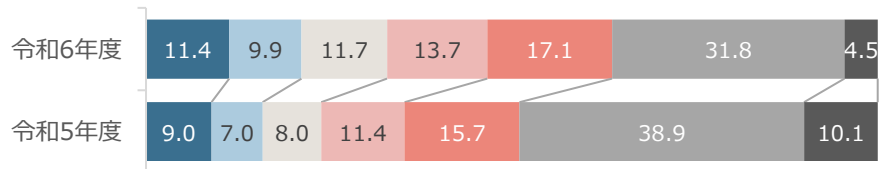
文字を書いたり線を引いたりした画面の保存機能



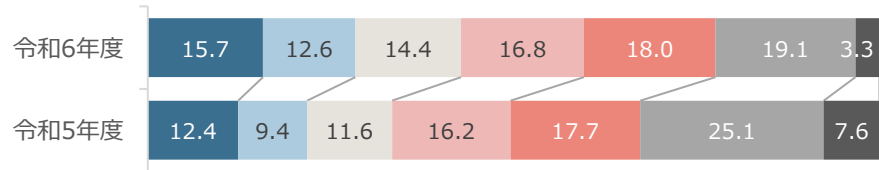
前に保存した画面を表示して、内容を確認する保存履歴の確認機能



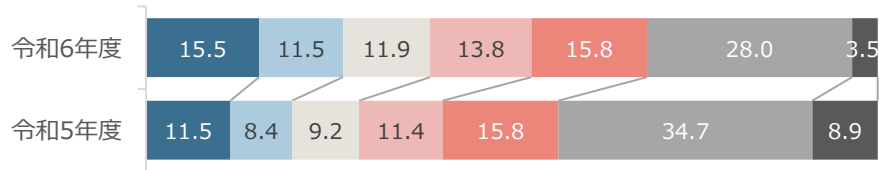
教科書の図や式を使って様々な解法を試すなど、動的に結果を確認できるシミュレーション機能



教科書から再生できる動画やアニメーションへのリンク



教科書の文章や図の一部を切り取って貼り付けたりするワークシート機能



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

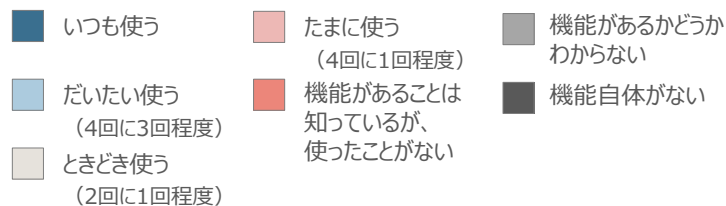
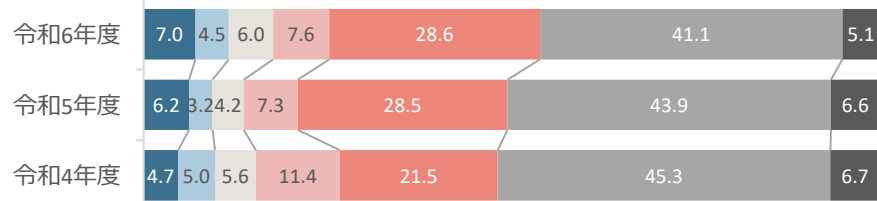
分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化

全教科総計

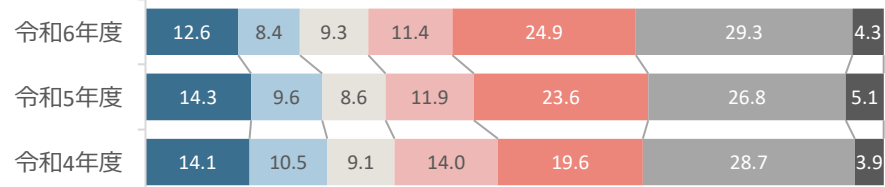
中学生

中学生Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=17,899 令和5年度：n=10,633 令和4年度：n=30,628

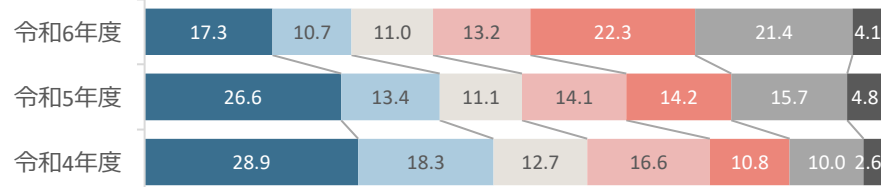
教科書の画面を見やすい色に変更する反転表示機能



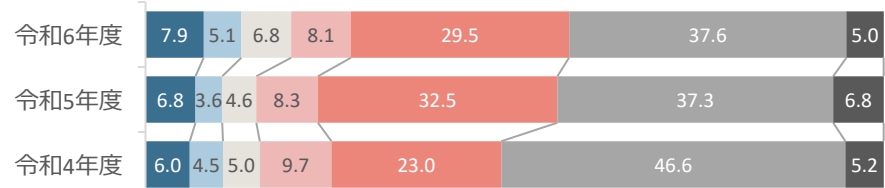
文字の大きさを変えたり、文章の間を広げたりして見やすくする調節機能



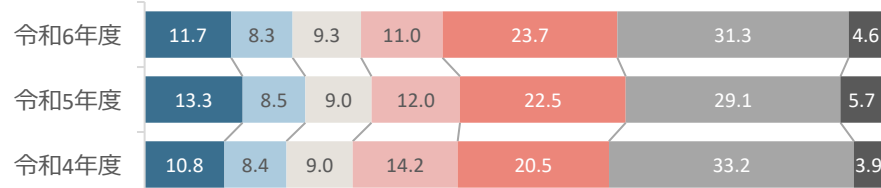
教科書の文章や図などを大きくする拡大機能



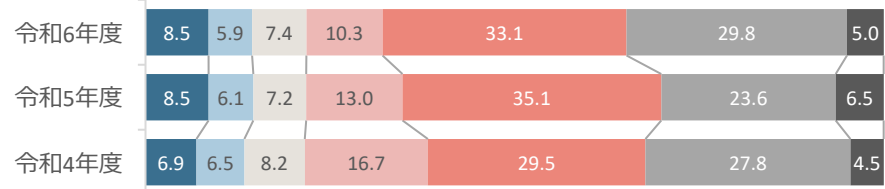
漢字のふりがなを表示する機能



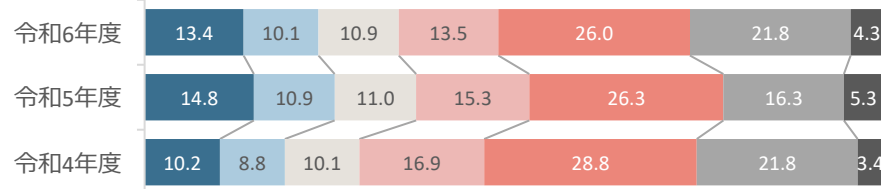
教科書の文章や図などを別ウィンドウで大きく表示する機能



音声の読み上げ機能



教科書の画面に文字を書いたり線を引いたりするペンやマーカー機能



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

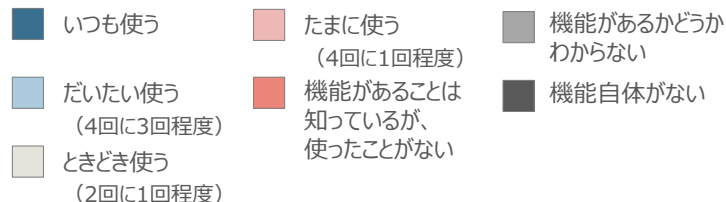
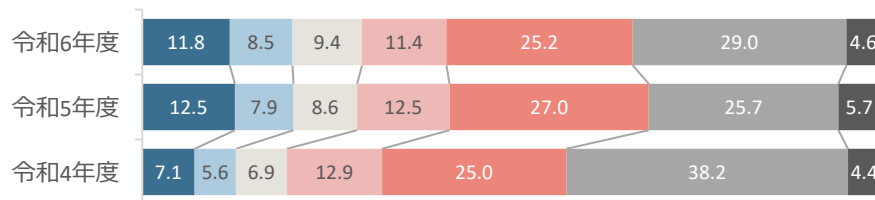
分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化

全教科総計

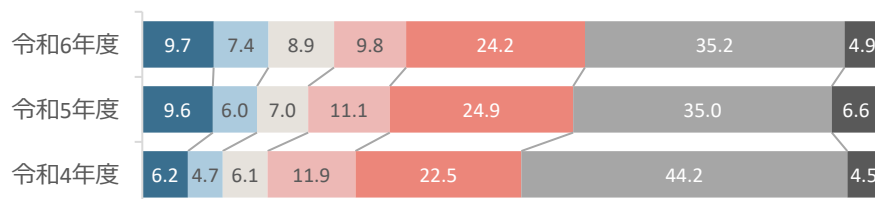
中学生

中学生Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=17,899 令和5年度：n=10,633 令和4年度：n=30,628

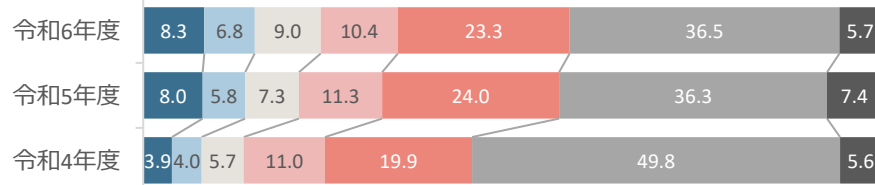
文字を書いたり線を引いたりした画面の保存機能



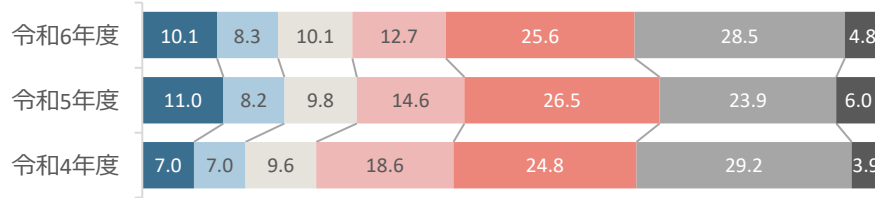
前に保存した画面を表示して、内容を確認する保存履歴の確認機能



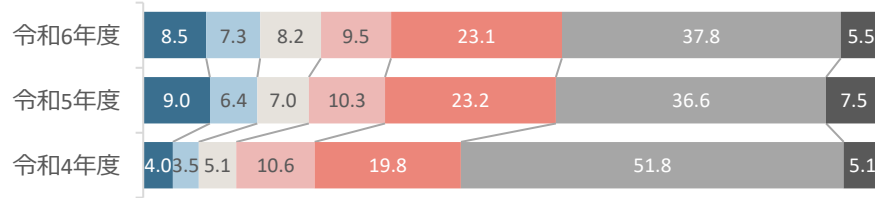
教科書の図や式を使って様々な解法を試すなど、動的に結果を確認できるシミュレーション機能



教科書から再生できる動画やアニメーションへのリンク



教科書の文章や図の一部を切り取って貼り付けたりするワークシート機能



傾向/示唆

- 中学生では、反転表示機能、ふりがな機能、保存履歴確認機能、シミュレーション機能で、「いつも使う」の回答割合が年々増えている。
- 一方で、拡大機能については、「いつも使う」割合が年々減り、「全く使わない」の回答割合が年々増えている。
- なお、機能を「使ったことがない」と回答した生徒の中には、デジタル教科書自体を使わない生徒も含まれており、必ずしも、その機能だけに限定した使用状況を反映しているわけではない点に留意。次ページ以降に「デジタル教科書を使わない」と回答した生徒を除いた場合の分析を掲載。全ての生徒を対象とした場合と比較し、経年変化の傾向は同様であるが、「たまに使う」以上の回答割合が増えている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

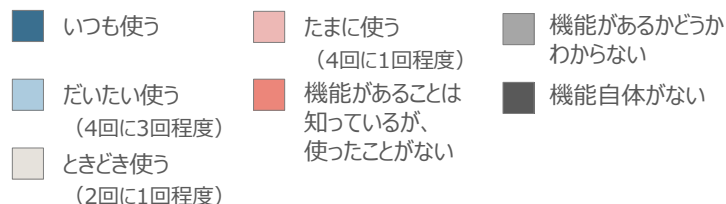
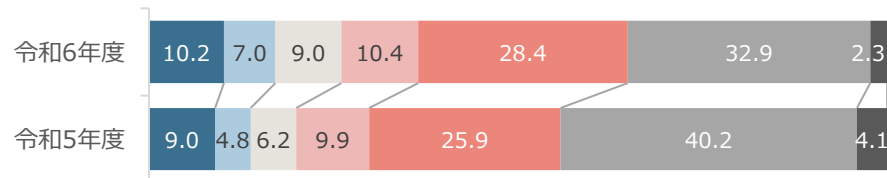
中学生

分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化（参考：「デジタル教科書を使わない」生徒を除いた場合※）

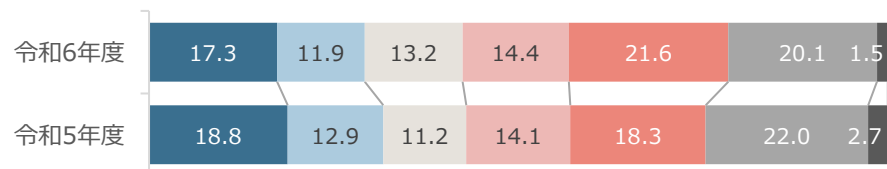
中学生Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=10,162 令和5年度：n=6,744

（※）令和4年度調査は「デジタル教科書を使わない」という選択肢が存在しないため、掲載していない。

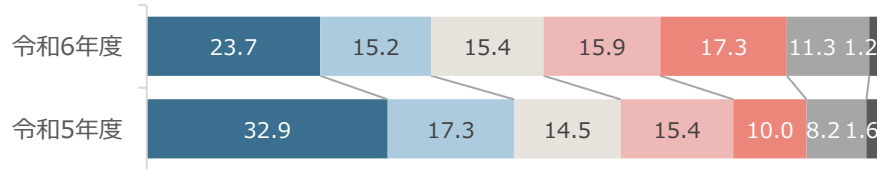
教科書の画面を見やすい色に変更する反転表示機能



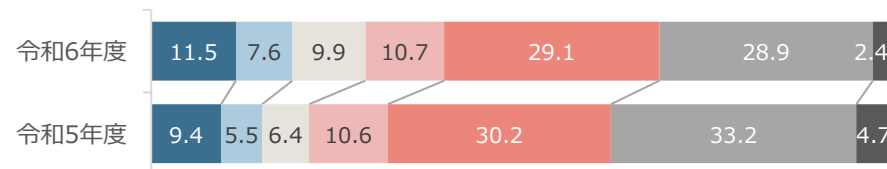
文字の大きさを変えたり、文章の間を広げたりして見やすくする調節機能



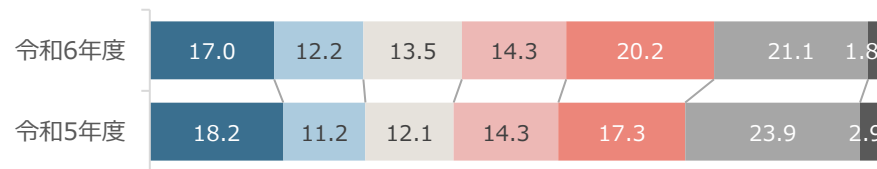
教科書の文章や図などを大きくする拡大機能



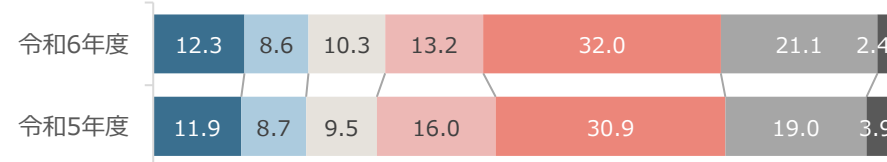
漢字のふりがなを表示する機能



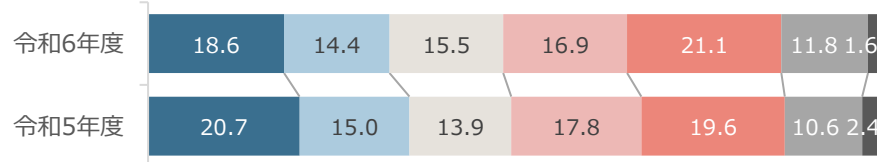
教科書の文章や図などを別ウィンドウで大きく表示する機能



音声の読み上げ機能



教科書の画面に文字を書いたり線を引いたりするペンやマーカー機能



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

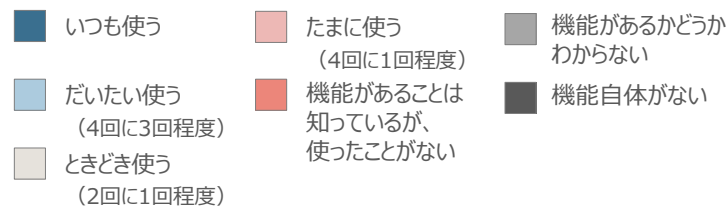
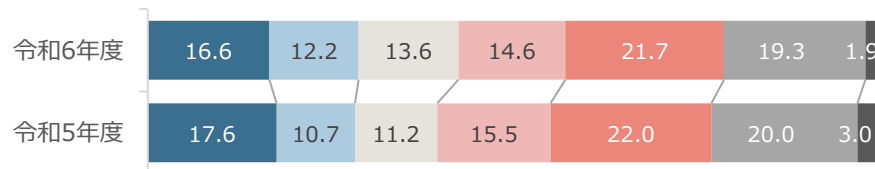
中学生

分析①-9 児童生徒のデジタル教科書における各機能の使用頻度の経年変化（参考：「デジタル教科書を使わない」生徒を除いた場合※）

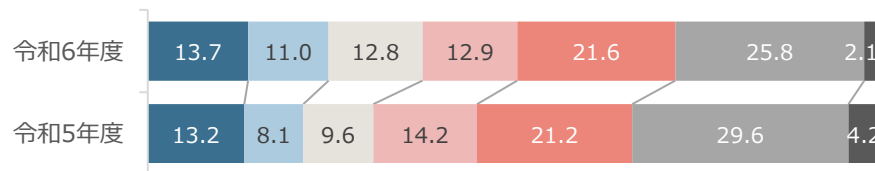
中学生Q.13 機能別の使用頻度 令和6年度：n=10,162 令和5年度：n=6,744

（※）令和4年度調査は「デジタル教科書を使わない」という選択肢が存在しないため、掲載していない。

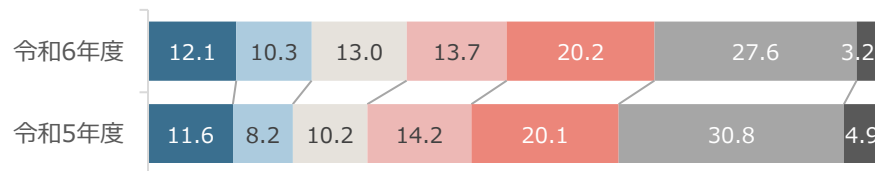
文字を書いたり線を引いたりした画面の保存機能



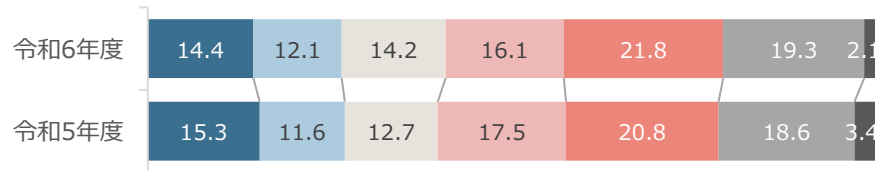
前に保存した画面を表示して、内容を確認する保存履歴の確認機能



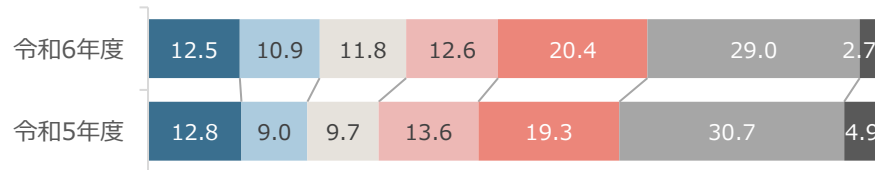
教科書の図や式を使って様々な解法を試すなど、動的に結果を確認できるシミュレーション機能



教科書から再生できる動画やアニメーションへのリンク



教科書の文章や図の一部を切り取って貼り付けたりするワークシート機能



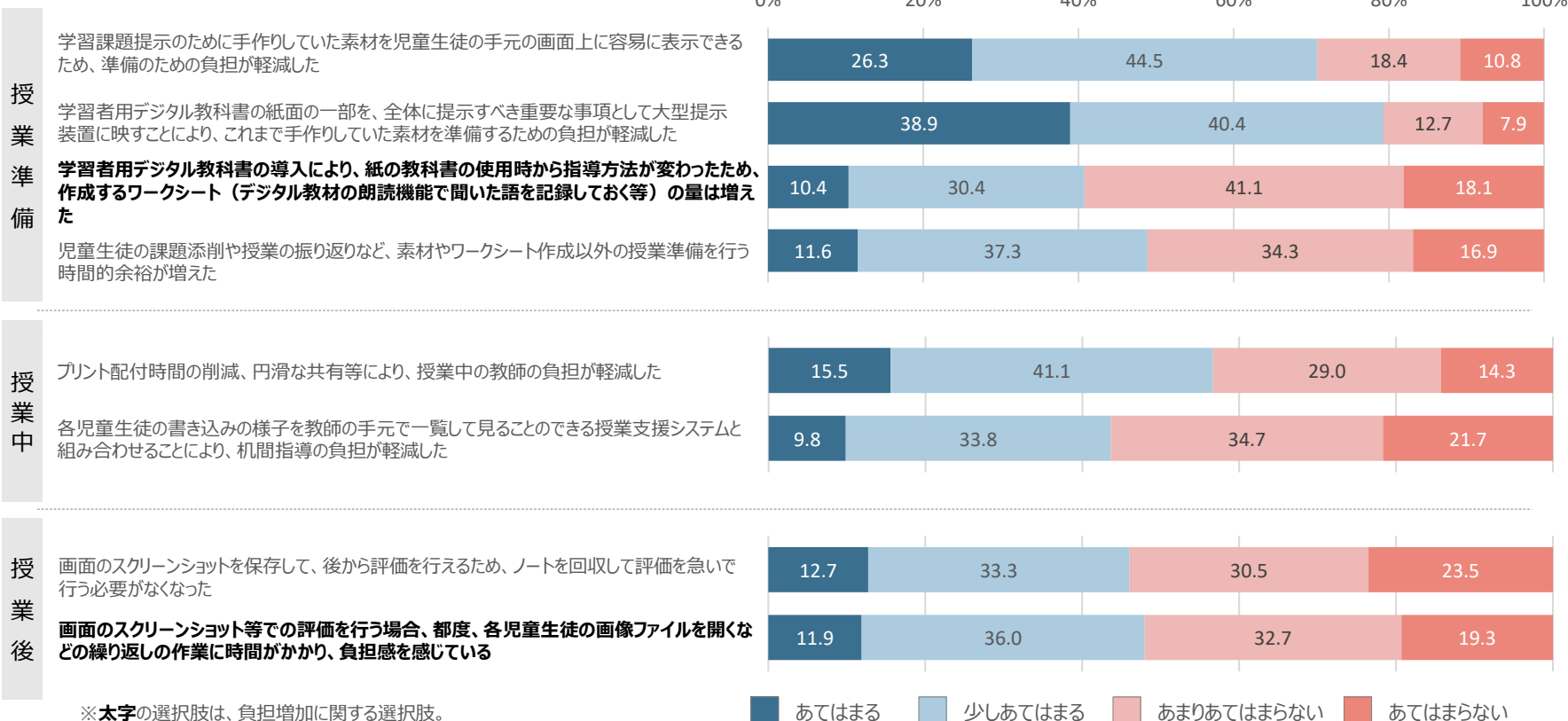
3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-1 デジタル教科書による授業負担への影響

教師Q.18 授業準備の負担、教師Q.19 授業中の負担、教師Q.20 授業後の負担



傾向/示唆

- 授業準備について、これまで手作りしていた素材から、児童生徒の手元の画面上や大型提示装置への表示に切り替えたことで負担軽減を感じている教師が多く、「あてはまる」、「少しあてはまる」の合計が7割を超えている。
- 授業中について、プリント配付時間の削減、円滑な共有等により、授業中の教師の負担が軽減したと感じている教師は、「あてはまる」、「少しあてはまる」の合計が5割以上を占めている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-2 デジタル教科書による授業負担の経年変化

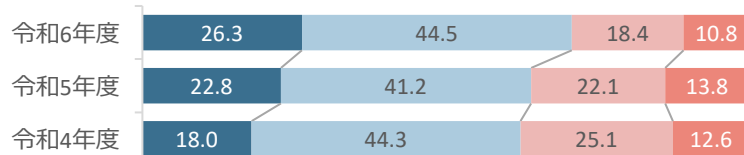
全教科総計

教師

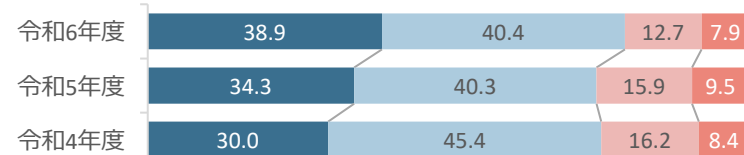
教師Q.18 授業準備の負担、教師Q.19 授業中の負担、教師Q.20 授業後の負担

令和6年度：n=7,699 令和5年度：n=5,120 令和4年度：n=19,980

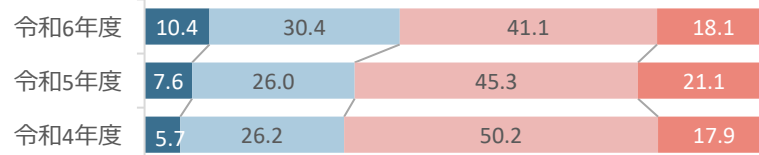
学習課題提示のために手作りしていた素材を児童生徒の手元の画面上に容易に表示できるため、準備のための負担が軽減した



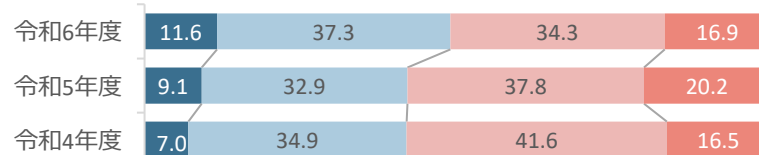
学習者用デジタル教科書の紙面の一部を、全体に提示すべき重要な事項として大型提示装置に映すことにより、これまで手作りしていた素材を準備するための負担が軽減した



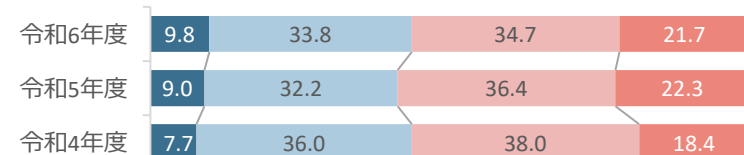
学習者用デジタル教科書の導入により、紙の教科書の使用時から指導方法が変わったため、作成するワークシート（デジタル教材の朗読機能で聞いた語を記録しておく等）の量は増えた



児童生徒の課題添削や授業の振り返りなど、素材やワークシート作成以外の授業準備を行う時間的余裕が増えた



各児童生徒の書き込みの様子を教師の手元で一覧して見ることのできる授業支援システムと組み合わせることにより、机間指導の負担が軽減した



■ あてはまる ■ 少しあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-2 デジタル教科書による授業負担の経年変化

全教科総計

教師

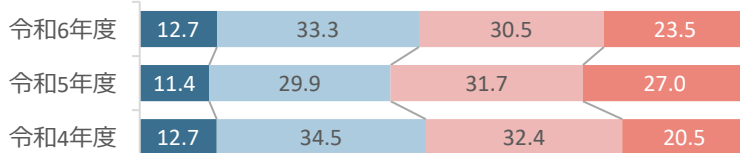
教師Q.18 授業準備の負担、教師Q.19 授業中の負担、教師Q.20 授業後の負担

令和6年度：n=7,699

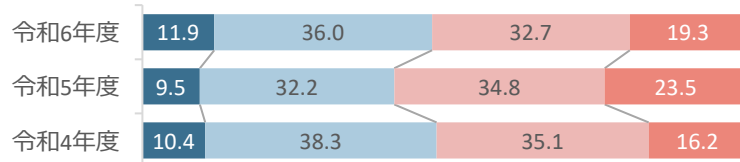
令和5年度：n=5,120

令和4年度：n=19,980

画面のスクリーンショットを保存して、後から評価を行えるため、
ノートを回収して評価を急いで行う必要がなくなった



画面のスクリーンショット等での評価を行う場合、
都度、各児童生徒の画像ファイルを開くなどの繰り返しの作業に時間が
かかり、負担感を感じている



あてはまる 少しあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

傾向/示唆

- 過年度調査と比較して、全体的にデジタル教科書による授業負担の軽減を感じている教師の割合が増えている。
特に、児童生徒の手元の画面上や大型提示装置への表示に切り替えたことによる負担軽減について、「あてはまる」と回答した割合は、令和4年度から8ポイント以上上昇している。
- 他方で、デジタル教科書活用によって負担が増えた側面もある（「作成するワークシートの量は増えた」、「各児童生徒の画像ファイルを開くなどの繰り返しの作業に時間がかかる」）。負担感を感じる教員の割合が年度ごとに上下しているものもあり、より負担の少ない使い方を模索する過程が現れている可能性もある。
- 過年度よりも学習者用デジタル教科書の定着が進み、全体的に教師の使用歴が延びてデジタル教科書の習熟度が高まったことが、授業負担の軽減を実感する割合が増加した一因として考えられる。（次ページの使用歴との関連を見ても、使用歴が長いほど授業負担の軽減を感じる教師の割合が高くなっていることがわかる。）

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-2 デジタル教科書による授業負担の経年変化（参考：使用歴と授業負担の関連（1/2））

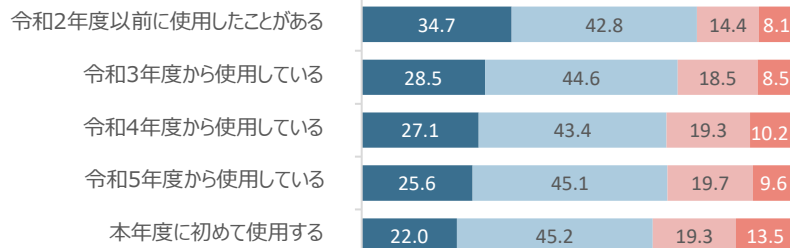
全教科総計

教師

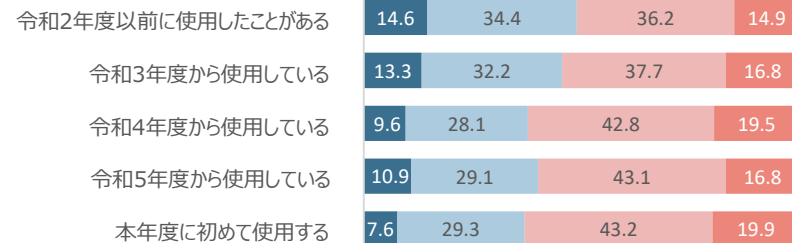
教師Q.18 授業準備の負担、教師Q.19 授業中の負担、教師Q.20 授業後の負担

n=7,699

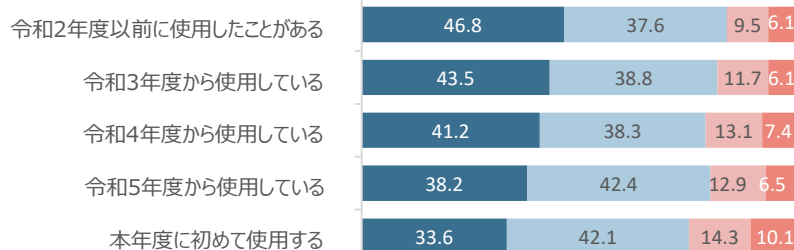
学習課題提示のために手作りしていた素材を児童生徒の手元の画面上に容易に表示できるため、準備のための負担が軽減した



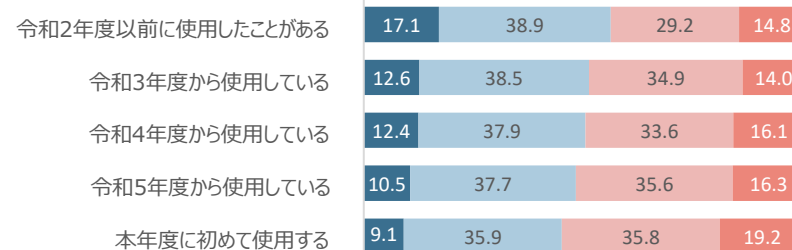
学習者用デジタル教科書の導入により、紙の教科書の使用時から指導方法が変わったため、作成するワークシート（デジタル教材の朗読機能で聞いた語を記録しておく等）の量は増えた



学習者用デジタル教科書の紙面の一部を、全体に提示すべき重要な事項として大型提示装置に映すことにより、これまで手作りしていた素材を準備するための負担が軽減した



児童生徒の課題添削や授業の振り返りなど、素材やワークシート作成以外の授業準備を行う時間的余裕が増えた



あてはまる 少しあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-2 デジタル教科書による授業負担の経年変化（参考：使用歴と授業負担の関連（2/2））

全教科総計

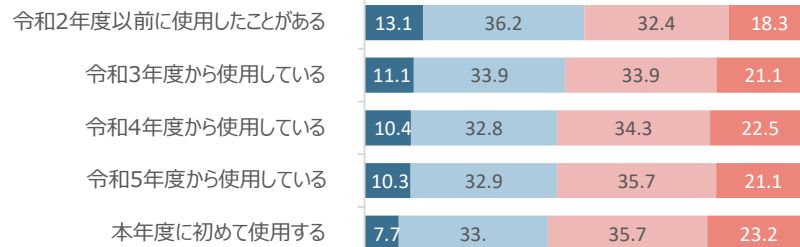
教師

教師Q.18 授業準備の負担、教師Q.19 授業中の負担、教師Q.20 授業後の負担

n=7,699

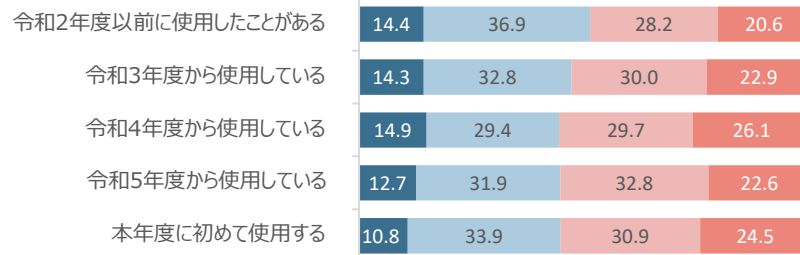
各児童生徒の書き込みの様子を教師の手元で一覧して見ることのできる
授業支援システムと組み合わせることにより、机間指導の負担が軽減した

授業中

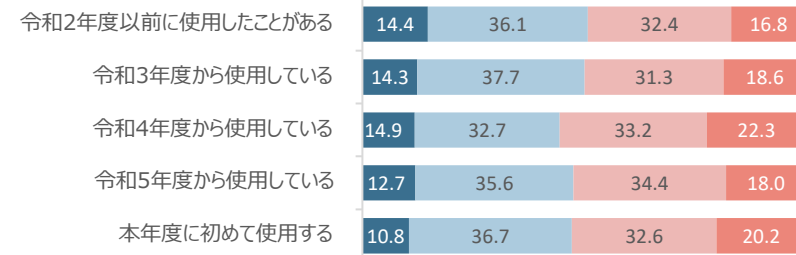


画面のスクリーンショットを保存して、後から評価を行えるため、
ノートを回収して評価を急いで行う必要がなくなった

授業後



画面のスクリーンショット等での評価を行う場合、
都度、各児童生徒の画像ファイルを開くなどの繰り返しの作業に時間が
かかり、負担感を感じている



あてはまる 少しあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（1/6）

全教科総計

教師

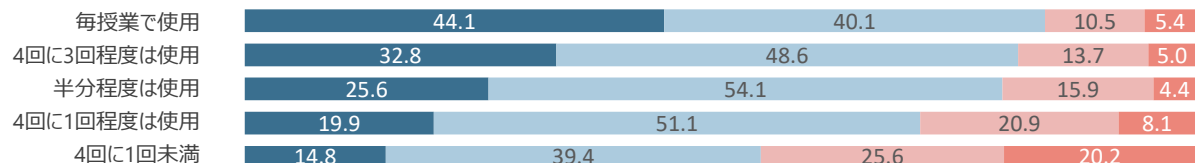
教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.18～20 授業負担

n=7,699

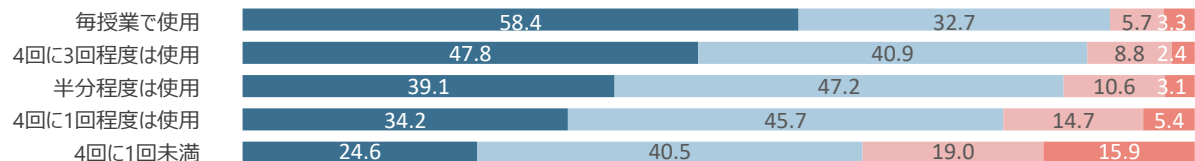
0% 20% 40% 60% 80% 100%

授業準備

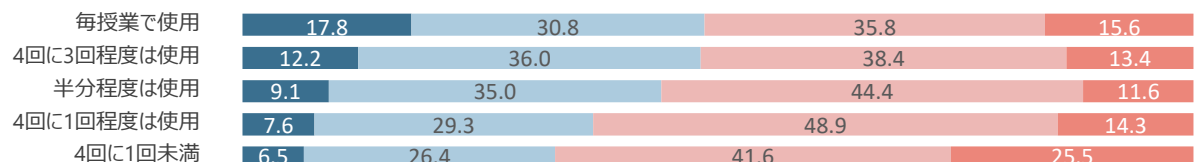
学習課題提示のために手作りしていた素材を児童生徒の手元の画面上に容易に表示できるため、準備のための負担が軽減した



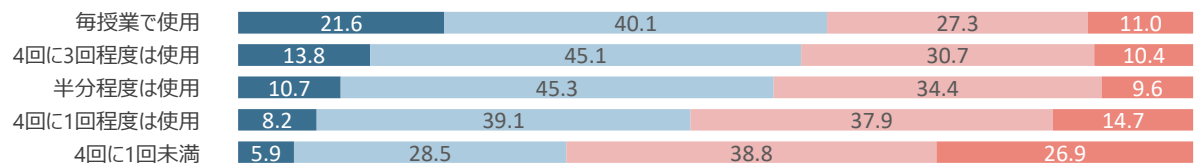
学習者用デジタル教科書の紙面の一部を、全体に提示すべき重要な事項として大型提示装置に映すことにより、これまで手作りしていた素材を準備するための負担が軽減した



学習者用デジタル教科書の導入により紙の教科書の使用時から指導方法が変わったため、作成するワークシート（デジタル教材の朗読機能で聞いた語を記録しておく等）の量は増えた



児童生徒の課題添削や授業の振り返りなど、素材やワークシート作成以外の授業準備を行う時間的余裕が増えた



■ あてはまる ■ 少しあてはまる ■ あまりあてはまらない ■ あてはまらない

傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している頻度が高い方が、授業準備の負担が軽減したと感じている割合が高い傾向にある。
- デジタル教科書の導入に伴って生じる新たな負担（「作成するワークシート（デジタル教材の朗読機能で聞いた語を記録しておく等）の量は増えた」）については、デジタル教科書の使用頻度が高い方が、負担が増えたと回答する傾向にある一方で、「毎授業で使用」のグループにおいても、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した教師が半数以上存在する。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

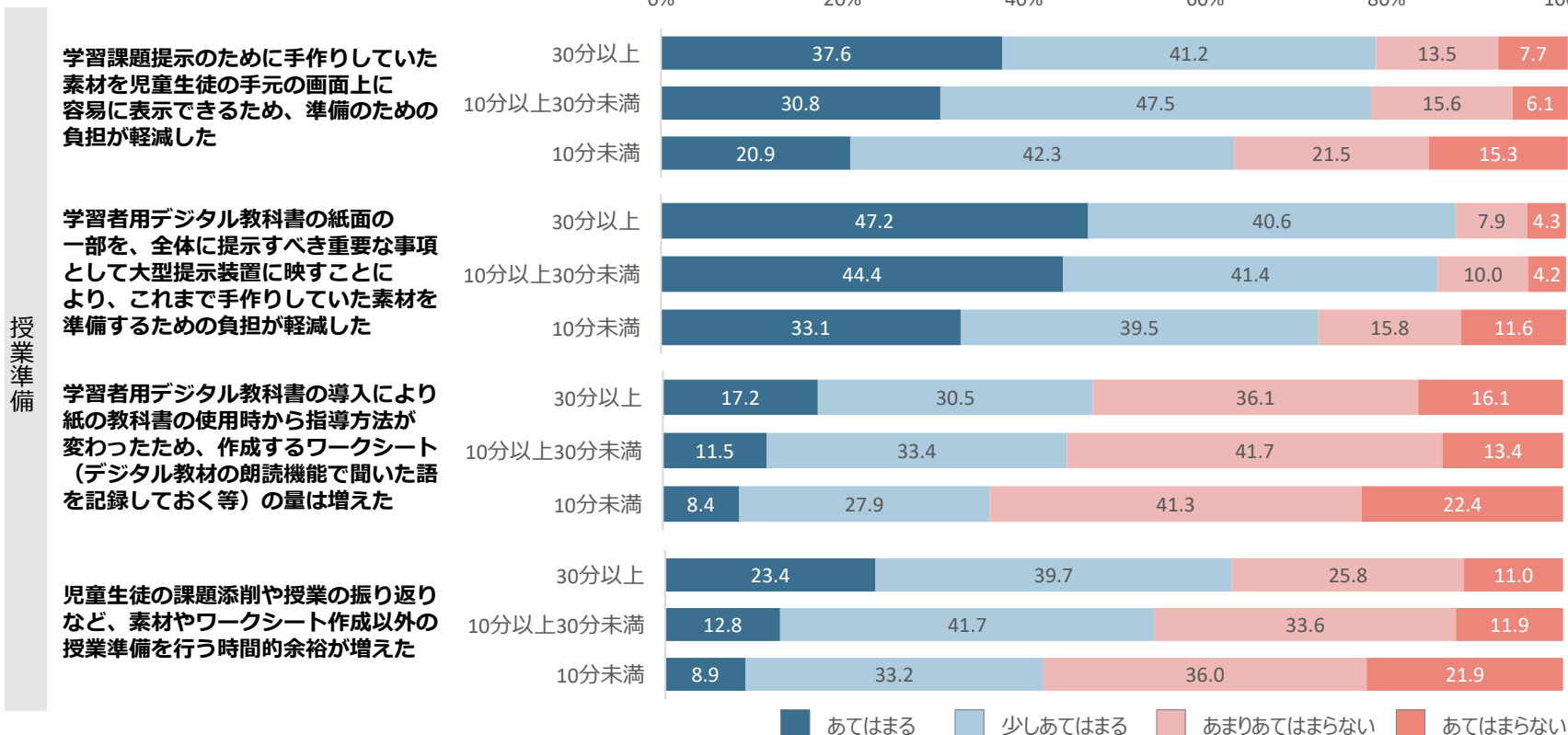
分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（2/6）

全教科総計

教師

教師Q.11 1回の授業での使用時間 × 教師Q.18～20 授業負担 n=7,699

0% 20% 40% 60% 80% 100%



傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している時間が長い方が、授業準備の負担が軽減したと感じている割合が高い傾向にある。
- デジタル教科書の導入に伴って生じる新たな負担（「作成するワークシート（デジタル教材の朗読機能で聞いた語を記録しておく等）の量は増えた」）については、デジタル教科書の使用時間が長い方が、負担が増えたと回答する傾向にある一方で、授業1回あたりの使用時間が「30分以上」のグループにおいても、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した教師が半数以上存在する。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（3/6）

全教科総計

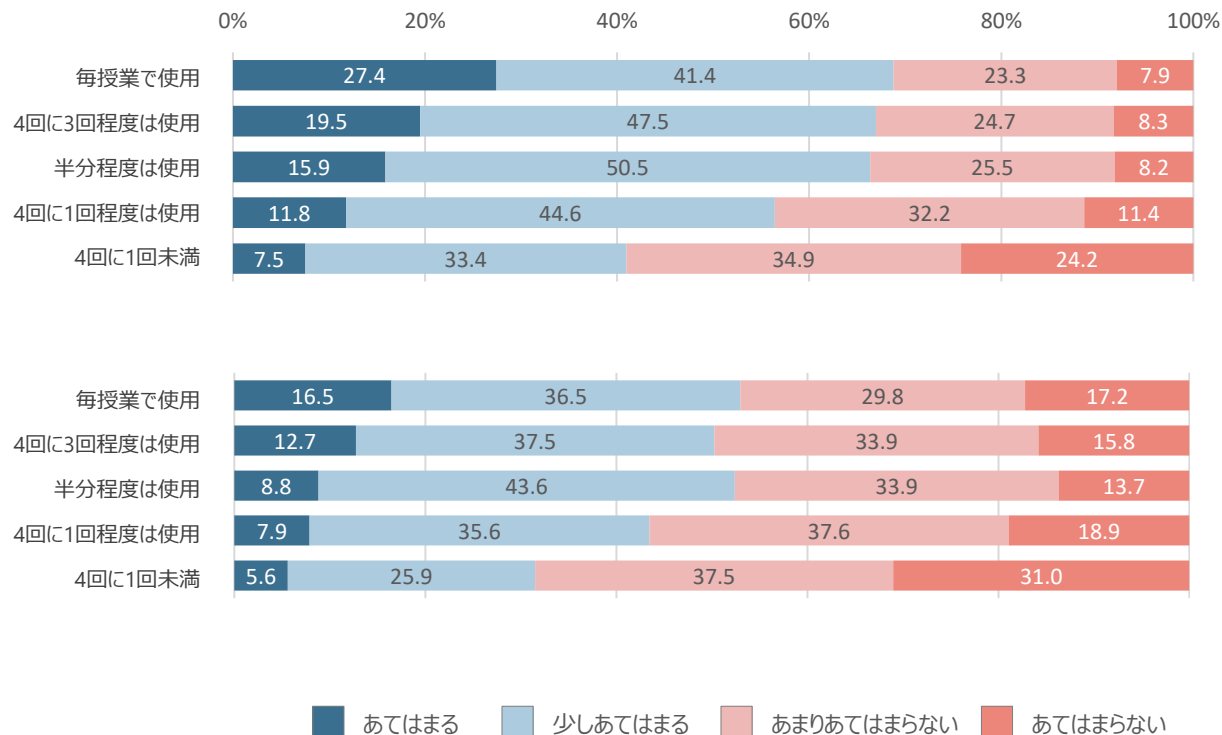
教師

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.18～20 授業負担

n=7,699

授業中
プリント配付時間の削減、円滑な共有等により、授業中の教師の負担が軽減した

各児童生徒の書き込みの様子を教師の手元で一覧して見ることのできる授業支援システムと組み合わせることにより、机間指導の負担が軽減した



傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している頻度が高い方が、授業中の教師の負担が軽減したと感じている割合が高い傾向にある。
- 特に、「プリント配付時間の削減、円滑な共有等により、授業中の教師の負担が軽減した」については、「毎授業で使用」のグループでは、「4回に1回未満」のグループと比べ、「あてはまる」と回答した割合が約20ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

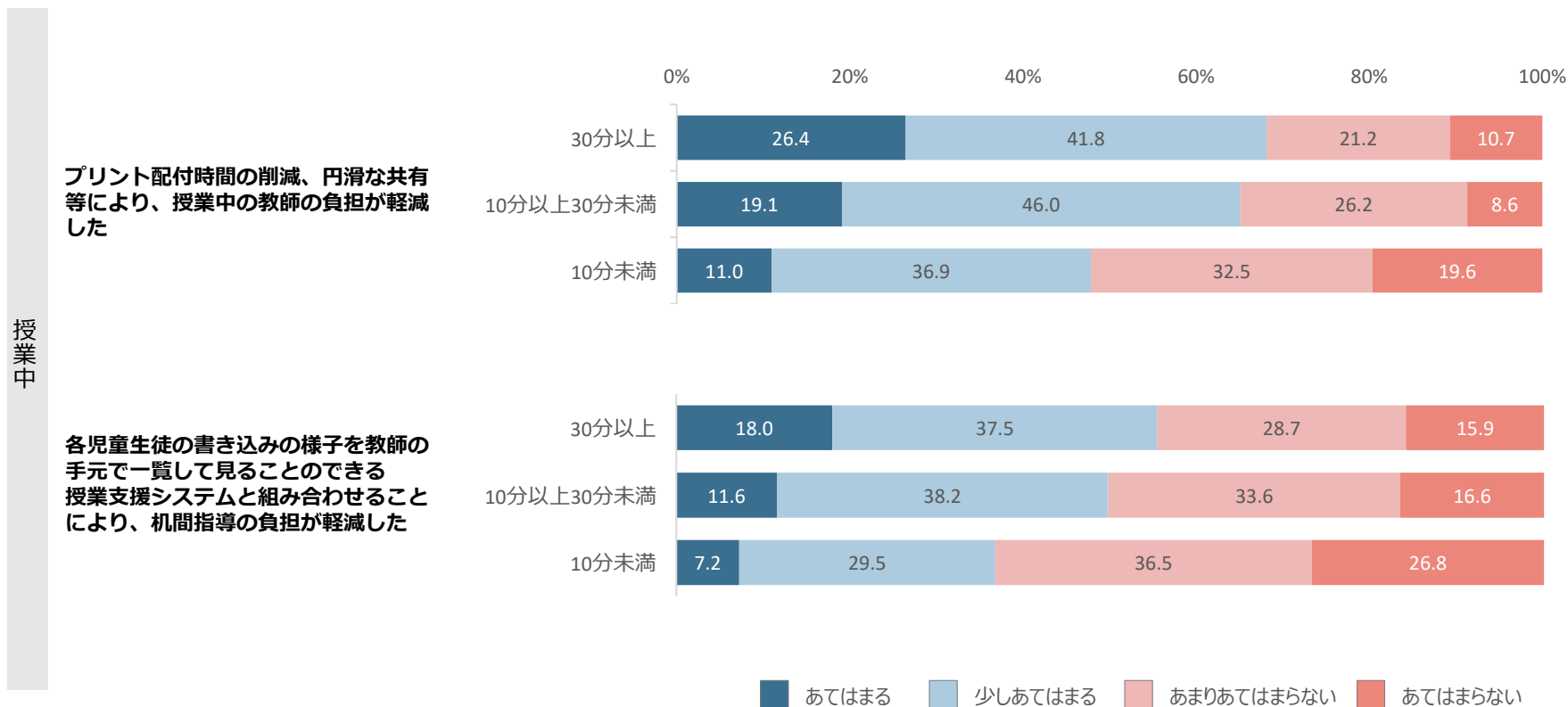
② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（4/6）

全教科総計

教師

教師Q.11 1回の授業での使用時間 × 教師Q.18～20 授業負担 n=7,699



傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している時間が長い方が、授業中の教師の負担が軽減したと感じている割合が高い傾向にある。
- 特に、「プリント配付時間の削減、円滑な共有等により、授業中の教師の負担が軽減した」については、授業1回あたりの使用時間が「30分以上」のグループでは、「10分未満」のグループと比べ、「あてはまる」と回答した割合が約15ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

② デジタル教科書による授業負担の増減効果

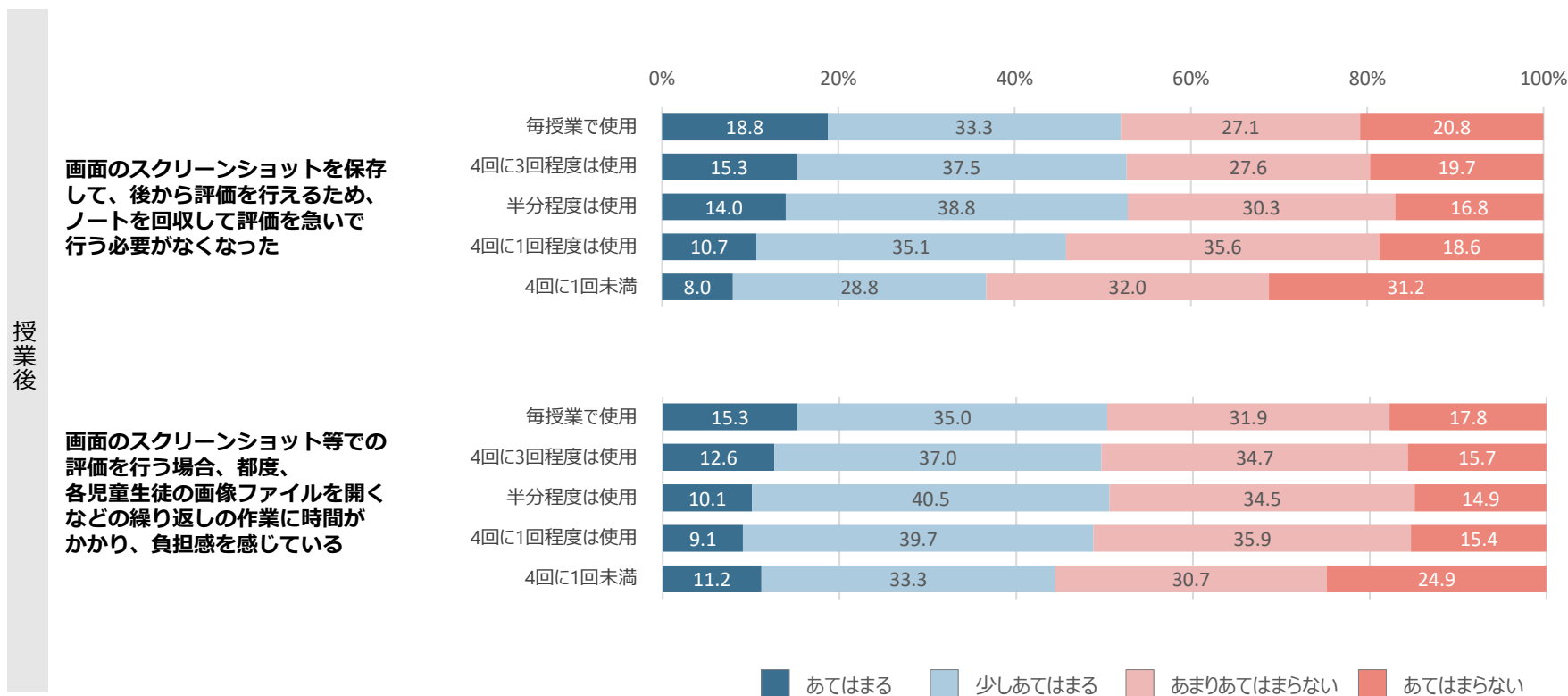
分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（5/6）

全教科総計

教師

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.18～20 授業負担

n=7,699



傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している頻度が高い方が、「画面のスクリーンショットを保存して、後から評価を行えるため、ノートを回収して評価を急いで行う必要がなくなった」と感じている割合が高い傾向にある。
- デジタル教科書の導入に伴って生じる新たな負担（「画面のスクリーンショット等での評価を行う場合、都度、各児童生徒の画像ファイルを開くなどの繰り返しの作業に時間がかかり、負担感を感じている」）については、デジタル教科書の使用頻度が高い方が、負担が増えたと回答する傾向にある一方で、「毎授業で使用」のグループにおいても、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した教師が半数程度存在する。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

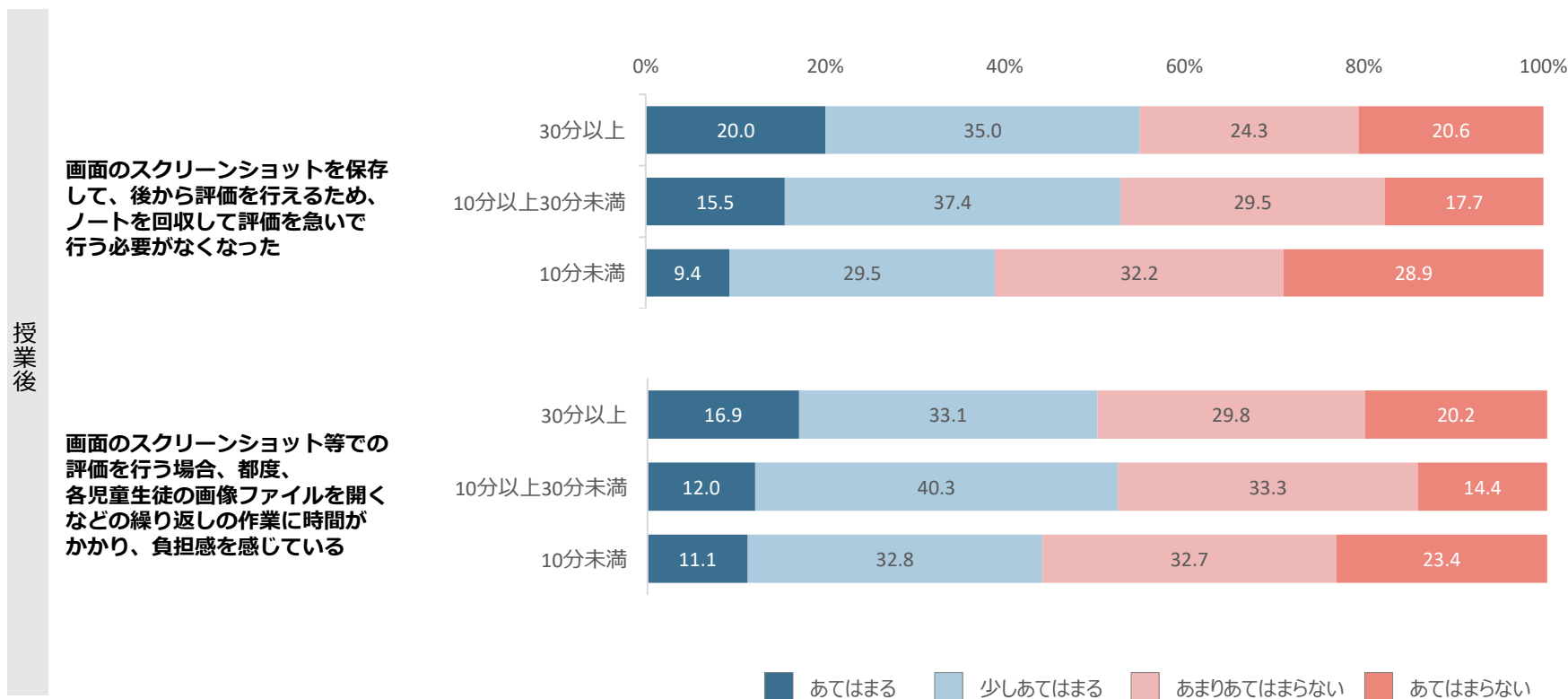
② デジタル教科書による授業負担の増減効果

分析②-3 デジタル教科書の授業での使用頻度・時間と、デジタル教科書による授業負担の関連（6/6）

全教科総計

教師

教師Q.11 1回の授業での使用時間 × 教師Q.18～20 授業負担 n=7,699



傾向/示唆

- デジタル教科書を授業内で使用している時間が長い方が、「画面のスクリーンショットを保存して、後から評価を行えるため、ノートを回収して評価を急いで行う必要がなくなった」と感じている割合が高い傾向にある。
- デジタル教科書の導入に伴って生じる新たな負担（「画面のスクリーンショット等での評価を行う場合、都度、各児童生徒の画像ファイルを開くなどの繰り返しの作業に時間がかかり、負担感を感じている」）については、デジタル教科書の使用時間が長い方が、負担が増えたと回答する傾向にある一方で、授業1回あたりの使用時間が「30分以上」のグループにおいても、「あまりあてはまらない」または「あてはまらない」と回答した教師が半数程度存在する。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

分析③-1 デジタル教科書の場面別の使用感

全教科総計

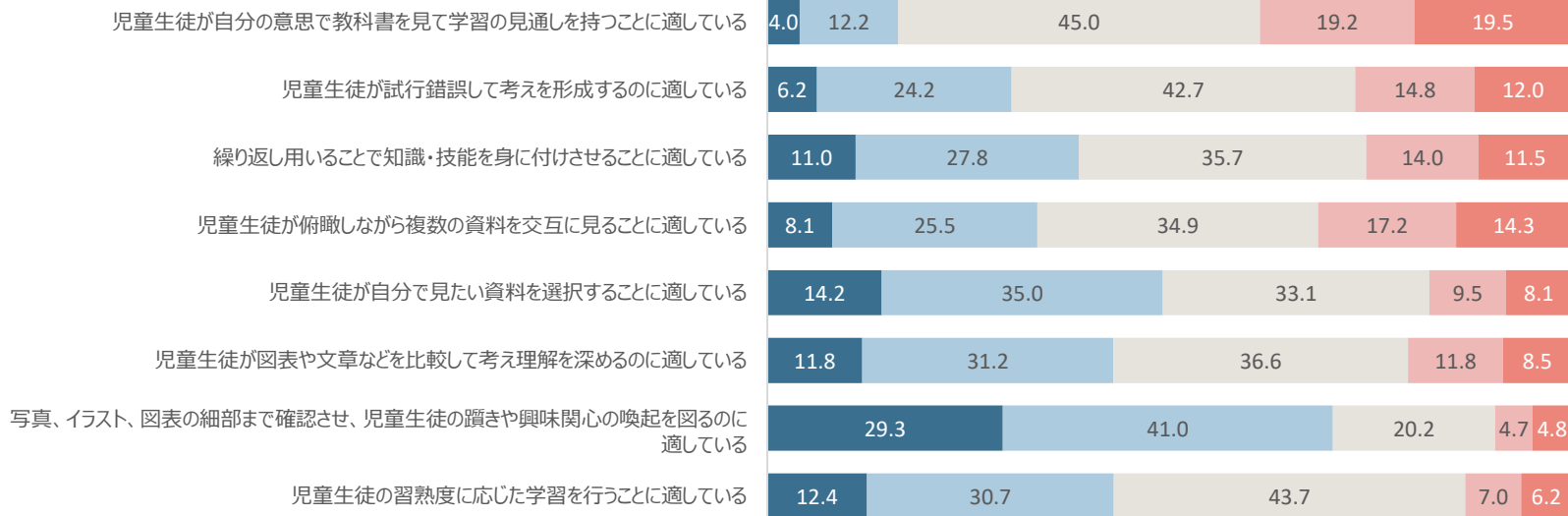
教師

教師Q.14～16 場面別の使用感

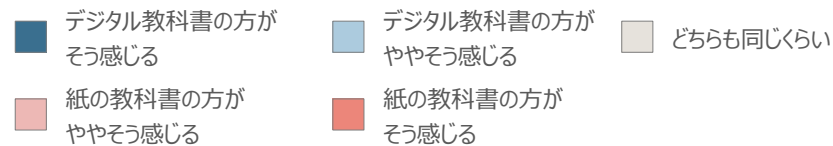
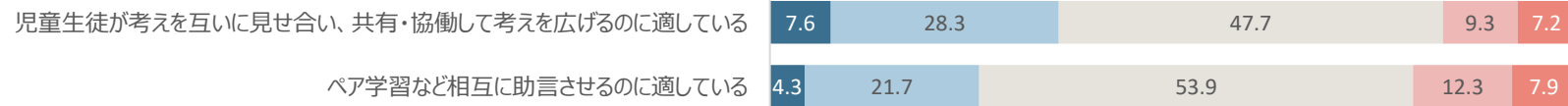
n=7,699

0% 20% 40% 60% 80% 100%

個別学習



協働学習



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

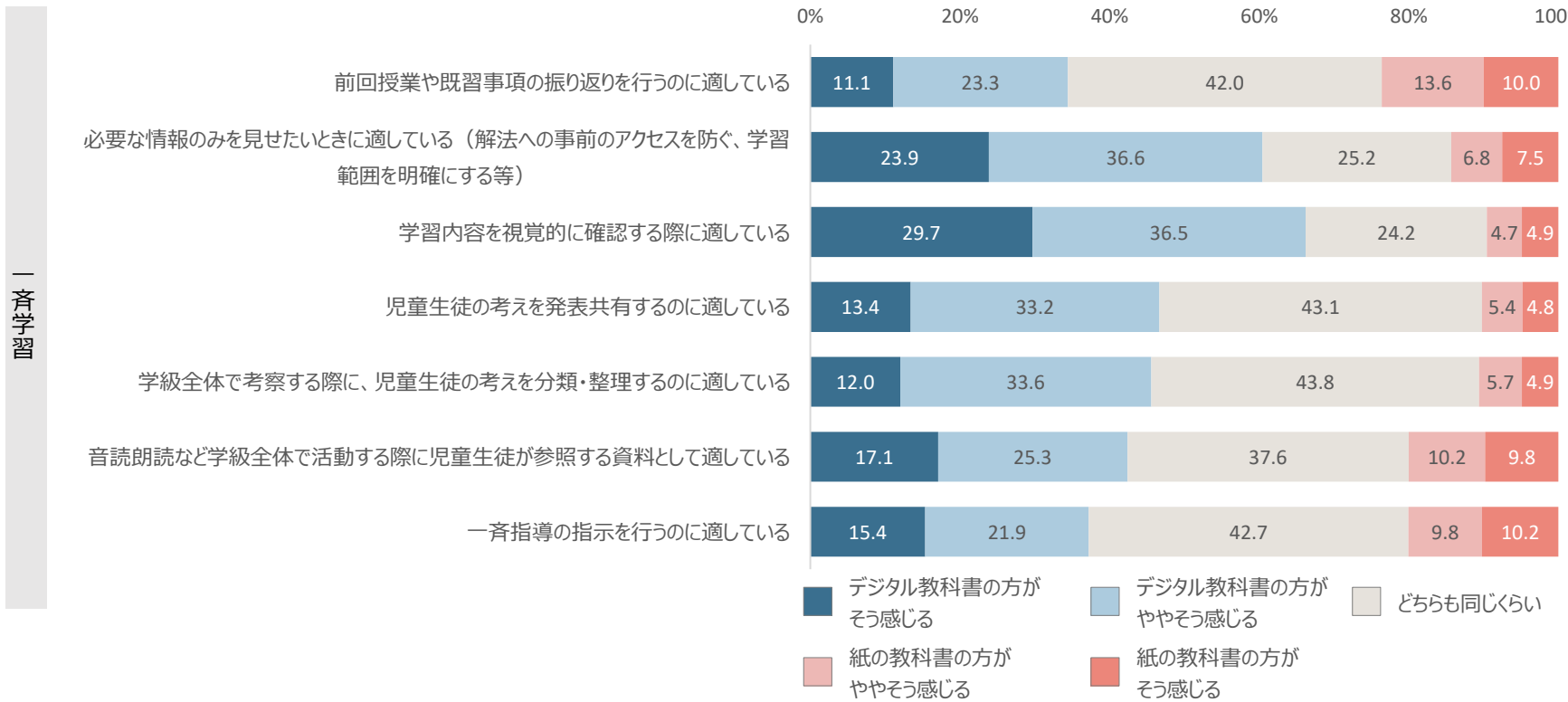
③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

分析③-1 デジタル教科書の場面別の使用感

全教科総計

教師

教師Q.14～16 場面別の使用感 n=7,699



傾向/示唆

- 「デジタル教科書の方がそう感じる」（適している）と回答した教師の割合は、**学習内容を視覚的に確認する場面（29.7％）、写真・イラスト・図表を細部まで確認する場面（29.3％）、必要な情報のみを見せる場面（23.9％）**の順に高い。
- 上記場面に加え、**児童生徒が見たい資料を選択する場面や図表や文章を比較する場面**でも、紙の教科書と比べてデジタル教科書に優位性を感じていると回答した割合が高い。（以下、デジタル教科書と紙の教科書の優位性を比較する場合は、「ややそう感じる」まで含めた回答割合で比較を行う。）
- 一方で、**学習の見通しを持つ場面**では、紙の教科書に優位性を感じていると回答した割合が高い。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

分析③-2 デジタル教科書の場面別の使用感の経年変化（個別学習）

全教科総計

教師

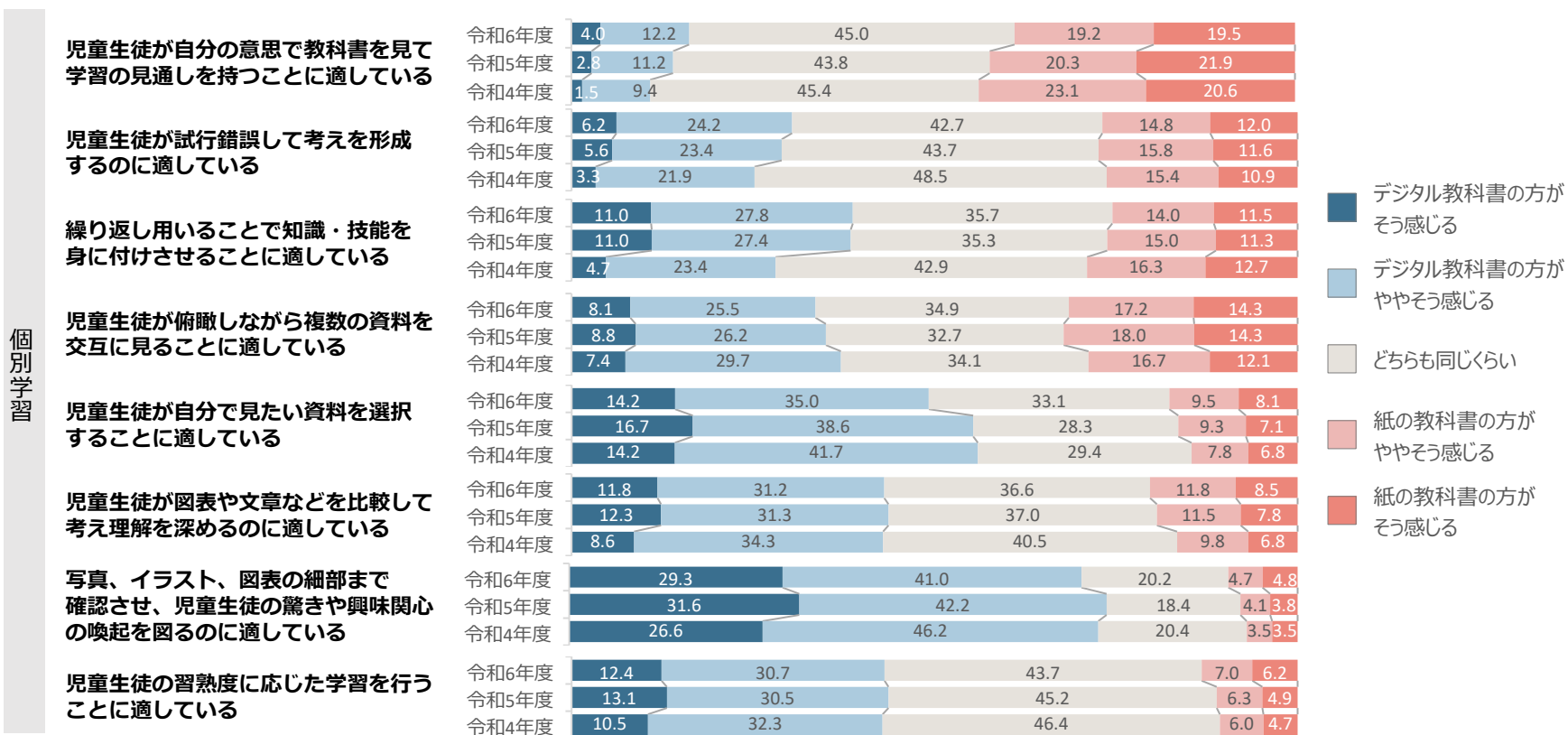
教師Q.14 個別学習の使用感

令和6年度：n=7,699

令和5年度：n=5,120

令和4年度：n=19,980

0% 20% 40% 60% 80% 100%



傾向/示唆

- 個別学習では、「児童生徒が自分の意思で教科書を見て学習の見通しを持つことに適している」、「児童生徒が試行錯誤して考えを形成するのに適している」、「繰り返し用いることで知識・技能を身に付けさせることに適している」について、デジタル教科書に優位性を感じている回答割合が年々増え、かつ、紙の教科書に優位性を感じている回答割合は横ばいか減っている。
- 一方で、「児童生徒が自分で見たい資料を選択することに適している」について、デジタル教科書に優位性を感じている回答割合が年々減り、紙の教科書に優位性を感じている回答割合が増えている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

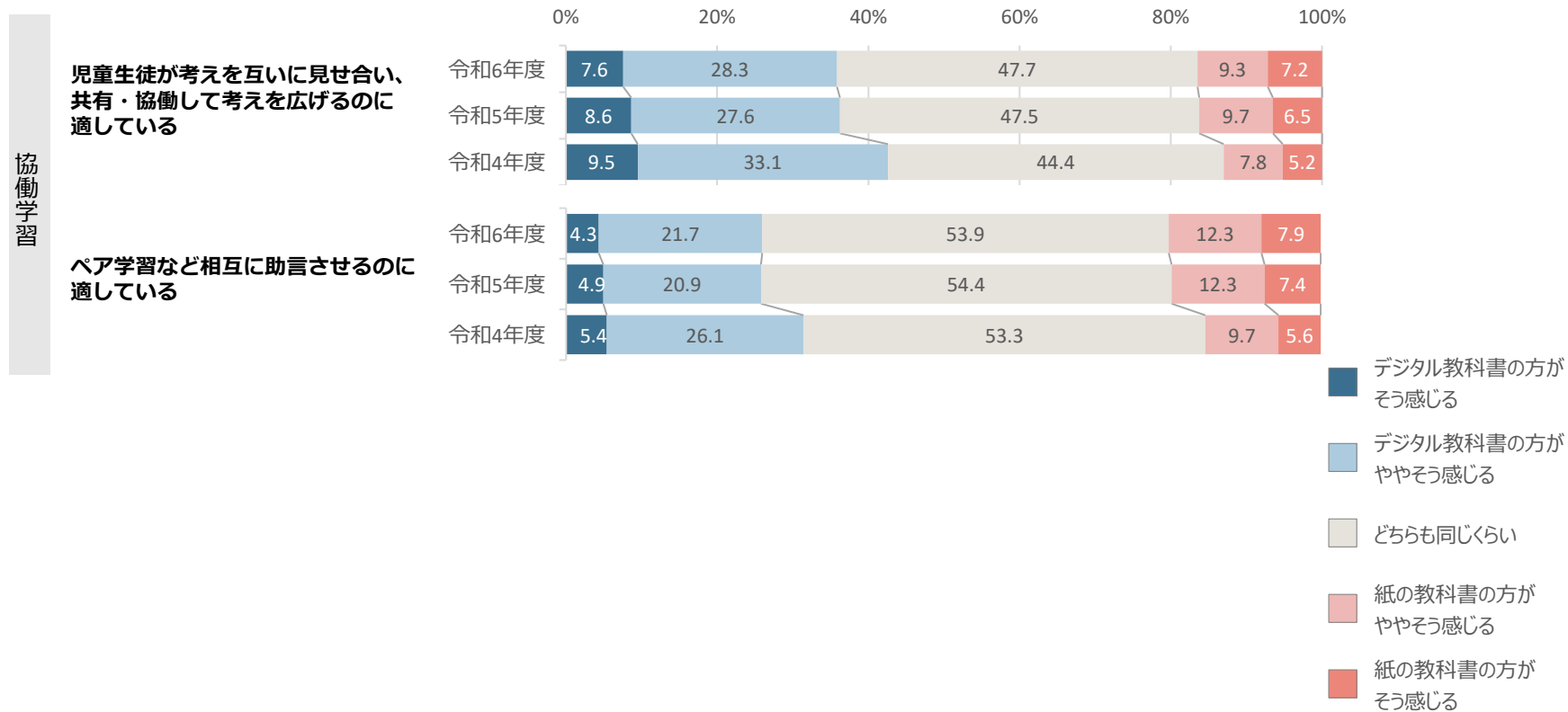
③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

分析③-2 デジタル教科書の場面別の使用感の経年変化（協働学習）

全教科総計

教師

教師Q.15 協働学習の使用感 令和6年度：n=7,699 令和5年度：n=5,120 令和4年度：n=19,980



傾向/示唆

- 協働学習では、令和4年度から令和5年度においては、デジタル教科書に優位性を感じている回答割合が減り、紙の教科書に優位性を感じている回答割合が増えているが、令和5年度から令和6年度においては、大きな変化は見られない。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

分析③-2 デジタル教科書の場面別の使用感の経年変化（一斉学習）

全教科総計

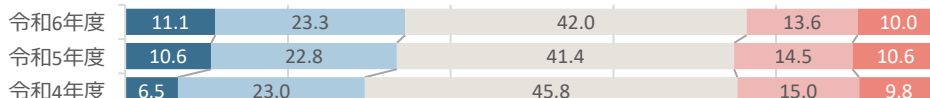
教師

教師Q.16 一斉学習の使用感

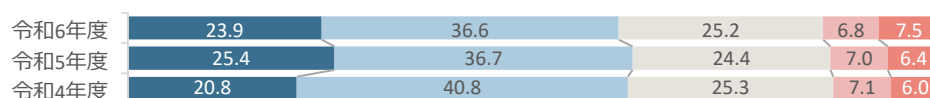
令和6年度：n=7,699 令和5年度：n=5,120 令和4年度：n=19,980

0% 20% 40% 60% 80% 100%

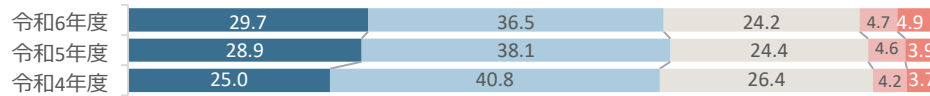
前回授業や既習事項の振り返りを行うのに適している



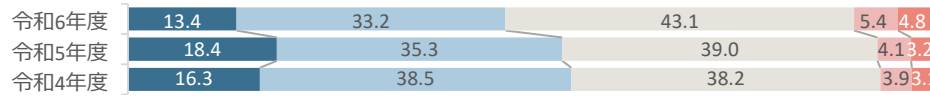
必要な情報のみを見せたいときに適している（解法への事前のアクセスを防ぐ、学習範囲を明確にする等）



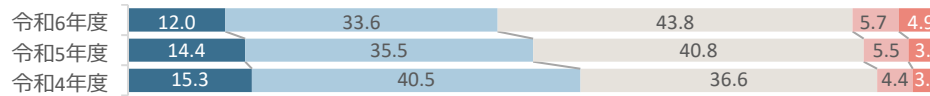
学習内容を視覚的に確認する際に適している



児童生徒の考えを発表共有するのに適している



学級全体で考察する際に、児童生徒の考えを分類・整理するのに適している



音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している



一斉指導の指示を行うのに適している



- デジタル教科書の方がそう感じる
- デジタル教科書の方がややそう感じる
- どちらも同じくらい
- 紙の教科書の方がややそう感じる
- 紙の教科書の方がそう感じる

一斉学習

傾向/示唆

- 一斉学習では、「前回授業や既習事項の振り返りを行うのに適している」、「音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している」、「一斉指導の指示を行うのに適している」について、**デジタル教科書に優位性を感じている回答割合が年々増えている**。
- 一方で、「児童生徒の考えを発表共有するのに適している」、「学級全体で考察する際に、児童生徒の考えを分類・整理するのに適している」について、**デジタル教科書に優位性を感じている回答割合が年々減っている**。
ただし、紙の教科書に優位性を感じている教師の割合は1割程度であり、デジタルと紙を比較した際の優位性では、デジタル教科書を支持する割合が30ポイント以上高い点に留意が必要。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

全教科総計

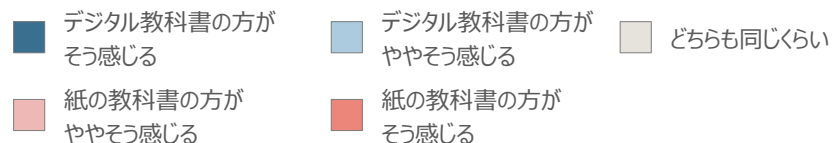
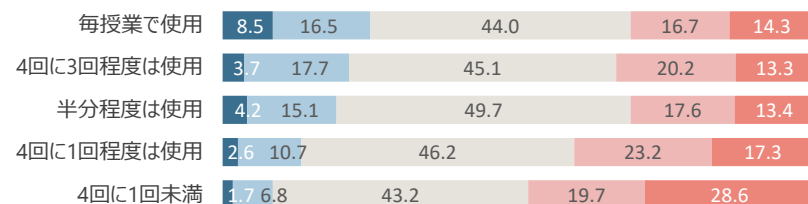
教師

分析③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（個別学習：1/2）

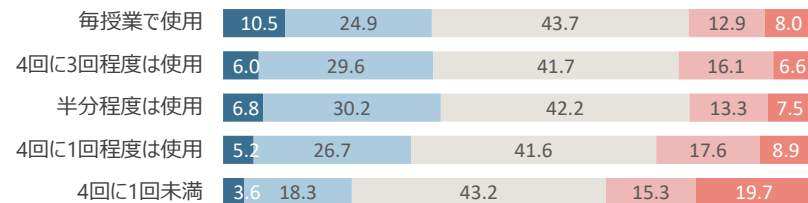
教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.14 個別学習の使用感

n=7,699

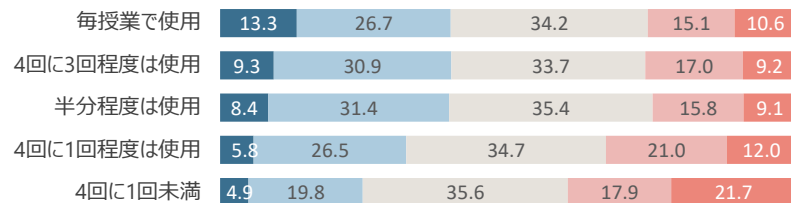
児童生徒が自分の意思で教科書を見て学習の見通しを持つことに適している



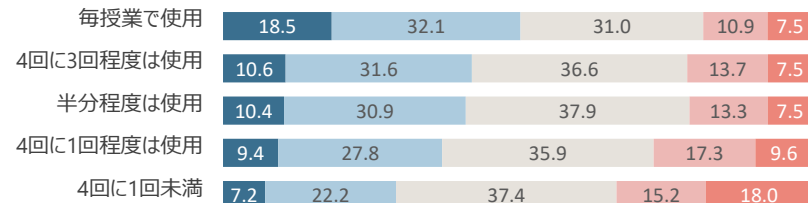
児童生徒が試行錯誤して考えを形成するのに適している



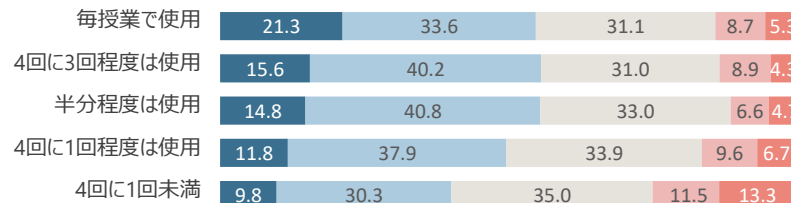
児童生徒が俯瞰しながら複数の資料を交互に見ることに適している



繰り返し用いることで知識・技能を身に付けさせることに適している



児童生徒が自分で見たい資料を選択することに適している



個別学習

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

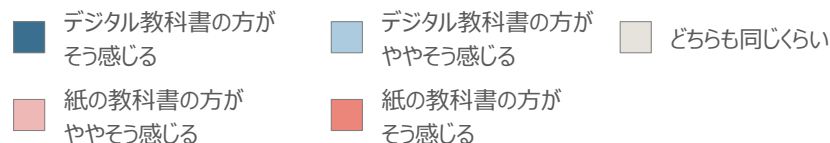
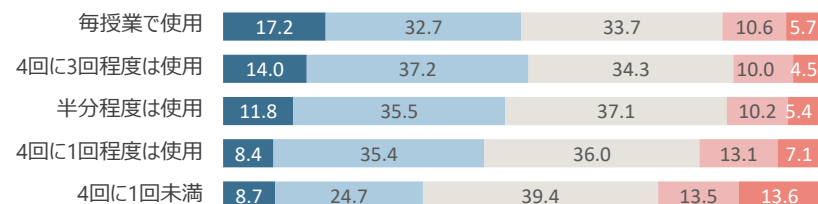
全教科総計

教師

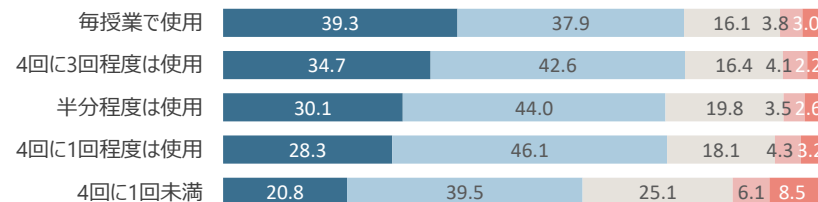
分析③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（個別学習：2/2）

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.14 個別学習の使用感 n=7,699

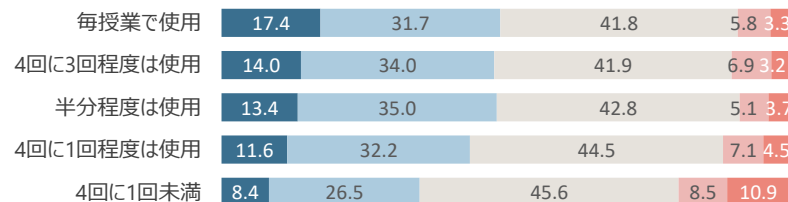
児童生徒が図表や文章などを比較して考え理解を深めるのに適している



写真、イラスト、図表の細部まで確認させ、児童生徒の驚きや興味関心の喚起を図るのに適している



児童生徒の習熟度に応じた学習を行うことに適している



個別学習

傾向/示唆

- 個別学習において、デジタル教科書を「毎授業で使用」と回答したグループは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 特に、「繰り返し用いることで知識・技能を身に付けさせることに適している」についてはその傾向が顕著であり、「毎授業で使用」と回答したグループでは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書に優位性を感じる割合が、約21ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

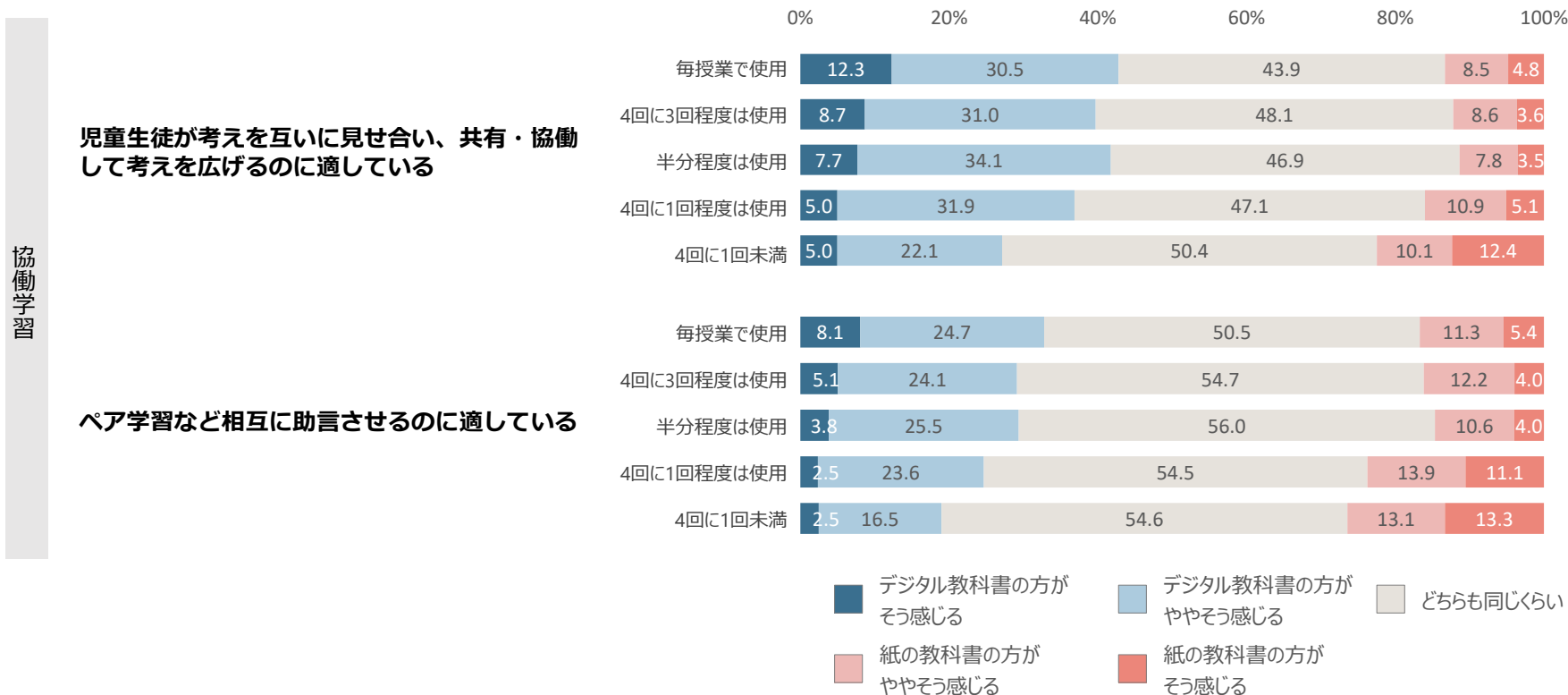
全教科総計

教師

分析③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（協働学習）

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.15 協働学習の使用感

n=7,699



傾向/示唆

- 協働学習において、デジタル教科書を「毎授業で使用」と回答したグループは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 「児童生徒が考えを互いに見せ合い、共有・協働して考えを広げるのに適している」、「ペア学習など相互に助言させるのに適している」の両方で、「毎授業で使用」と回答したグループでは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書に優位性を感じる割合が、約15ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

全教科総計

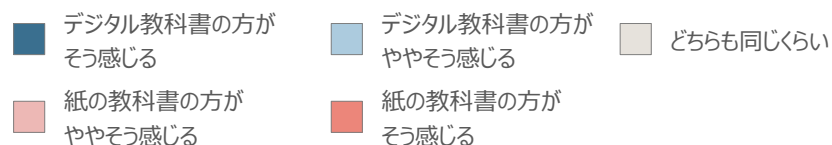
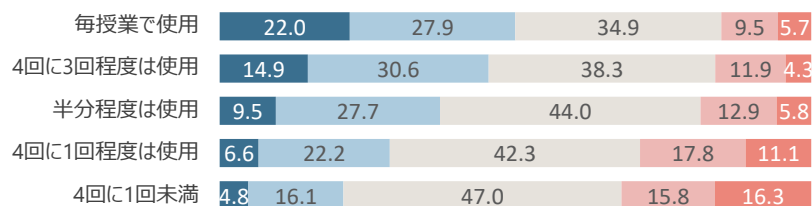
教師

分析③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（一斉学習：1/2）

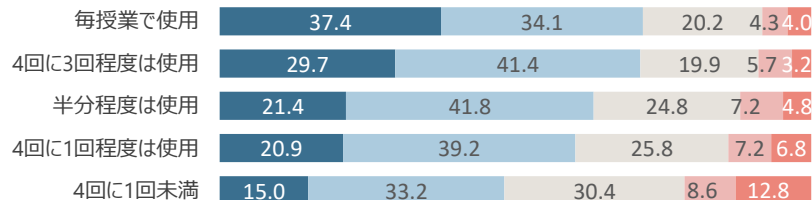
教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.16 一斉学習の使用感

n=7,699

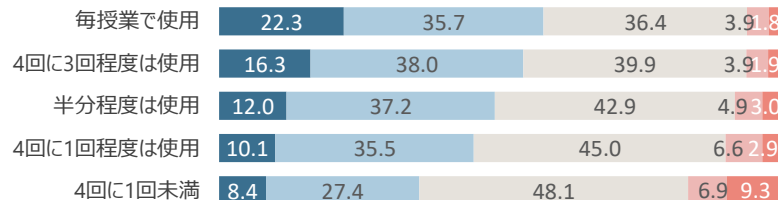
前回授業や既習事項の振り返りを行うのに適している



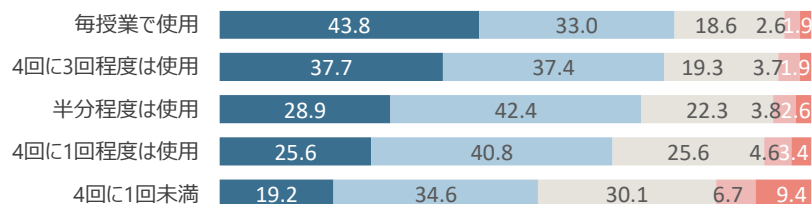
必要な情報のみを見せたいときに適している



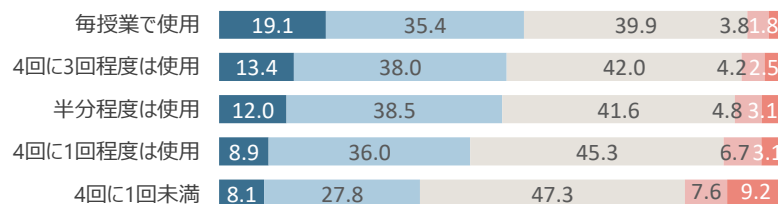
児童生徒の考えを発表共有するのに適している



学習内容を視覚的に確認する際に適している



学級全体で考察する際に、児童生徒の考えを分類・整理するのに適している



一斉学習

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

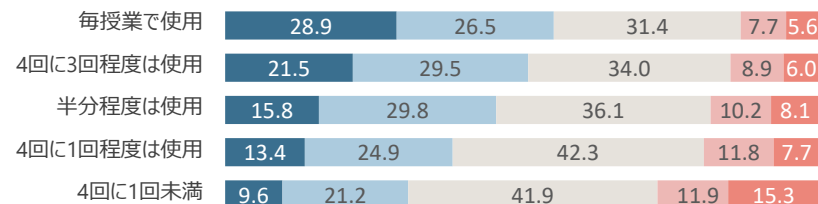
全教科総計

教師

分析③-3 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（一斉学習：2/2）

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.16 一斉学習の使用感 n=7,699

音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している



デジタル教科書の方がそう感じる

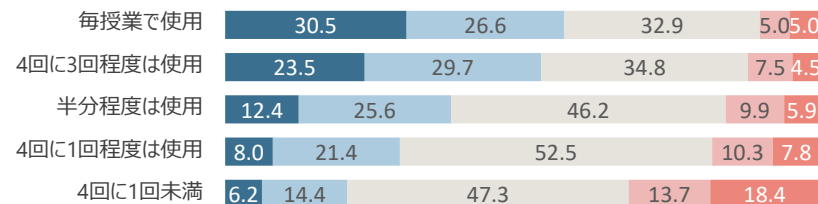
デジタル教科書の方がややそう感じる

どちらかと同じくらい

紙の教科書の方がややそう感じる

紙の教科書の方がそう感じる

一斉指導の指示を行うのに適している



一斉学習

傾向/示唆

- 一斉学習において、デジタル教科書を「毎授業で使用」と回答したグループは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 特に、「一斉指導の指示を行うのに適している」についてはその傾向が顕著であり、「毎授業で使用」と回答したグループでは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書に優位性を感じる割合が約37ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

全教科総計

教師

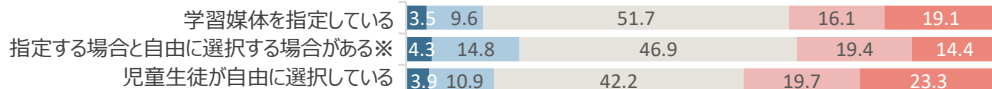
分析③-4 教師による授業中での児童生徒の学習媒体の指定状況と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（個別学習）

教師Q.10 学習媒体の指定状況 × 教師Q.14 個別学習の使用感

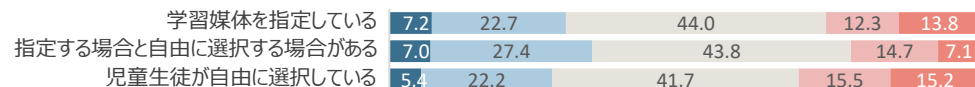
n=7,699

0% 20% 40% 60% 80% 100%

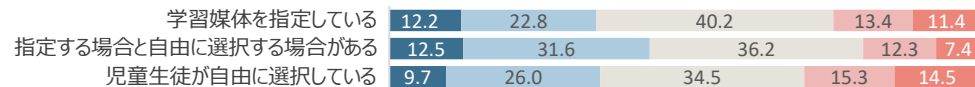
児童生徒が自分の意思で教科書を見て
学習の見通しを持つことに適している



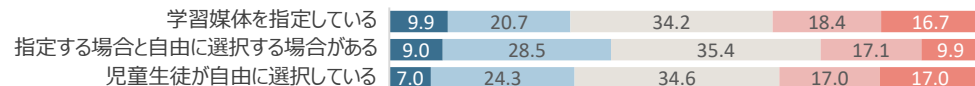
児童生徒が試行錯誤して考えを形成
するのに適している



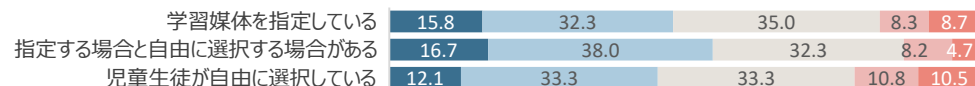
繰り返し用いることで知識・技能を
身に付けさせることに適している



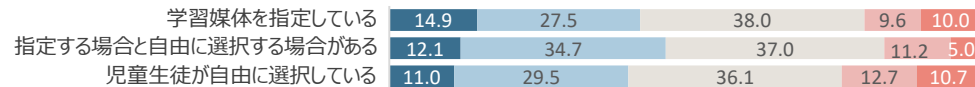
児童生徒が俯瞰しながら複数の資料を
交互に見ることに適している



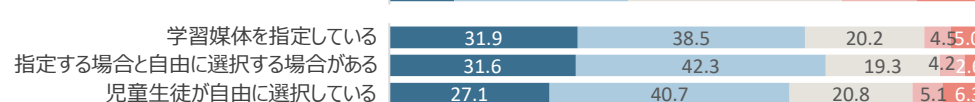
児童生徒が自分で見たい資料を選択
することに適している



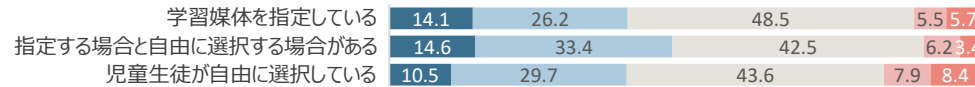
児童生徒が図表や文章などを比較して
考え理解を深めるのに適している



写真、イラスト、図表の細部まで
確認させ、児童生徒の驚きや興味関心
の喚起を図るのに適している



児童生徒の習熟度に応じた学習を行う
ことに適している



デジタル教科書の方が
そう感じる

デジタル教科書の方が
ややそう感じる

どちらも同じくらい

紙の教科書の方が
ややそう感じる

紙の教科書の方が
そう感じる

※「指定する場合と自由
に選択する場合がある」
の、調査票での選択肢
は、「教師が指定する場
合と児童生徒が自由に選
択する場合がある」として
いる。

個別学習

傾向/示唆

- 「場面に応じて、学習媒体を教師が指定する場合と児童生徒が自由を選択する場合がある」形式で授業をしていると回答した教師は、「学習媒体を児童生徒が自由を選択している」、「学習媒体を教師が指定している」形式で授業をしていると回答した教師よりも、個別学習のすべての場面において、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 学習媒体を指定する場合と児童生徒が自由を選択する場合を、場面ごとに選択している教師は、回答教科の各学習場面において達成すべき「教科のねらい」を深く理解した上で、そのねらいを達成するために、デジタルの良さ、紙の良さを理解した上で、有効な学習媒体を選択していると考えられる。それ故に、デジタル教科書の持つ優位性を引き出している可能性がある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

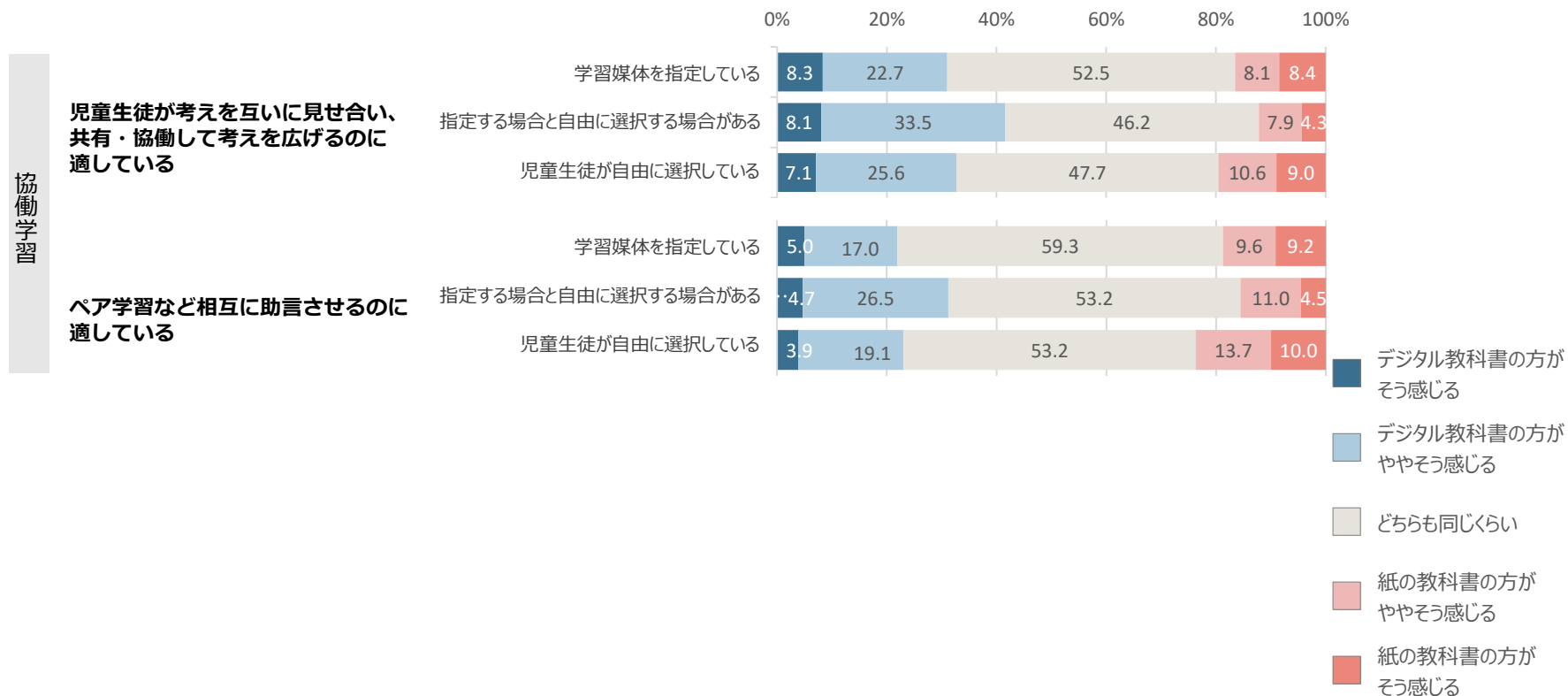
③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

全教科総計

教師

分析③-4 教師による授業中での児童生徒の学習媒体の指定状況と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（協働学習）

教師Q.10 学習媒体の指定状況 × 教師Q.15 協働学習の使用感 n=7,699



傾向/示唆

- 「場面に応じて、学習媒体を教師が指定する場合と児童生徒が自由に選択する場合がある」形式で授業をしていると回答した教師は、「学習媒体を児童生徒が自由に選択している」、「学習媒体を教師が指定している」形式で授業をしていると回答した教師よりも、協働学習のすべての場面において、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 学習媒体を指定する場合と児童生徒が自由に選択する場合を、場面ごとに選択している教師は、回答教科の各学習場面において達成すべき「教科のねらい」を深く理解した上で、そのねらいを達成するために、デジタルの良さ、紙の良さを理解した上で、有効な学習媒体を選択していると考えられる。それ故に、デジタル教科書の持つ優位性を引き出している可能性がある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

③ 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

全教科総計

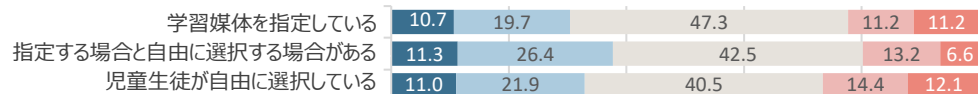
教師

分析③-4 教師による授業中での児童生徒の学習媒体の指定状況と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連（一斉学習）

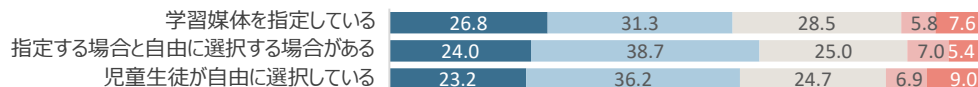
教師Q.10 学習媒体の指定状況 × 教師Q.16 一斉学習の使用感 n=7,699

0% 20% 40% 60% 80% 100%

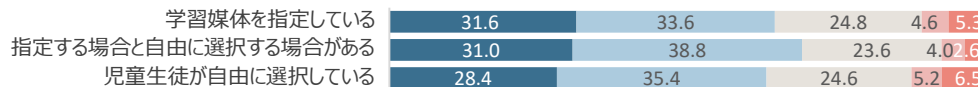
一斉学習
前回授業や既習事項の振り返りを行うのに適している



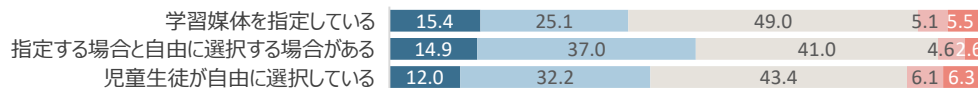
必要な情報のみを見せたいときに適している（解法への事前のアクセスを防ぐ、学習範囲を明確にする等）



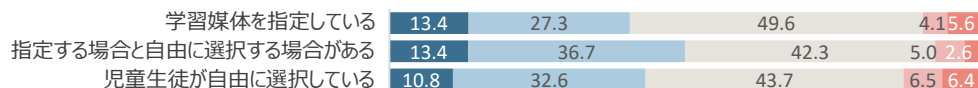
学習内容を視覚的に確認する際に適している



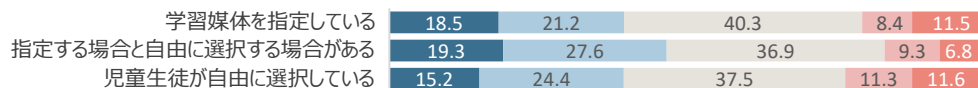
児童生徒の考えを発表共有するのに適している



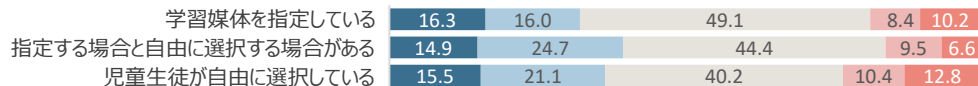
学級全体で考察する際に、児童生徒の考えを分類・整理するのに適している



音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している



一斉指導の指示を行うのに適している



デジタル教科書の方がそう感じる

デジタル教科書の方がややそう感じる

どちらも同じくらい

紙の教科書の方がややそう感じる

紙の教科書の方がそう感じる

傾向/示唆

- 「場面に応じて、学習媒体を教師が指定する場合と児童生徒が自由に選択する場合がある」形式で授業をしていると回答した教師は、「学習媒体を児童生徒が自由に選択している」、「学習媒体を教師が指定している」形式で授業をしていると回答した教師よりも、一斉学習のすべての場面において、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 学習媒体を指定する場合と児童生徒が自由に選択する場合を、場面ごとに選択している教師は、回答教科の各学習場面において達成すべき「教科のねらい」を深く理解した上で、そのねらいを達成するために、デジタルの良さ、紙の良さを理解した上で、有効な学習媒体を選択していると考えられる。それ故に、デジタル教科書の持つ優位性を引き出している可能性がある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

④ デジタル教科書を使用するに当たっての課題感

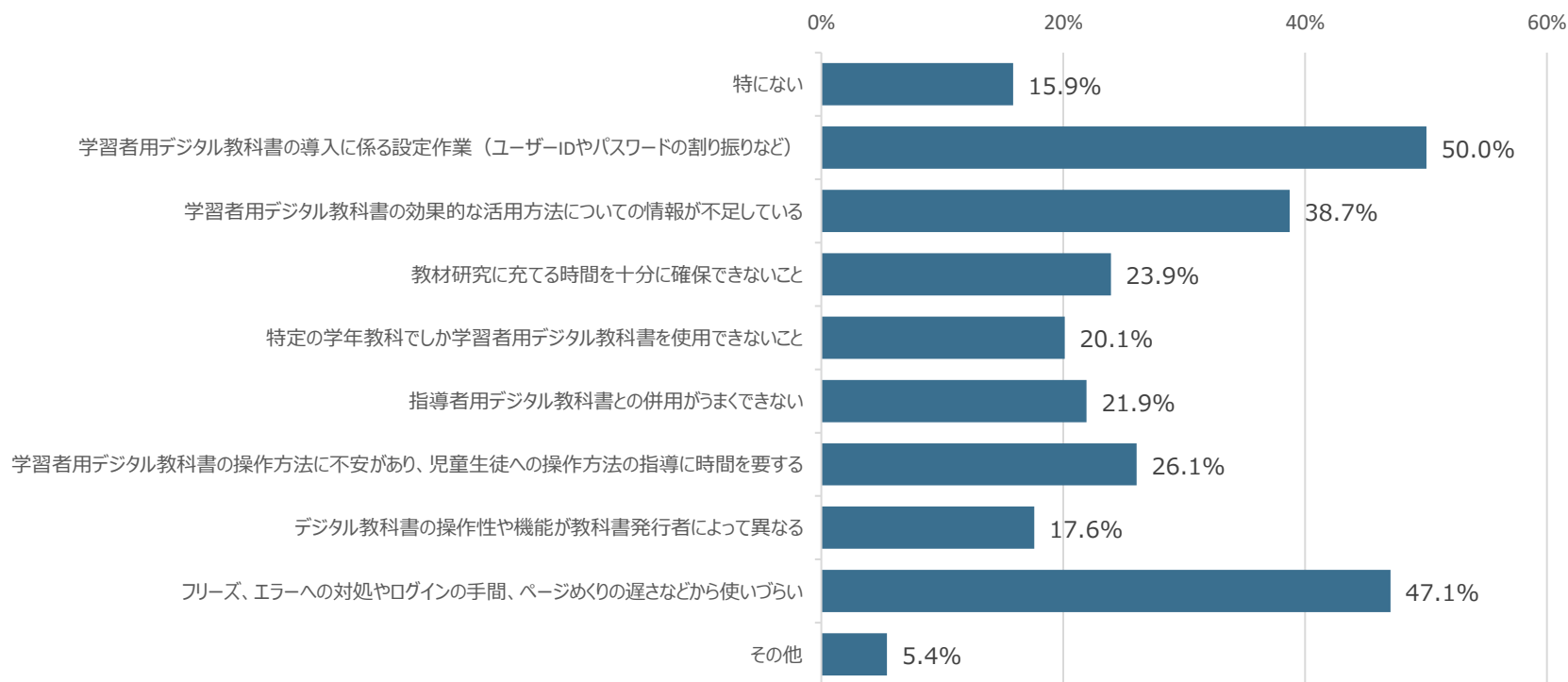
分析④-1 デジタル教科書を使用するに当たっての教師の課題感

全教科総計

教師

教師Q.21 使用における課題（複数選択可）

n=7,699



傾向/示唆

- 「学習者用デジタル教科書の導入に係る設定作業（ユーザーID やパスワードの割り振りなど）」、「フリーズ、エラーへの対処やログインの手間、ページめくりの遅さなどから使いづらい」といった、デジタル教科書のシステム面での課題を感じている教師が多く、約5割の教師が課題感を持っている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

④ デジタル教科書を使用するに当たっての課題感

分析④-2 デジタル教科書を使用するに当たっての教師の課題感の経年変化

全教科総計

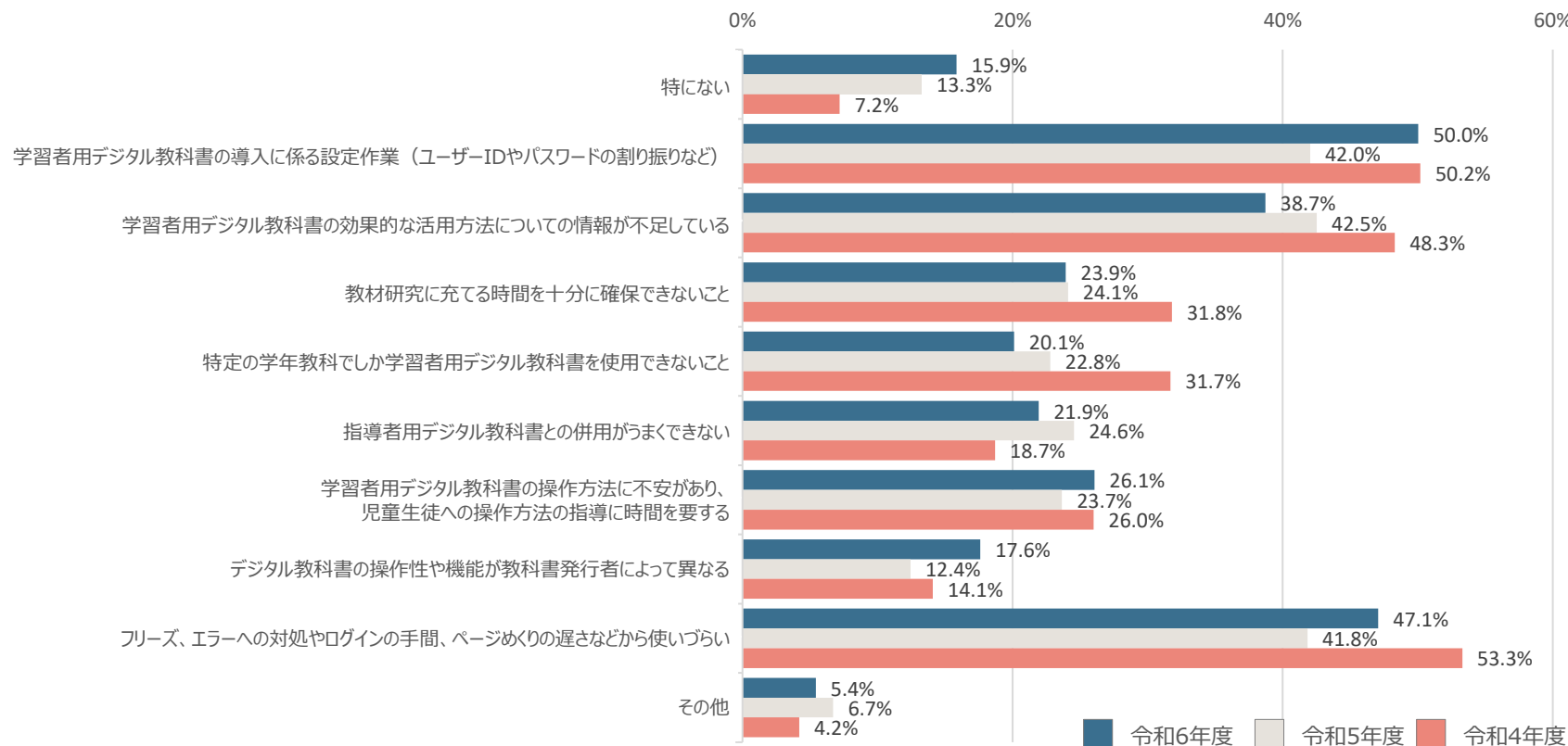
教師

教師Q.21 使用における課題（複数選択可）

令和6年度：n=7,699

令和5年度：n=5,120

令和4年度：n=19,980



傾向/示唆

- 過年度調査と比較して、デジタル教科書の課題が「特になし」と回答した教師の割合は、年々増加している。
令和4年度よりも学習者用デジタル教科書の定着が進み、全体的に教師の使用歴が延びてデジタル教科書の習熟度が高まったことが、課題感の減少に寄与している可能性がある。
- また、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」と回答した教師の割合は年々減少している。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

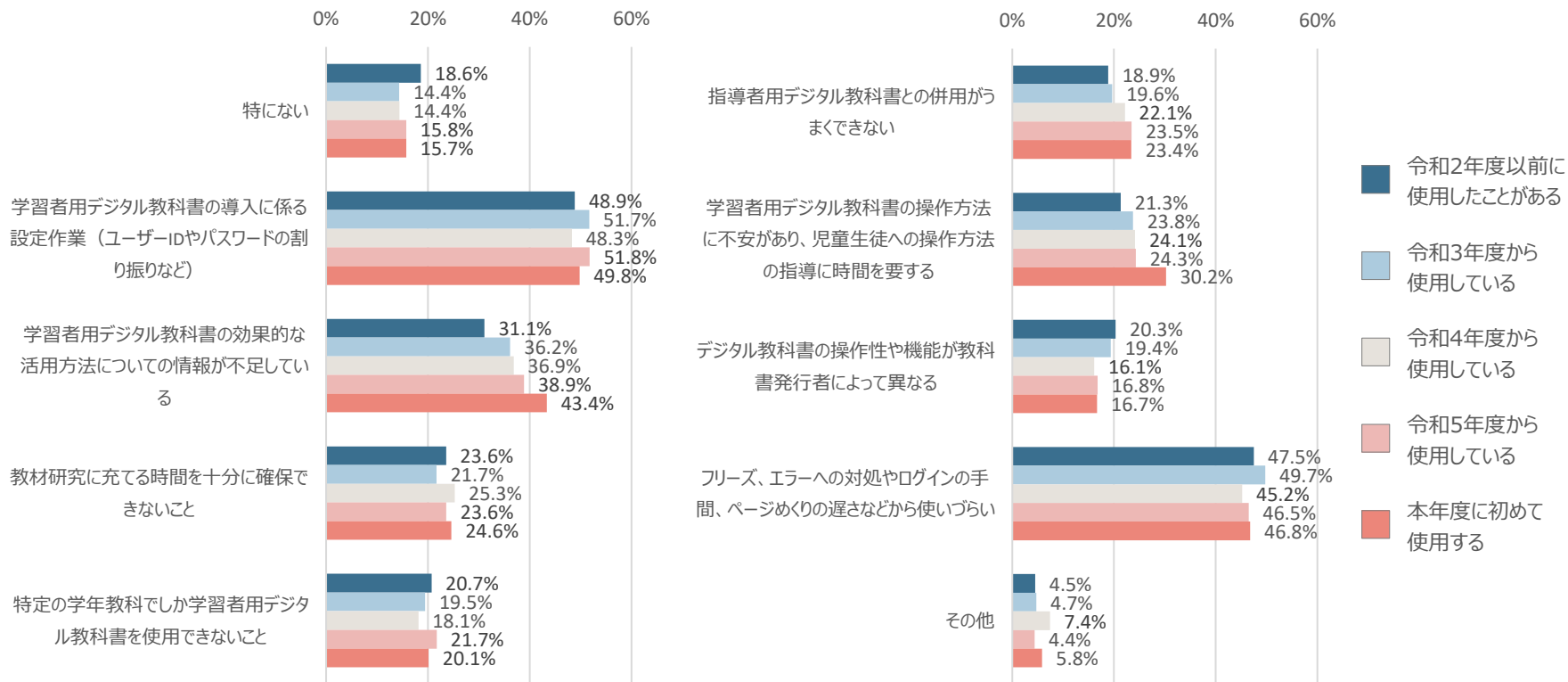
④ デジタル教科書を使用するに当たっての課題感

分析④-3 デジタル教科書の授業内での使用歴と、デジタル教科書の課題感の関連

全教科総計

教師

教師Q.3 使用歴 × 教師Q.21 使用における課題感（複数選択可） n=7,699



傾向/示唆

- 「本年度に初めて使用する」教師に比べ、「令和2年度以前に使用したことがある」教師は、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」ことを課題に感じている割合が約12ポイント低い。デジタル教科書の習熟度に応じて、効果的な活用方法を習得できていることが一因として考えられる。
- デジタル教科書の導入に係る設定作業を課題と感じている割合は、いずれの使用歴でも5割程度を占めており、習熟度に依らない共通的な課題になっていると推察される。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

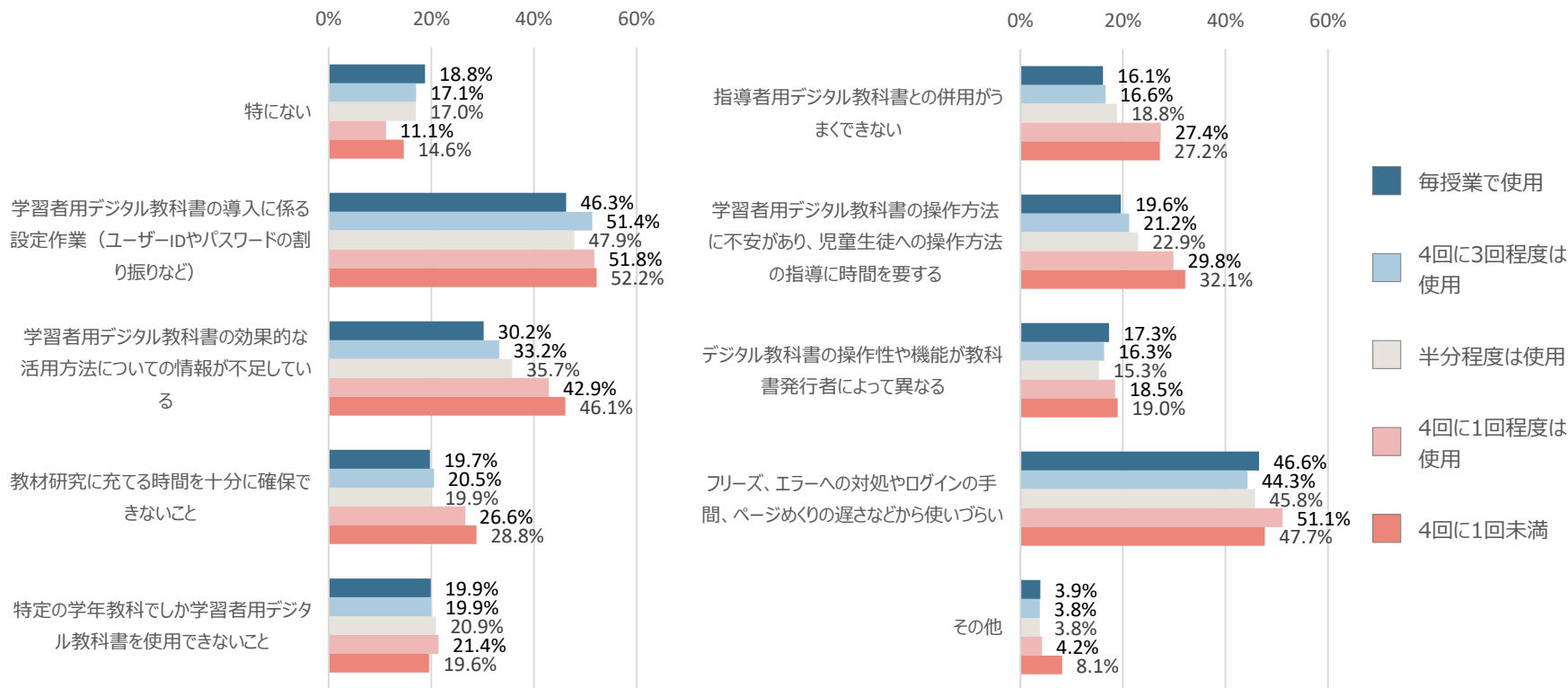
④ デジタル教科書を使用するに当たっての課題感

分析④-4 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の課題感の関連

全教科総計

教師

教師Q.8 授業での使用頻度 × 教師Q.21 使用における課題感（複数選択可） n=7,699



傾向/示唆

- デジタル教科書の使用頻度が高い方が、デジタル教科書の課題感について「特にない」と回答した割合が高い。
- 一方、「4回に1回未満」のグループでも、「特にない」と回答した割合が高くなっているが、そもそもデジタル教科書をほとんど使っておらず、課題を感じない教師も含まれていることが一因として考えられる。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-1 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の経年変化（低学年）

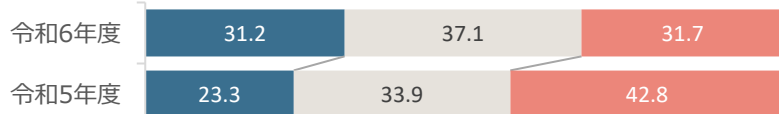
全教科総計

低学年

低学年Q.3 使いやすさ

令和6年度：n=2,435 令和5年度：n=3,022

もちはこびやすい



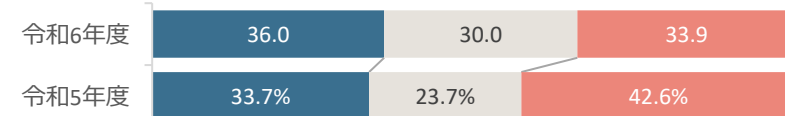
ずや しゃしんが見やすい



見たいページをすぐにひらきやすい



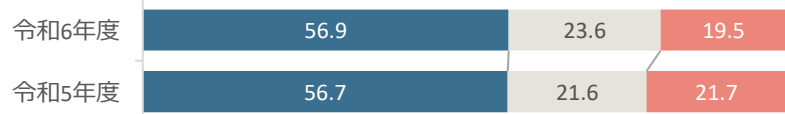
かきこみやすい



ずや しゃしんを見つけやすい



かいたものを けしやすい



文字が見やすい



■ デジタル教科書の方がそう感じる ■ どちらも同じくらい ■ 紙の教科書の方がそう感じる

傾向/示唆

- 低学年では、昨年度と比べ、「もちはこびやすい」について、デジタル教科書の方が使いやすいと回答した割合が約8ポイント増え、紙の教科書の方が使いやすいと回答した割合が約11ポイント減った。（ただし、「もちはこびやすい」に関しては、デジタル教科書ではなく端末に起因する結果である点に留意。）
- そのほか、昨年度から大きな変化は見られない。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-1 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の経年変化（中高学年）

全教科総計

中高学年

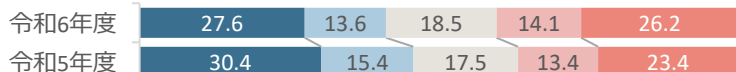
中高学年Q.3 使いやすさ

令和6年度：n=12,556 令和5年度：n=10,160

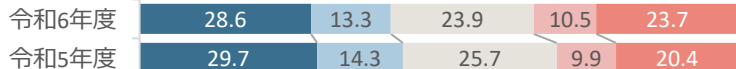
持ち運びやすい



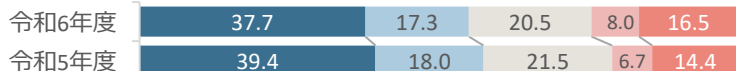
見たいページをすぐに開きやすい



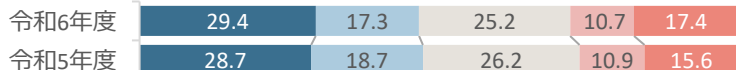
文字が見やすい



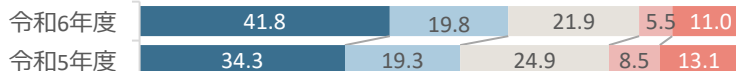
図や写真が見やすい



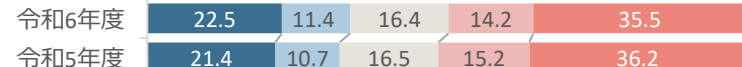
一度にいろいろな資料を見て比べやすい



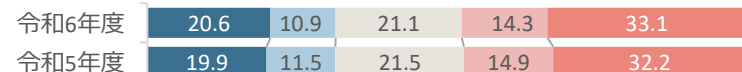
いろいろな情報を集めやすい



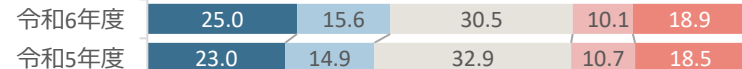
書き込みやすい



自分の学んだことを残しやすい



自分の考えを友だちに説明しやすい



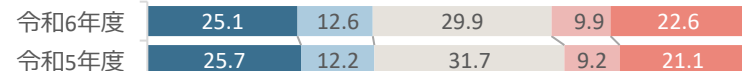
友だちの考えを捉えやすい



教科書の内容を捉えやすい



自分のペースで学習しやすい



デジタル教科書の方が
そう感じる

デジタル教科書の方が
ややそう感じる

どちらも同じくらい

紙の教科書の方が
ややそう感じる

紙の教科書の方が
そう感じる

傾向/示唆

- 中高学年では、昨年度と比べ、「いろいろな情報を集めやすい」について、「デジタル教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約8ポイント増えた。他方で、「文字が見やすい」について、「紙の教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約4ポイント増えた。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-1 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の経年変化（中学生）

全教科総計

中学生

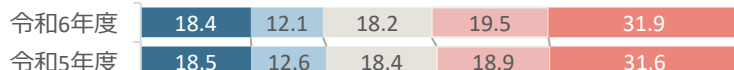
中学生Q.3 使いやすさ

令和6年度：n=17,899 令和5年度：n=13,154

持ち運びやすい



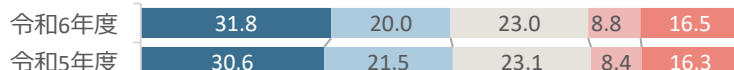
見たいページをすぐに関きやすい



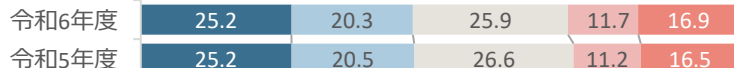
文字が見やすい



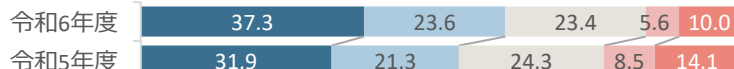
図や写真が見やすい



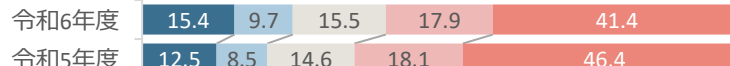
一度にいろいろな資料を見て比べやすい



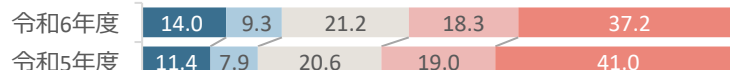
いろいろな情報を集めやすい



書き込みやすい



自分の学んだことを残しやすい



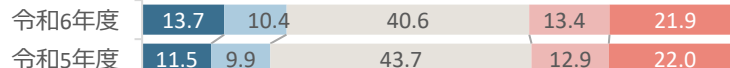
自分の考えを友だちに説明しやすい



友だちの考えを捉えやすい



教科書の内容を捉えやすい



自分のペースで学習しやすい



デジタル教科書の方が
そう感じる

デジタル教科書の方が
ややそう感じる

どちらも同じくらい

紙の教科書の方が
ややそう感じる

紙の教科書の方が
そう感じる

傾向/示唆

- 中学生では、昨年度と比べ、「持ち運びやすい」や「いろいろな情報を集めやすい」について、「デジタル教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約5ポイント増えた。（ただし、「持ち運びやすい」に関しては、デジタル教科書ではなく端末に起因する結果である点に留意。）
- 「書き込みやすい」、「自分の学んだことを残しやすい」については、約6割の回答者が紙の教科書に優位性を感じているが、昨年度と比べ、「紙の教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約5ポイント減少している。
- 中学生よりも中高学年の方が、デジタル教科書に肯定的な回答をしている傾向にある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-2 児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いづらさ）の経年変化

全教科総計

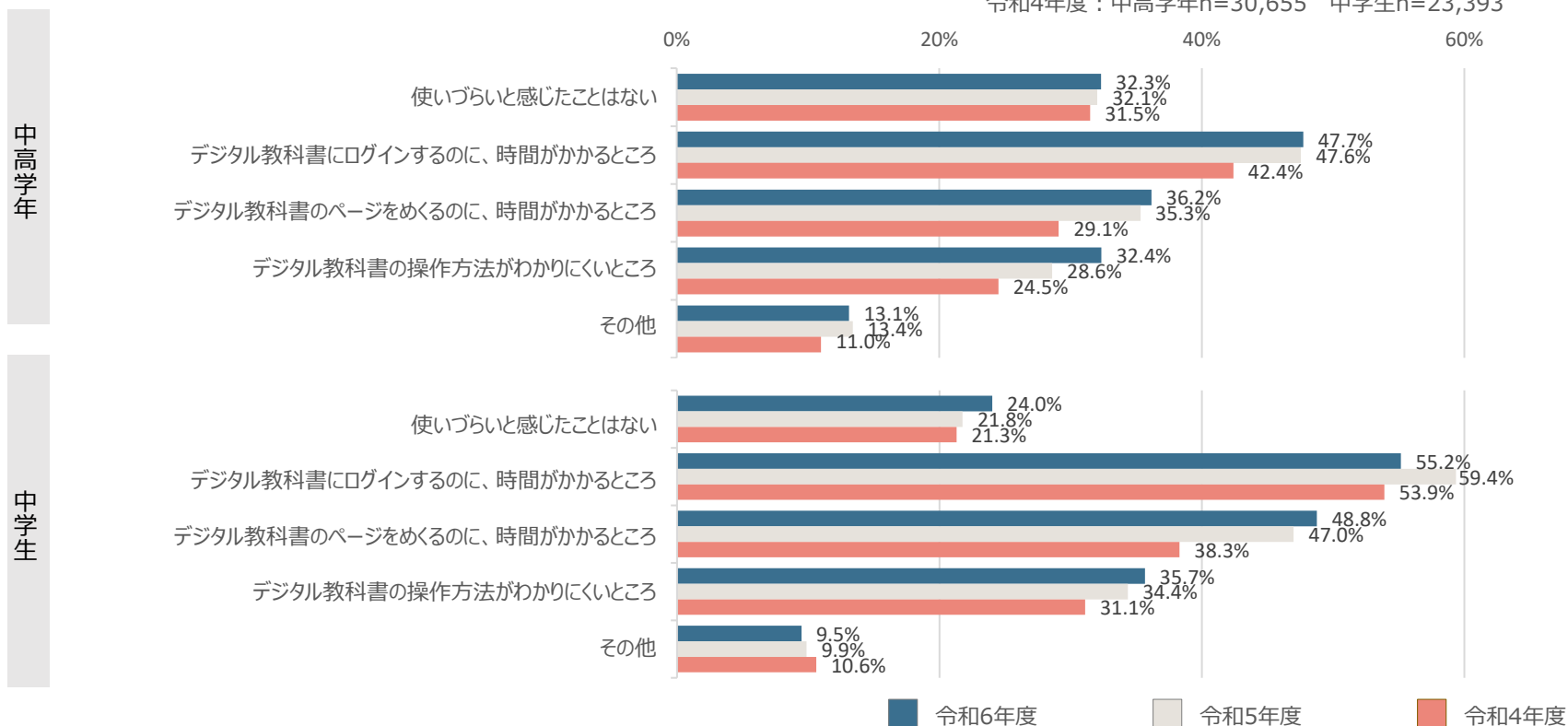
中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.4 使いづらさ（複数選択可）

令和6年度：中高学年n=12,556 中学生n=17,899

令和5年度：中高学年n=10,633 中学生n=13,251

令和4年度：中高学年n=30,655 中学生n=23,393



傾向/示唆

- デジタル教科書の操作方法よりも、「デジタル教科書にログインするのに時間がかかるところ」や「デジタル教科書のページをめくるのに、時間がかかるところ」について、使いづらと感じた割合が高い。
- 中学生よりも中高学年の方が「使いづらと感じたことはない」と回答した児童が多い。⑤-1も合わせて、中学生よりも中高学年の方が、デジタル教科書に肯定的な回答をする傾向にある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連

全教科総計

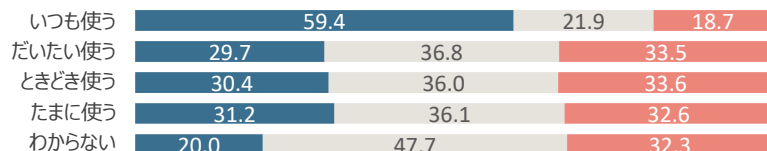
低学年

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.3 使いやすさ

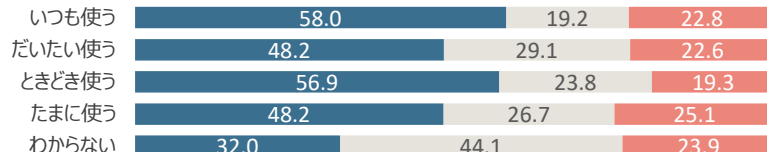
n=2,435

低学年

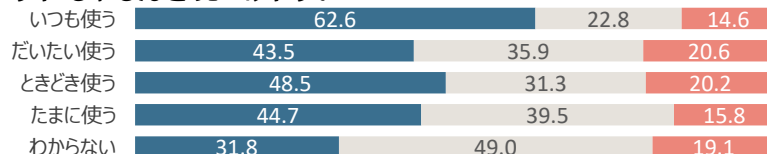
もちはこびやすい



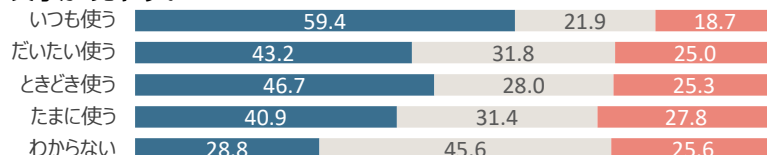
見たいページを すぐに ひらきやすい



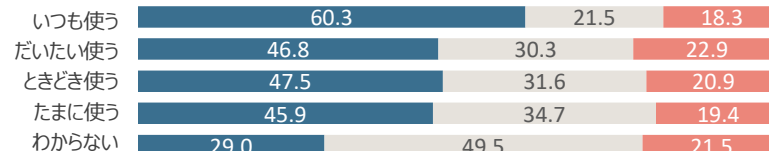
ずや しゃしんを 見つけやすい



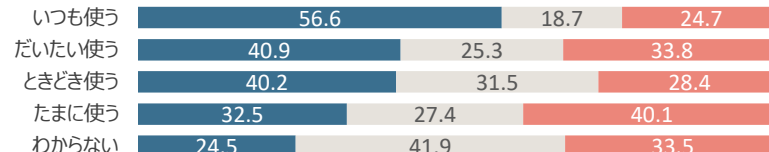
文字が 見やすい



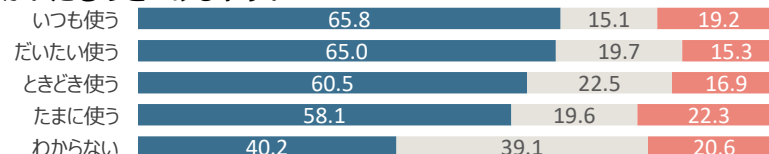
ずや しゃしんが 見やすい



かきこみやすい



かいたものを けしやすい



■ デジタル教科書の方が
そう感じる
 ■ どちらも同じくらい
 ■ 紙の教科書の方が
そう感じる

傾向/示唆

- デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べて、デジタル教科書の使用感を肯定的に捉える傾向にある。
- 特に「もちはこびやすい」、「かきこみやすい」についてはその傾向が顕著であり、「いつも使う」と回答したグループでは、「たまに使う」と回答したグループと比べ、デジタル教科書に優位性を感じる割合が、それぞれ約28ポイント、約24ポイント高くなっている。
(ただし、「もちはこびやすい」に関しては、デジタル教科書ではなく端末に起因する結果である点に留意。)

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連

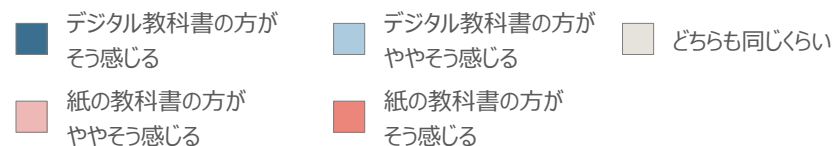
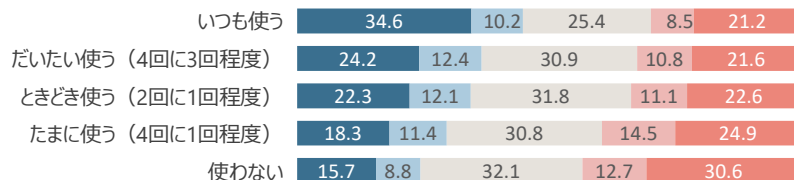
全教科総計

中高学年

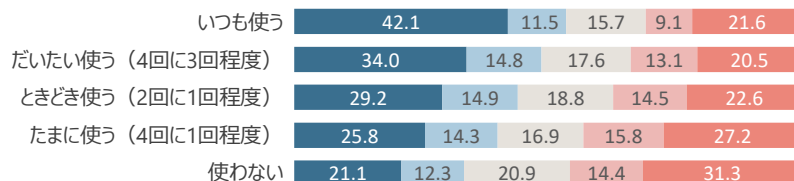
中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.3 使いやすさ

n=12,556

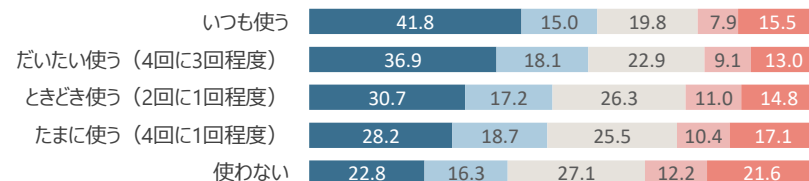
持ち運びやすい



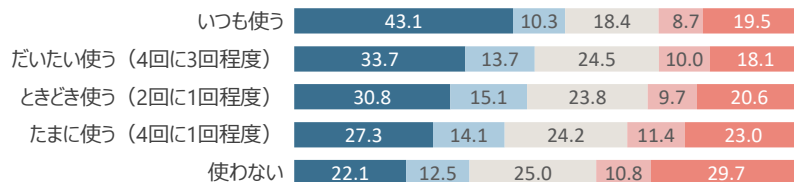
見たいページをすぐに開きやすい



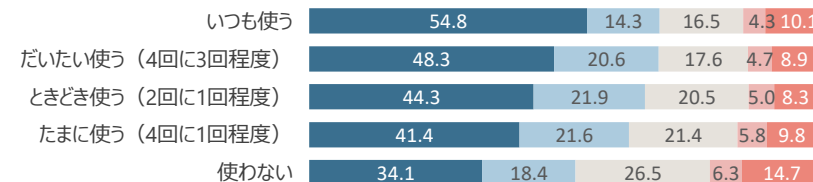
一度にいろいろな資料を見て比べやすい



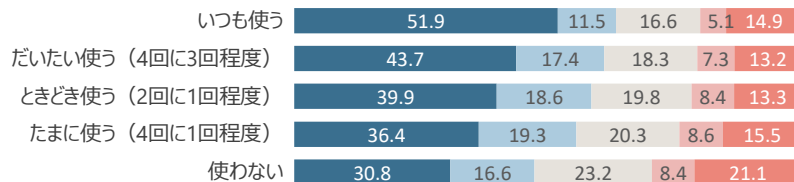
文字が見やすい



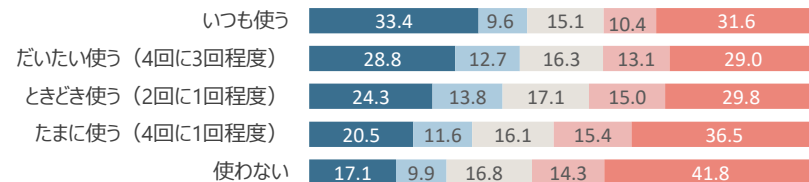
いろいろな情報を集めやすい



図や写真が見やすい



書き込みやすい



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連

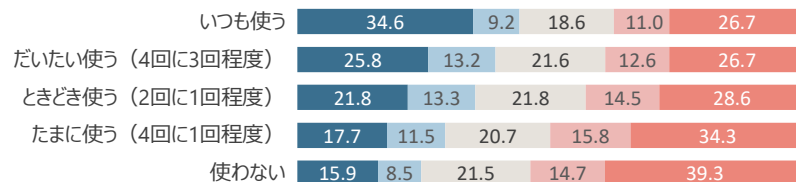
全教科総計

中高学年

中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.3 使いやすさ

n=12,556

自分の学んだことを残しやすい



デジタル教科書の方が
そう感じる

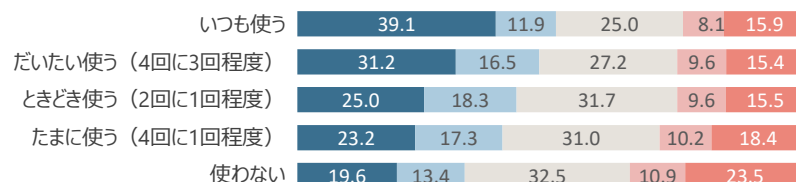
デジタル教科書の方が
ややそう感じる

どちらも同じくらい

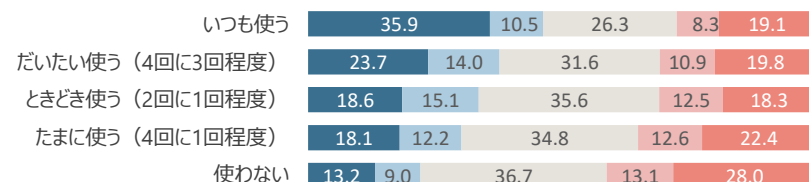
紙の教科書の方が
ややそう感じる

紙の教科書の方が
そう感じる

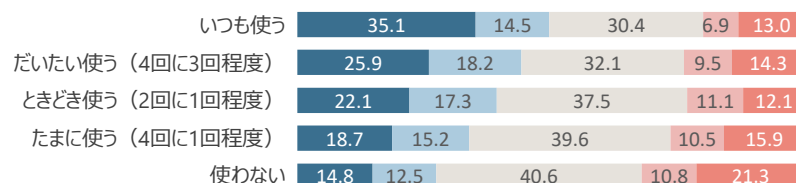
自分の考えを友だちに説明しやすい



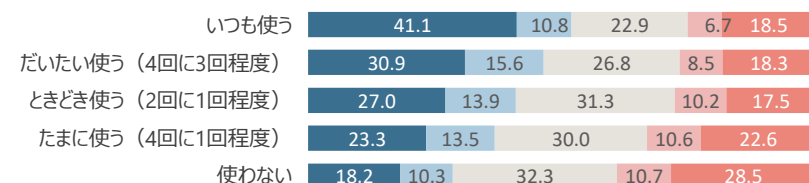
教科書の内容を捉えやすい



友だちの考えを捉えやすい



自分のペースで学習しやすい



中高学年

傾向/示唆

- デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べて、デジタル教科書の使用感を肯定的に捉える傾向にある。
- いずれの場面においても、「いつも使う」と回答したグループでは、「使わない」と回答したグループに比べ、デジタル教科書に優位性を感じる割合が、20ポイント前後高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連

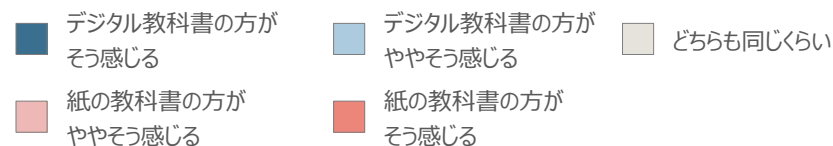
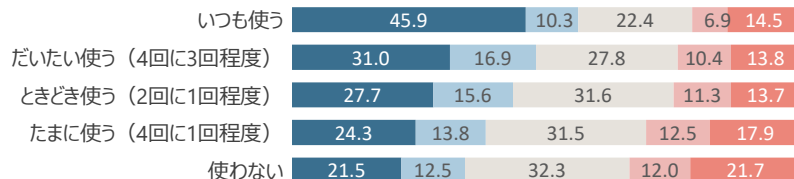
全教科総計

中学生

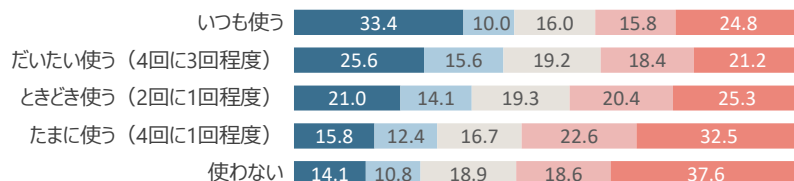
中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.3 使いやすさ

n=17,899

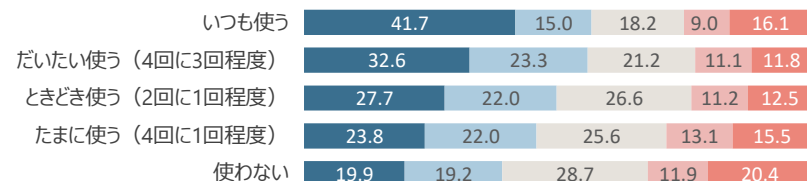
持ち運びやすい



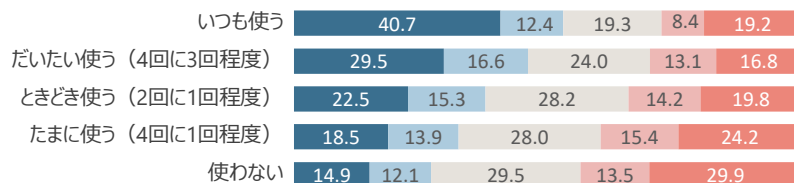
見たいページをすぐに開きやすい



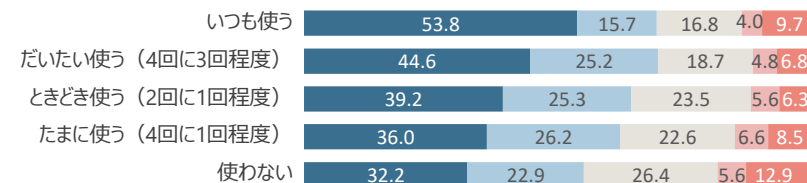
一度にいろいろな資料を見て比べやすい



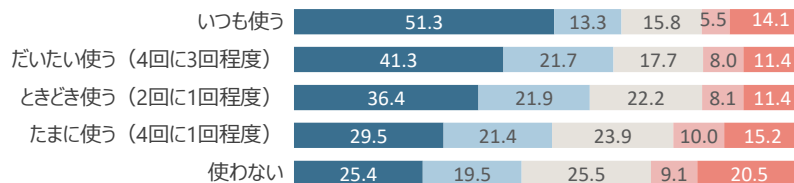
文字が見やすい



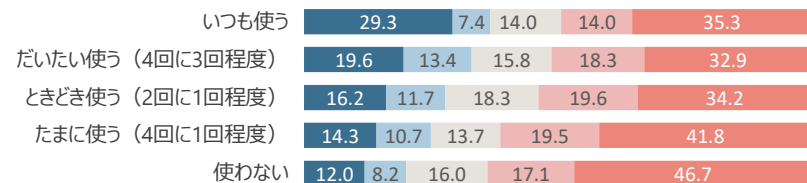
いろいろな情報を集めやすい



図や写真が見やすい



書き込みやすい



3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

分析⑤-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いやすさ）の関連

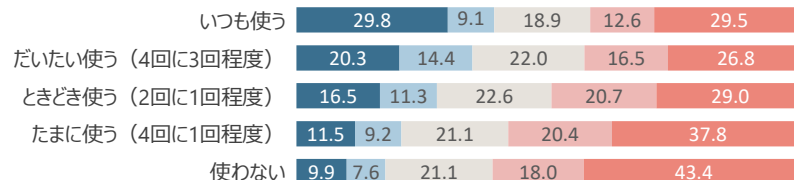
全教科総計

中学生

中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.3 使いやすさ

n=17,899

自分の学んだことを残しやすい



デジタル教科書の方が
そう感じる

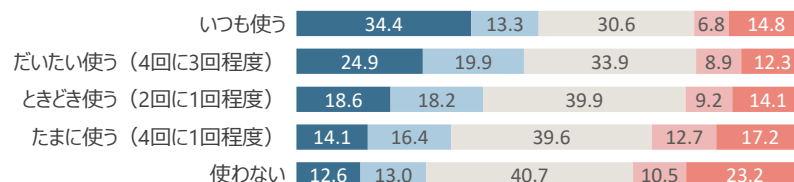
デジタル教科書の方が
ややそう感じる

どちらも同じくらい

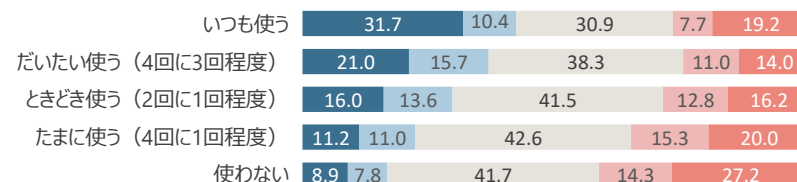
紙の教科書の方が
ややそう感じる

紙の教科書の方が
そう感じる

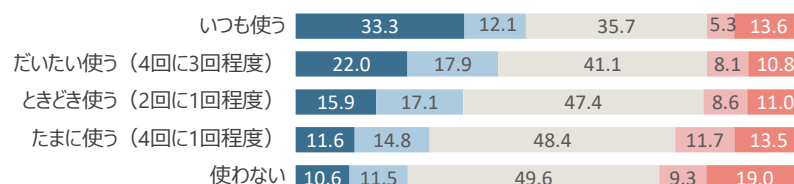
自分の考えを友だちに説明しやすい



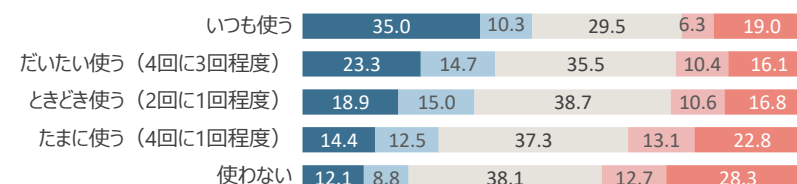
教科書の内容を捉えやすい



友だちの考えを捉えやすい



自分のペースで学習しやすい



中学生

傾向/示唆

- デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べて、デジタル教科書の使用感を肯定的に捉える傾向にある。
- 中高学年と同様に、いずれの場面においても、「いつも使う」と回答したグループでは、「使わない」と回答したグループと比べ、デジタル教科書の優位性を感じる割合が、20ポイント前後高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑤ 児童生徒のデジタル教科書の使用感

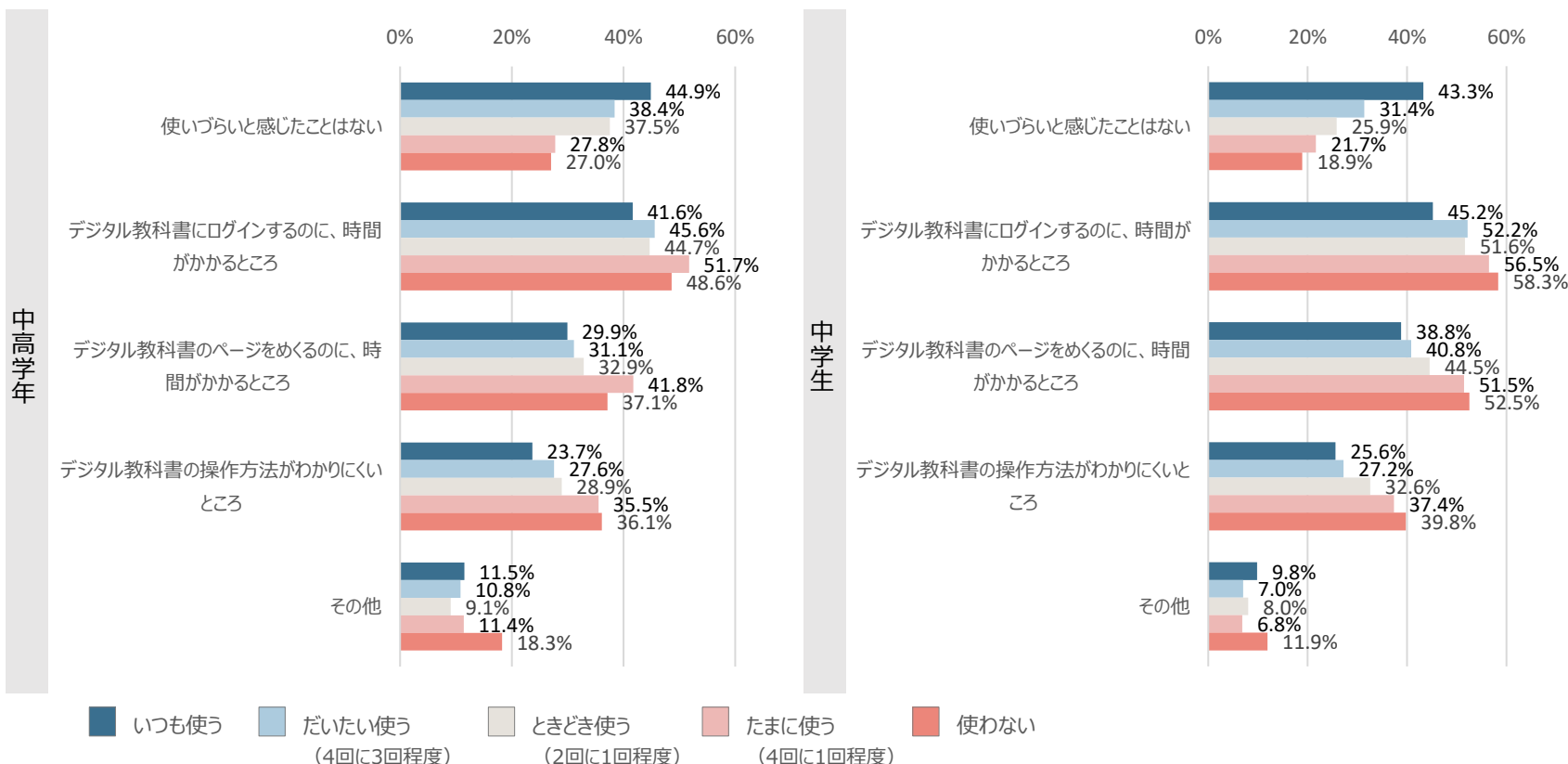
分析⑤-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、児童生徒のデジタル教科書の使用感（使いづらさ）の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.4 使いづらさ（複数選択可）

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



傾向/示唆

- 中高学年、中学生ともに、デジタル教科書の使用頻度が高い方が、デジタル教科書について「使いづらと感じたことはない」と回答した児童生徒の割合が高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

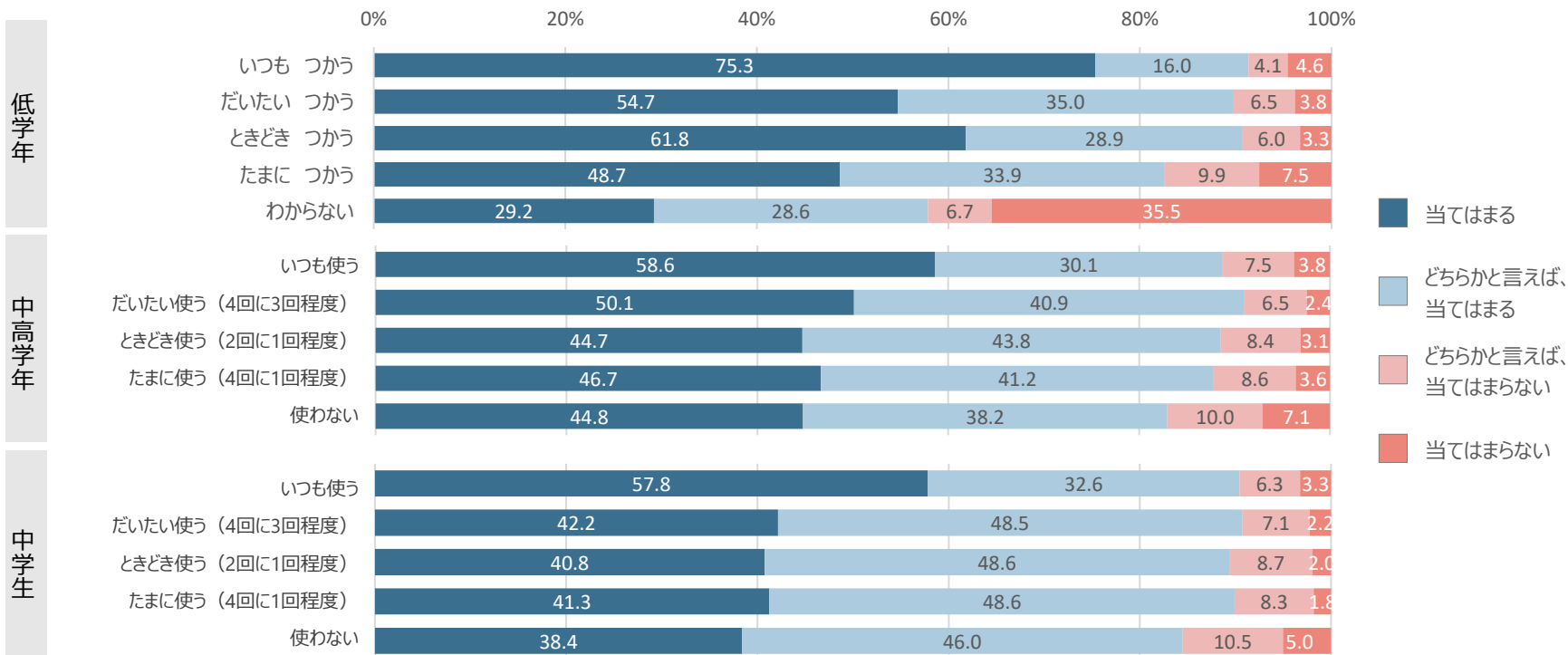
全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.7 内容理解（※1）

低学年：n=2,435 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899

中高学年・中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.6 内容理解（※1）



（※1）回答教科の授業において、授業の内容がよく分かっているかを回答。

傾向/示唆

- 低学年、中高学年、中学生いずれについても、授業中デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 低学年では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「わからない」、「たまに使う」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が、それぞれ約46ポイント、約27ポイント高くなっている。
- 中高学年、中学生では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約14ポイント、約19ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

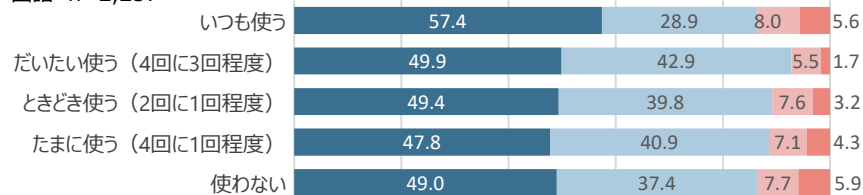
主要5教科別

中高学年

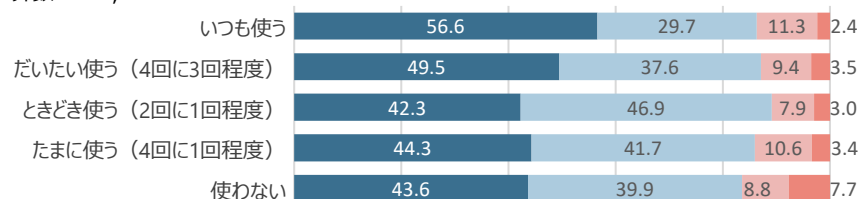
中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.6 内容理解

n=12,556

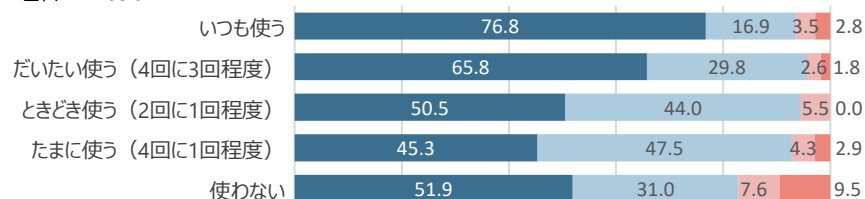
国語 n=2,257



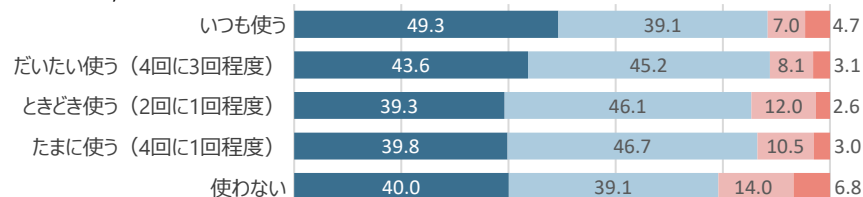
算数 n=2,472



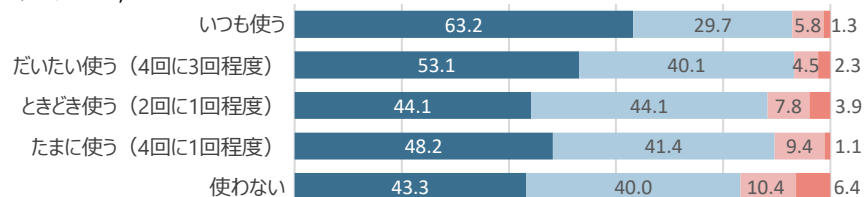
理科 n=696



英語 n=2,105



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約25ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（76.8%）、社会（63.2%）、国語（57.4%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

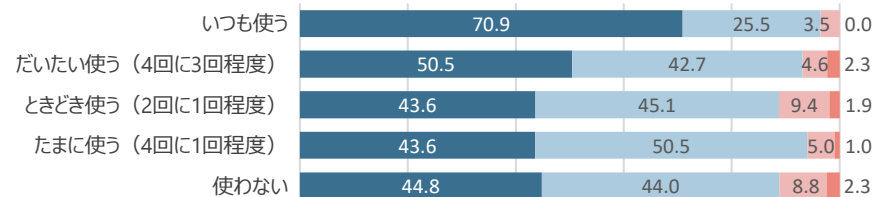
主要5教科別

中学生

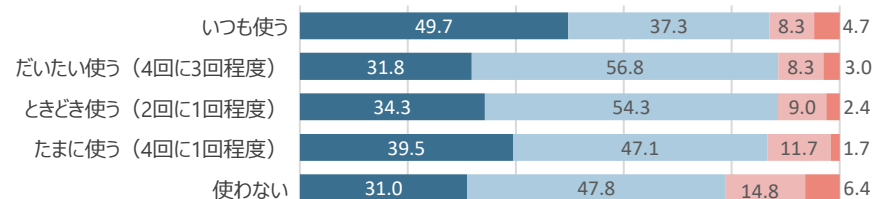
中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.6 内容理解

n=17,899

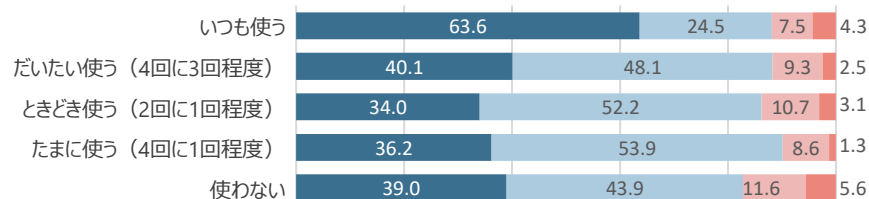
国語 n=1,532



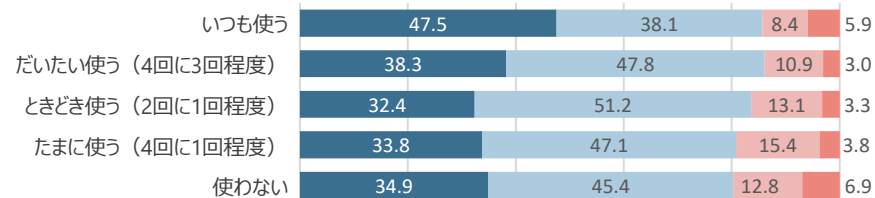
数学 n=1,931



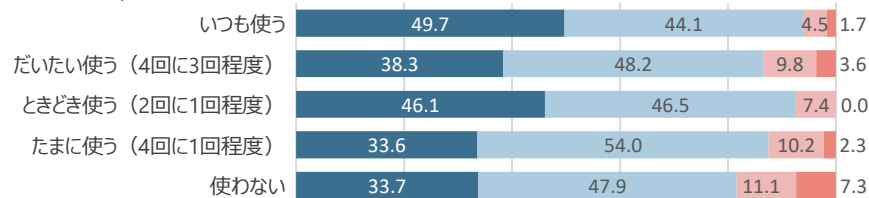
理科 n=2,591



英語 n=2,110



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に国語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約26ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、国語（70.9%）、理科（63.6%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

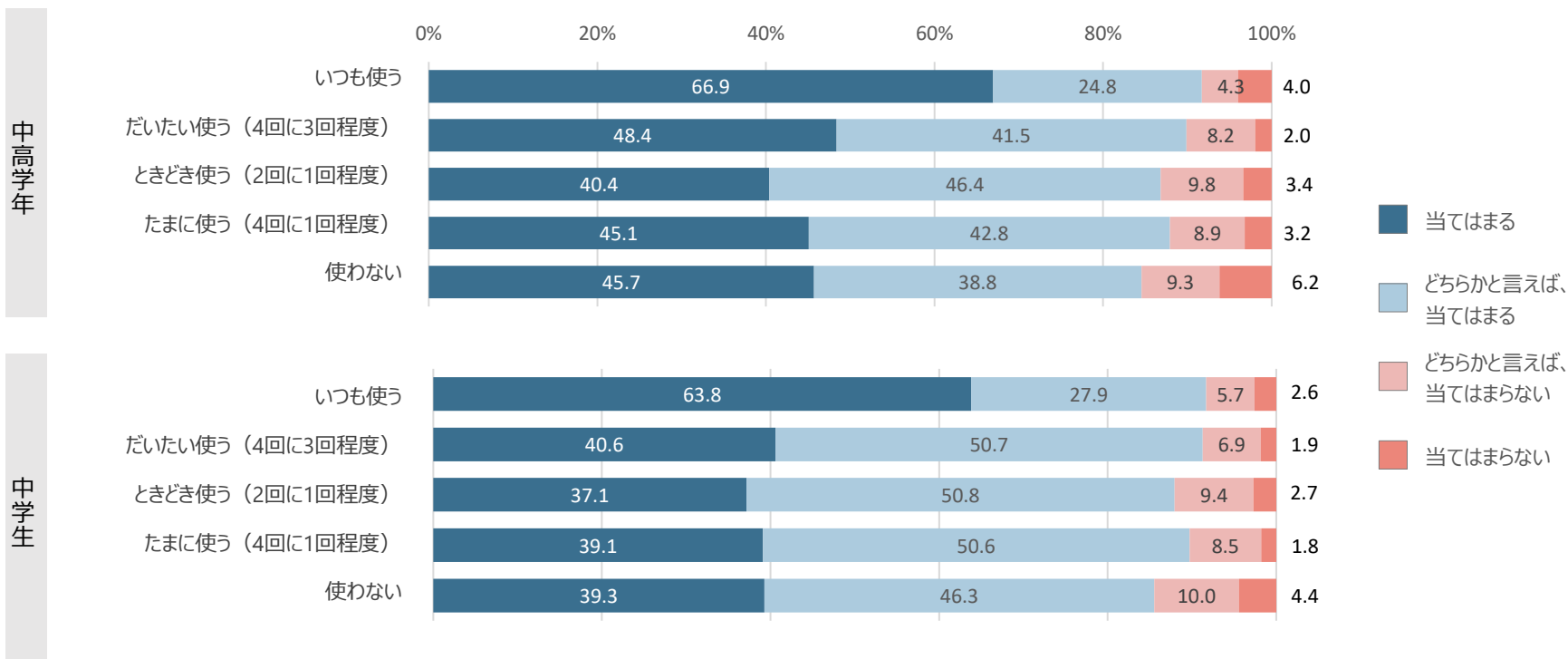
分析⑥-2 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.12 振り返りの場面での使用頻度（※1）× 中高学年・中学生Q.6 内容理解

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、学んだことを自分で振り返る場面で使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生いずれについても、振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が、中高学年では約21ポイント、中学生では約25ポイント高くなっている。分析⑥-1の授業全体での使用頻度を用いた集計と比較し、その差が顕著である。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-2 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

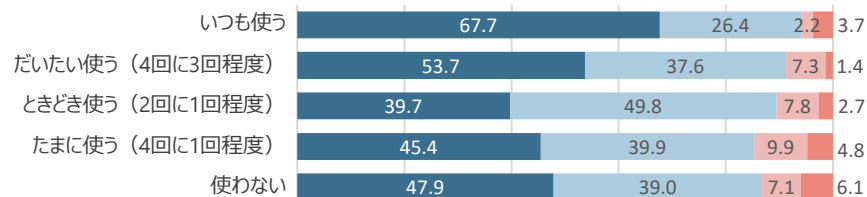
主要5教科別

中高学年

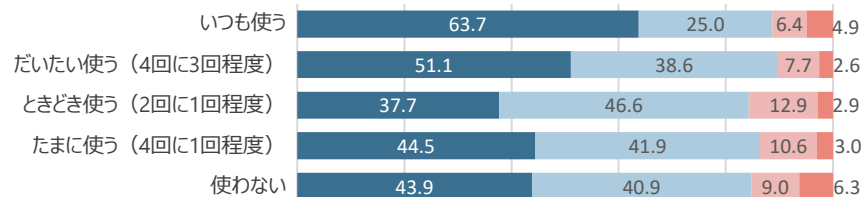
中高学年Q.12 振り返りの場面での使用頻度 × 中高学年Q.6 内容理解

n=12,556

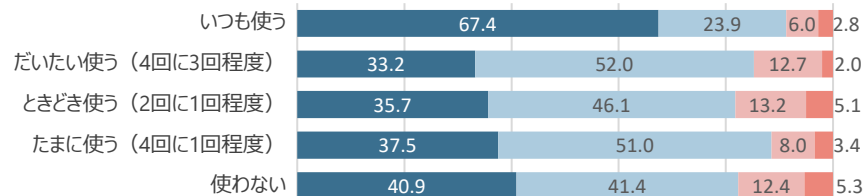
国語 n=2,257



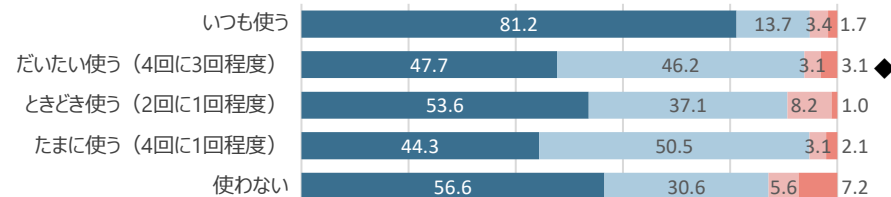
算数 n=2,472



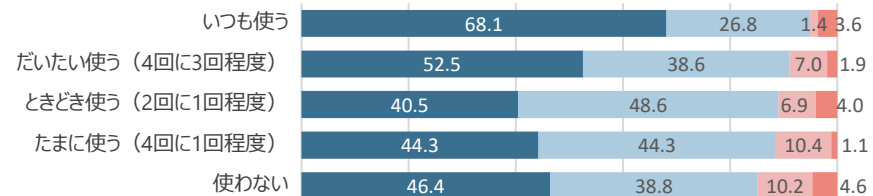
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に英語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約27ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（81.2%）、社会（68.1%）、国語（67.7%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-2 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連

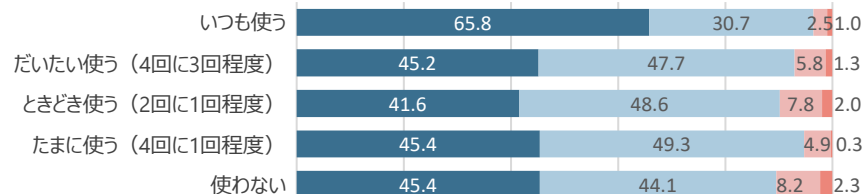
主要5教科別

中学生

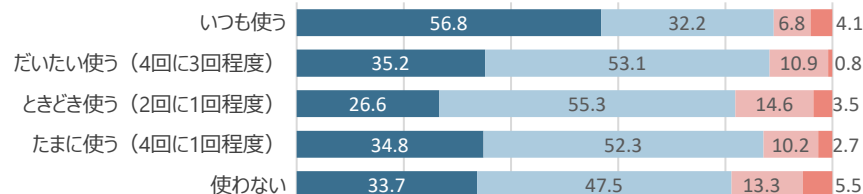
中学生Q.12 振り返りの場面での使用頻度 × 中学生Q.6 内容理解

n = 17,899

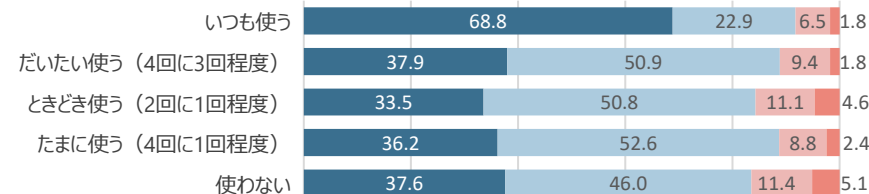
国語 n=1,532



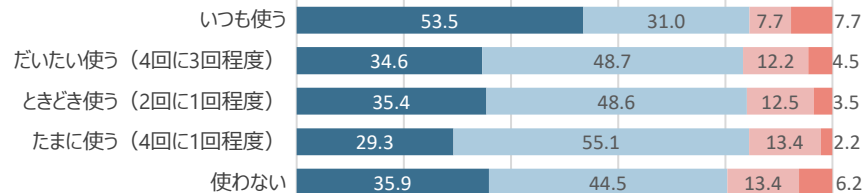
数学 n=1,931



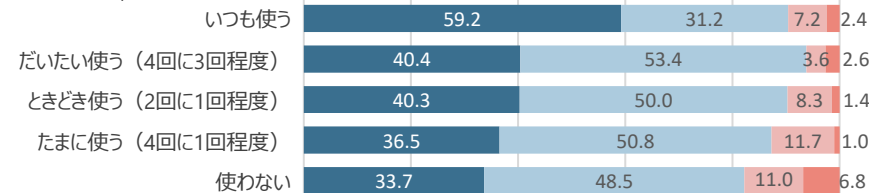
理科 n=2,591



英語 n=2,110



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約31ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（68.8%）、国語（65.8%）、社会（59.2%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

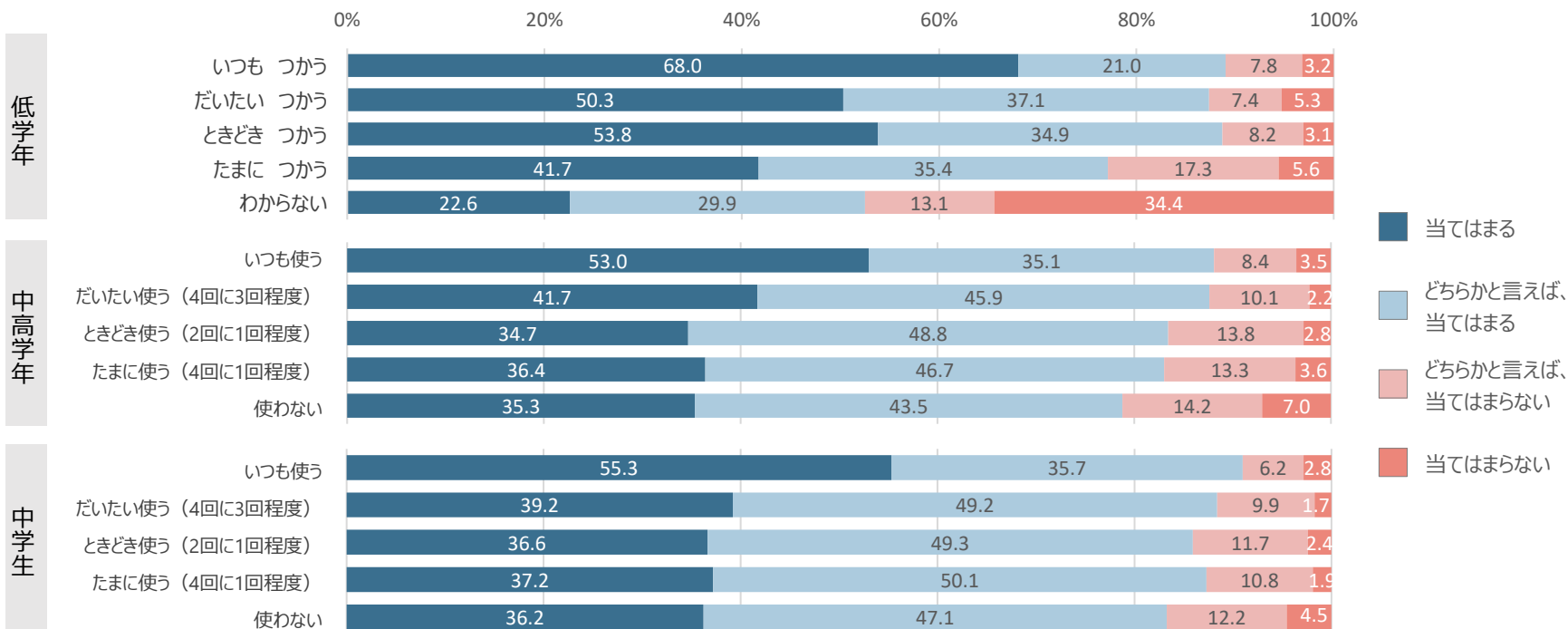
全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.7 主体的な学び（※1）

低学年：n=2,435 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899

中高学年・中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.7 主体的な学び（※2）



（※1） 回答教科の授業において、授業の内容について自分で考え、取り組んでいるかを回答。

（※2） 回答教科の授業において、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるかを回答。

傾向/示唆

- 低学年、中高学年、中学生いずれについても、授業中デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、**主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。**（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 低学年では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「わからない」、「たまに使う」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約45ポイント、約26ポイント高くなっている。
- 中高学年、中学生では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約18ポイント、約19ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

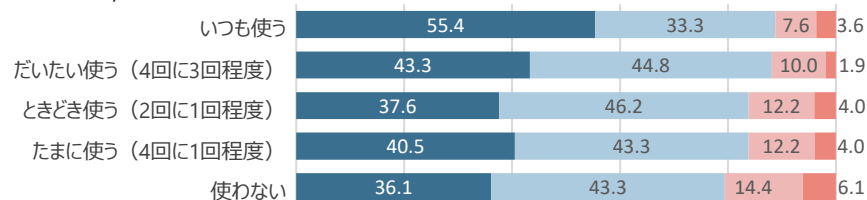
主要5教科別

中高学年

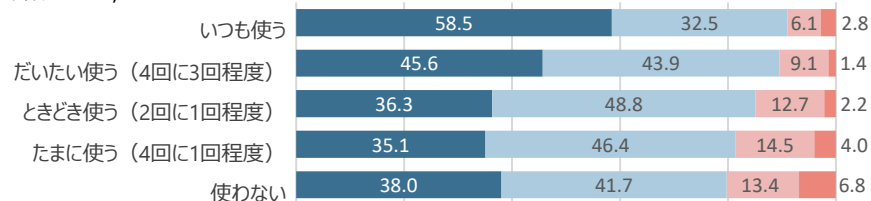
中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.7 主体的な学び

n=12,556

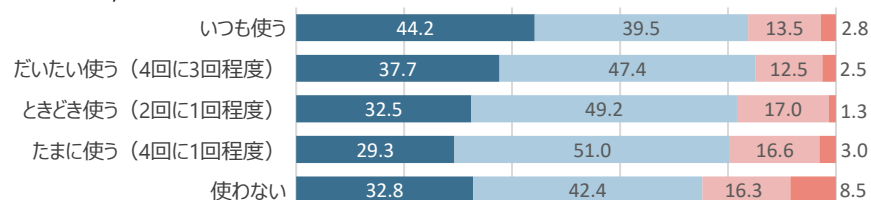
国語 n=2,257



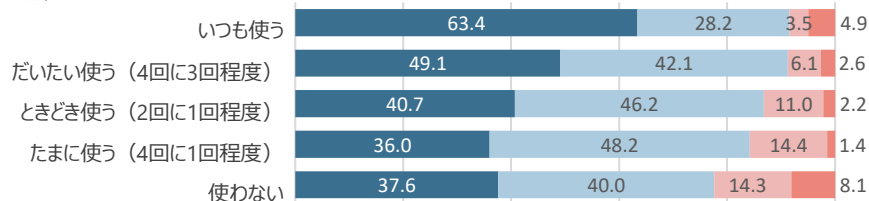
算数 n=2,472



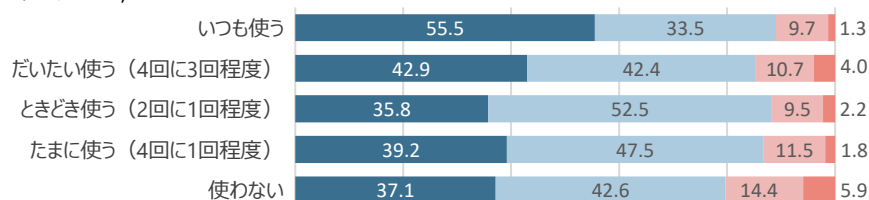
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科と算数はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約26ポイント、約21ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（63.4%）、算数（58.5%）、社会（55.5%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-3 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

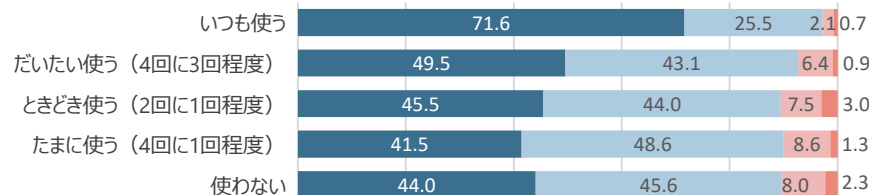
主要5教科別

中学生

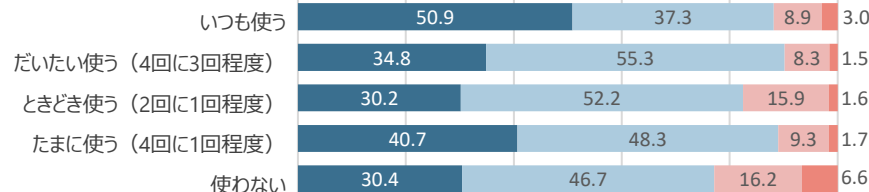
中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.7 主体的な学び

n=17,899

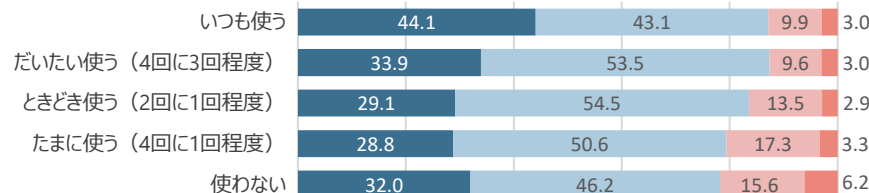
国語 n=1,532



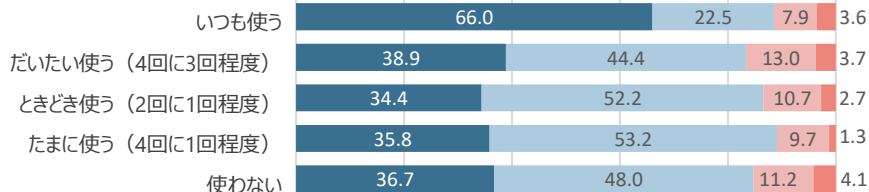
数学 n=1,931



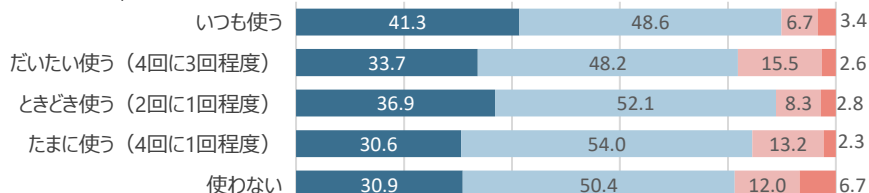
英語 n=2,110



理科 n=2,591



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科と国語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約29ポイント、約28ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、国語（71.6%）、理科（66.0%）、数学（50.9%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

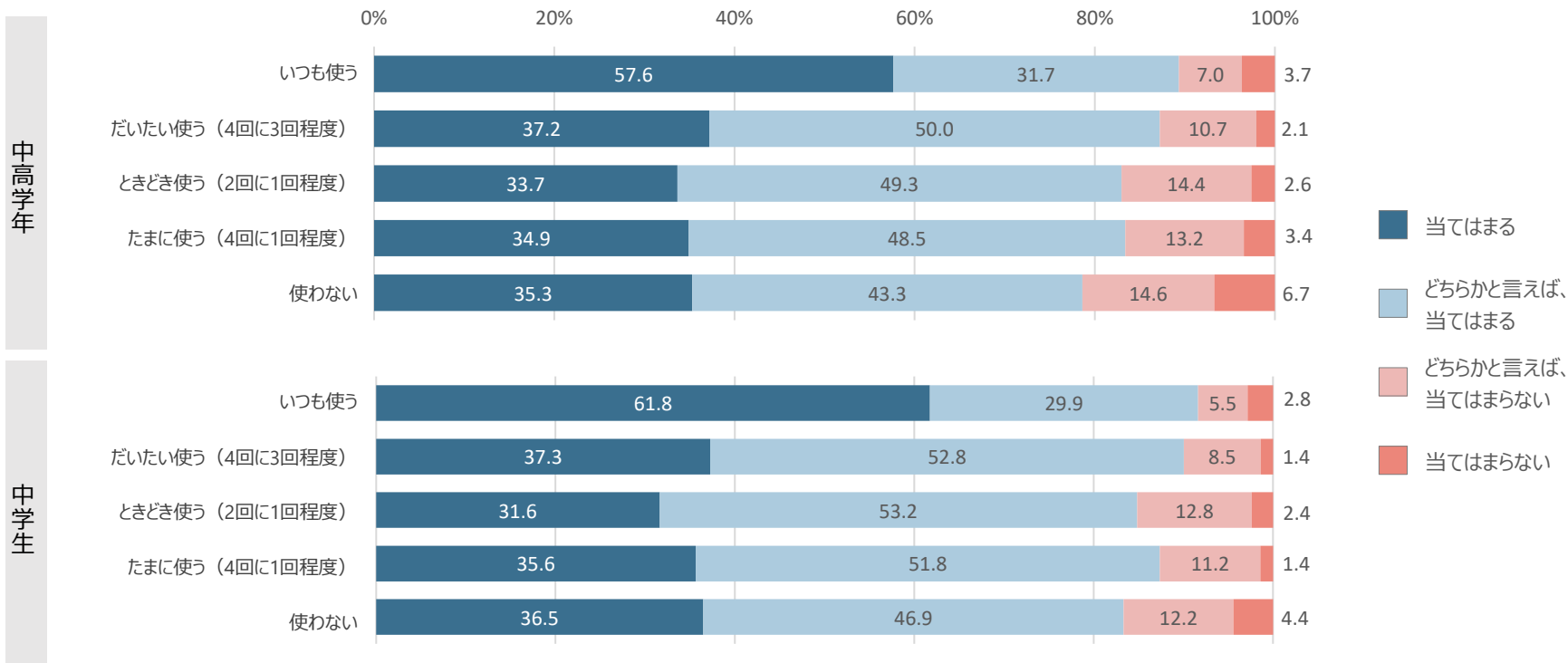
分析⑥-4 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.12 個別学習の場面での使用頻度（※1）× 中高学年・中学生Q.7 主体的な学び

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、一人で課題に取り組む場面で使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生いずれについても、個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が、中高学年では約22ポイント、中学生では約25ポイント高くなっている。分析⑥-3の授業全体での使用頻度を用いた集計と比較し、その差が顕著である。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-4 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

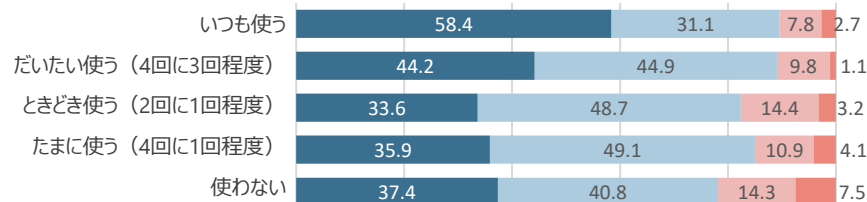
主要5教科別

中高学年

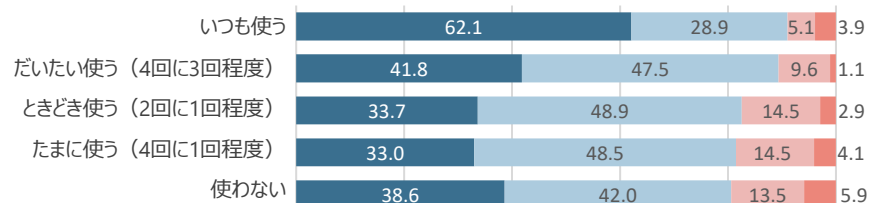
中高学年Q.12 個別学習の場面での使用頻度 × 中高学年Q.7 主体的な学び

n=12,556

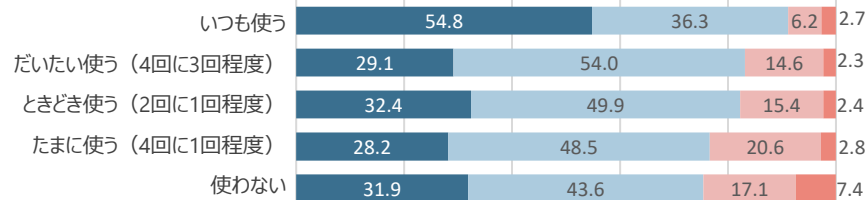
国語 n=2,257



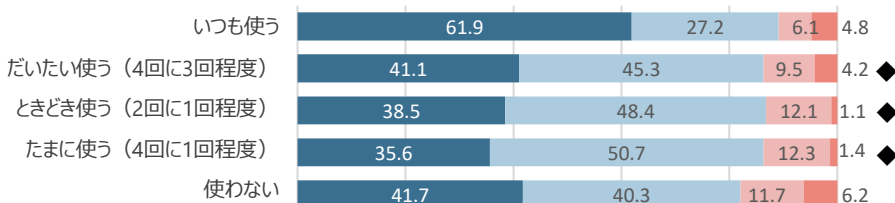
算数 n=2,472



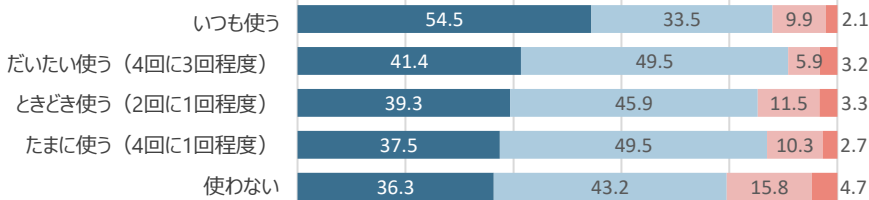
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に算数、英語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約24ポイント、約23ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、算数（62.1%）、理科（61.9%）、国語（58.4%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-4 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

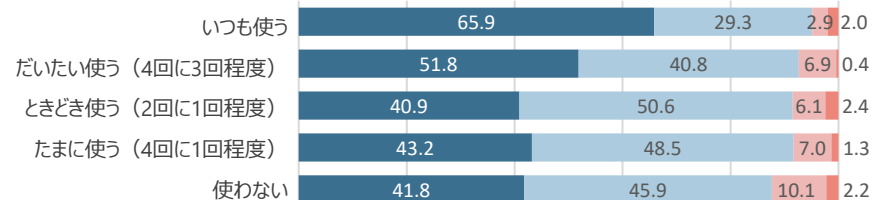
主要5教科別

中学生

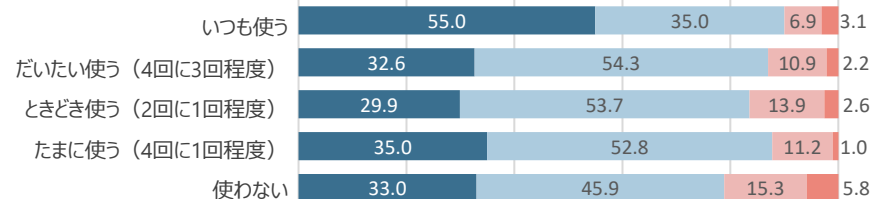
中学生Q.12 個別学習の場面での使用頻度 × 中学生Q.7 主体的な学び

n=17,899

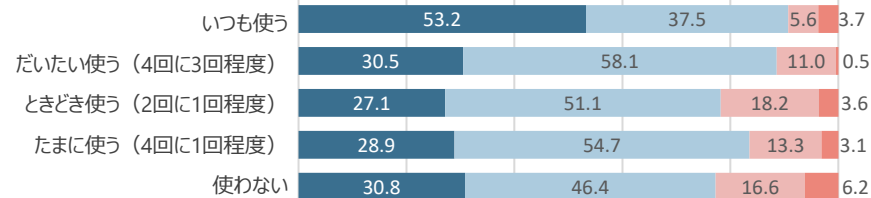
国語 n=1,532



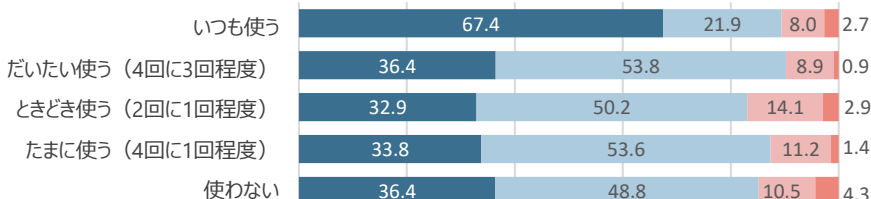
数学 n=1,931



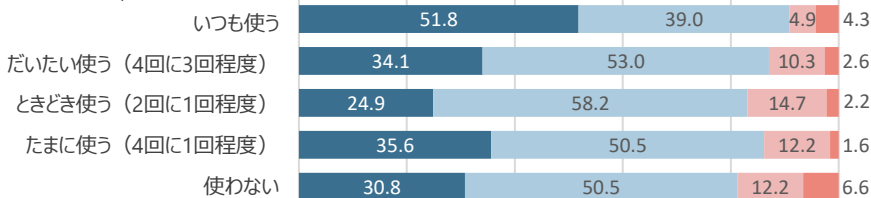
英語 n=2,110



理科 n=2,591



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科、国語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約31ポイント、約24ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（67.4%）、国語（65.9%）、数学（55.0%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-5 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

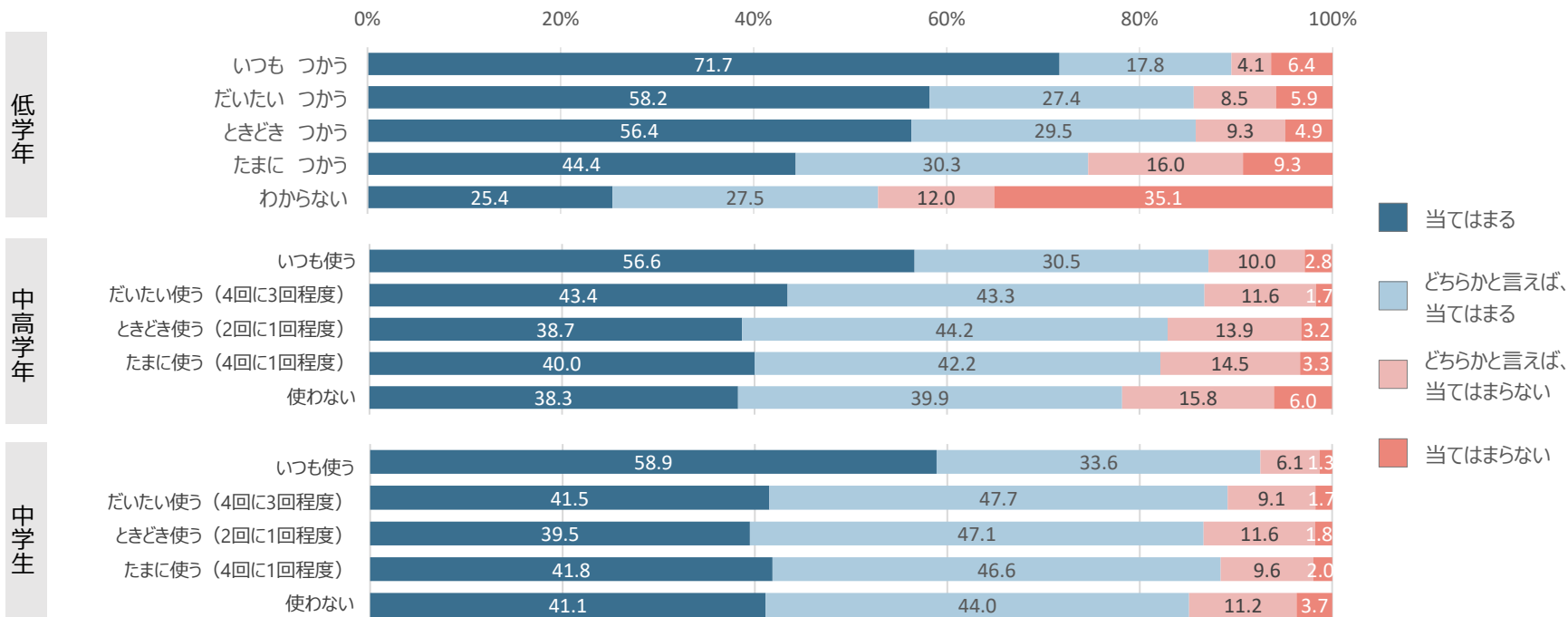
全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 対話的で深い学び（※1）

低学年：n=2,435 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899

中高学年・中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.8 対話的で深い学び（※2）



（※1）回答教科の授業において、友だちと自分の考えを比べながら、話し合っているかを回答。

（※2）回答教科の授業において、学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりしているかを回答。

傾向/示唆

- 低学年、中高学年、中学生いずれについても、授業中デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、対話的で深い学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 低学年では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「わからない」、「たまに使う」グループよりも、「当てはまる」と回答した割合が、それぞれ約46ポイント、約27ポイント高くなっている。
- 中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループよりも、「当てはまる」と回答した割合が約18ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-5 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

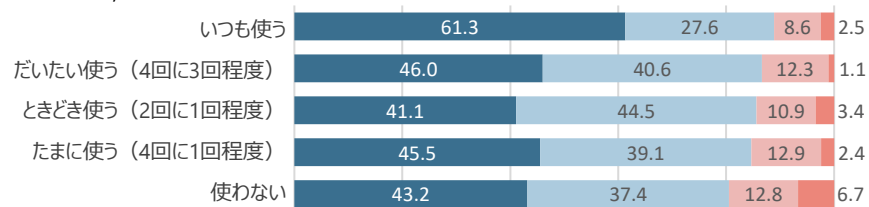
主要5教科別

中高学年

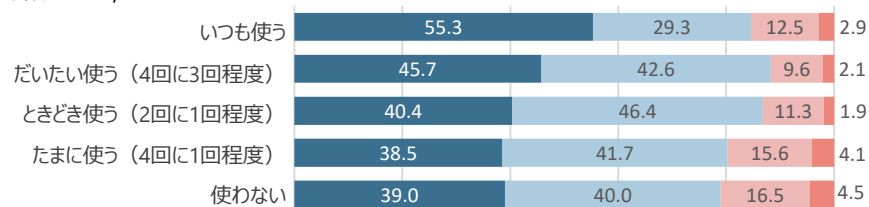
中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.8 対話的で深い学び

n=12,556

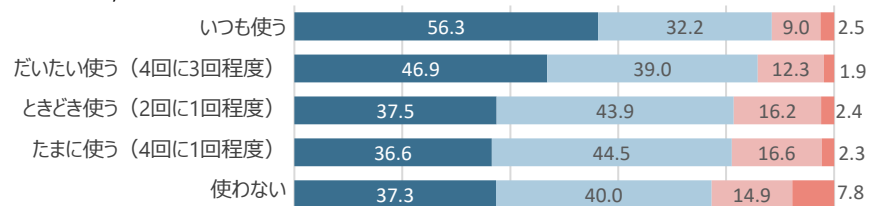
国語 n=2,257



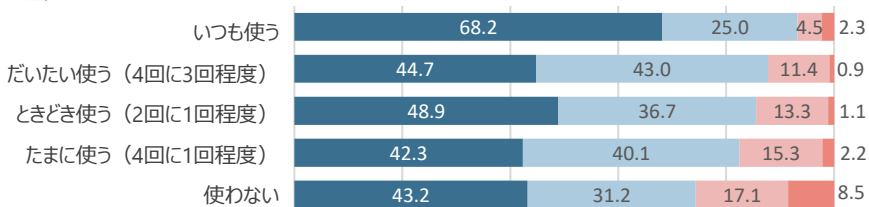
算数 n=2,472



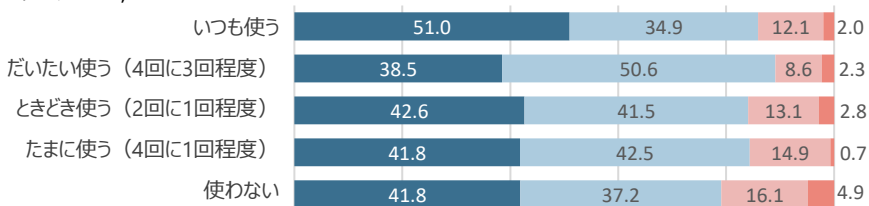
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、対話的で深い学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約25ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（68.2%）、国語（61.3%）、英語（56.3%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-5 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

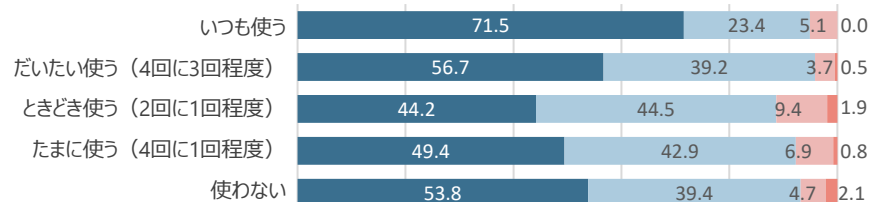
主要5教科別

中学生

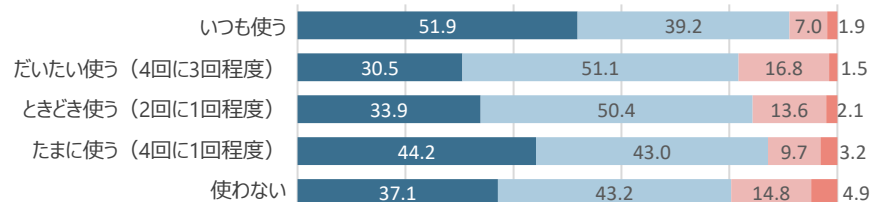
中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.8 対話的で深い学び

n=17,899

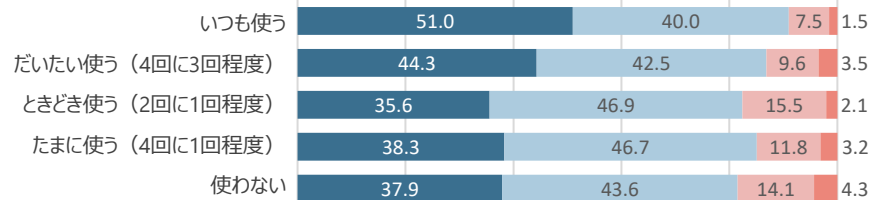
国語 n=1,532



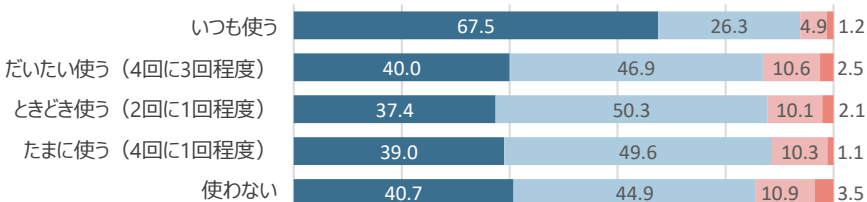
数学 n=1,931



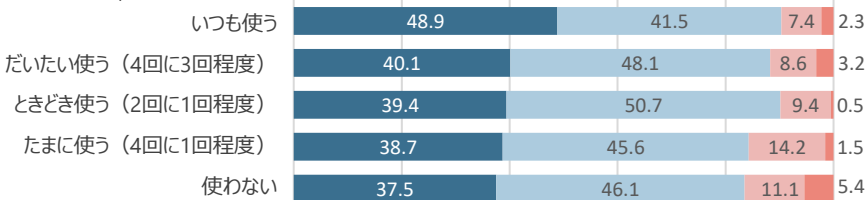
英語 n=2,110



理科 n=2,591



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、対話的で深い学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約27ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、国語（71.5%）、理科（67.5%）、数学（51.9%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

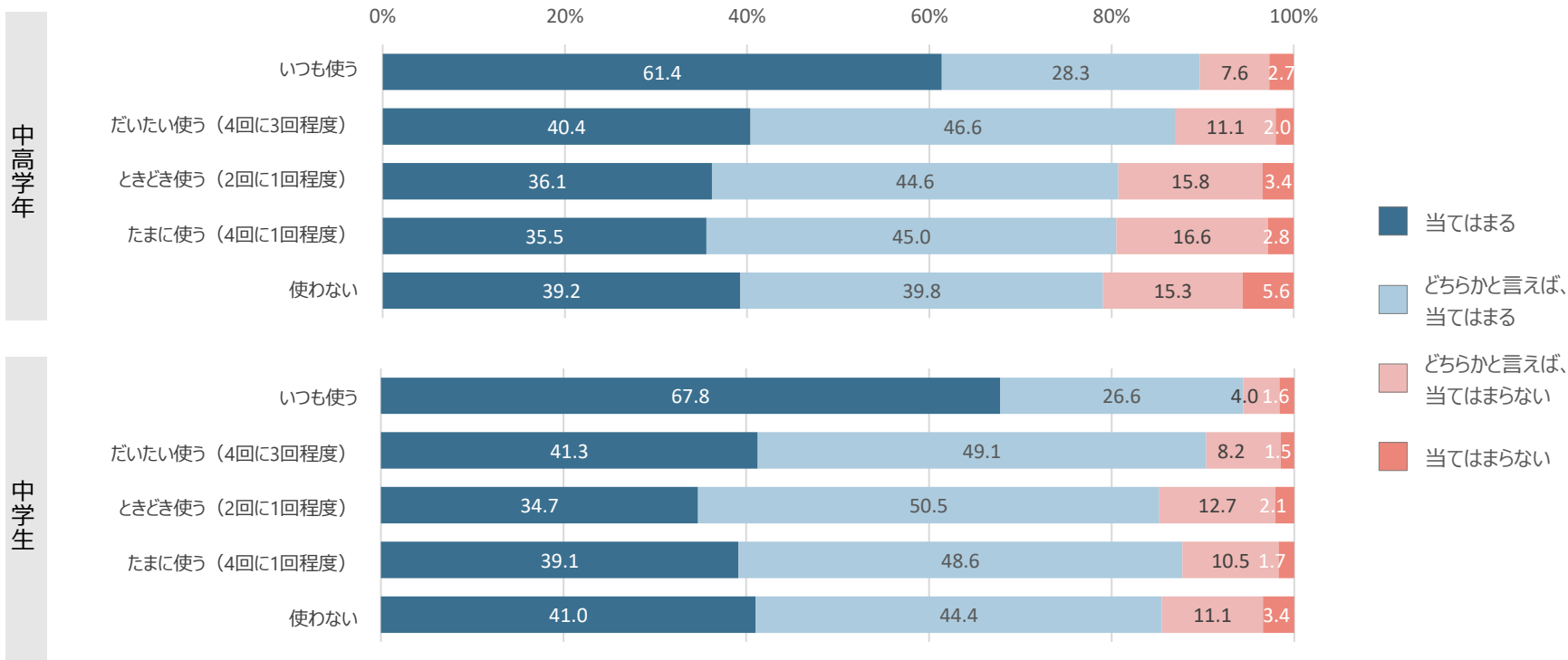
分析⑥-6 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.12 協働学習の場面での使用頻度（※1） × 中高学年・中学生Q.8 対話的で深い学び

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、友達と資料や考えをペアで見せ合う場面で使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生いずれについても、協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、対話的で深い学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループよりも、「当てはまる」と回答した割合が、中高学年では約22ポイント、中学生では約27ポイント高くなっている。分析⑥-5の授業全体での使用頻度を用いた集計と比較し、その差が顕著である。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-6 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

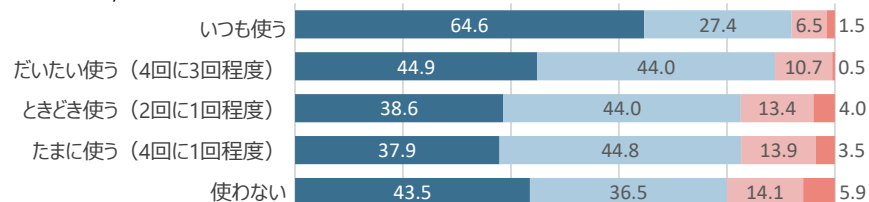
主要5教科別

中高学年

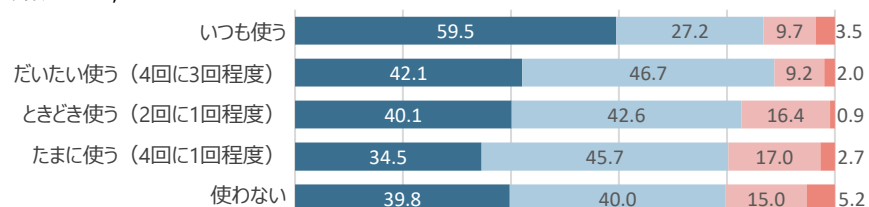
中高学年Q.12 協働学習の場面での使用頻度 × 中高学年Q.8 対話的で深い学び

n=12,556

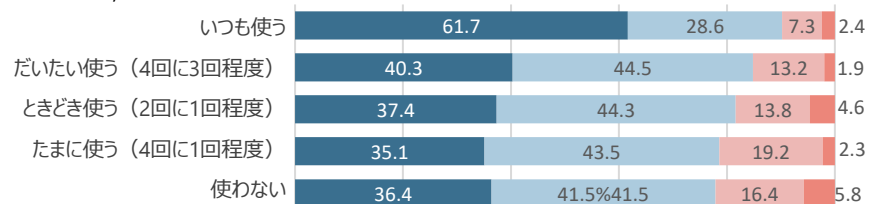
国語 n=2,257



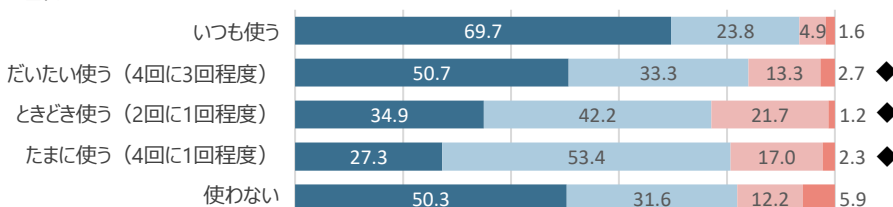
算数 n=2,472



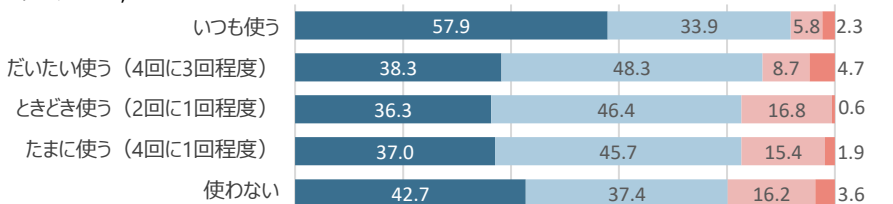
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、対話的で深い学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に英語はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が約25ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（69.7%）、国語（64.6%）、英語（61.7%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-6 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「対話的で深い学び」の関連

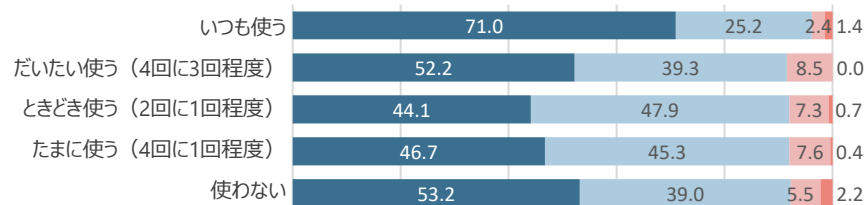
主要5教科別

中学生

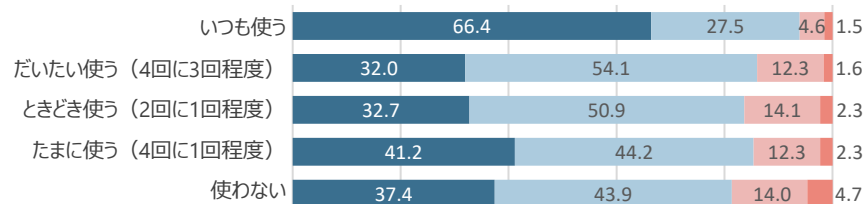
中学生Q.12 協働学習の場面での使用頻度 × 中学生Q.8 対話的で深い学び

n=17,899

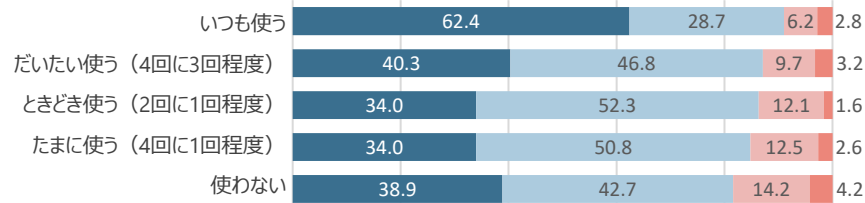
国語 n=1,532



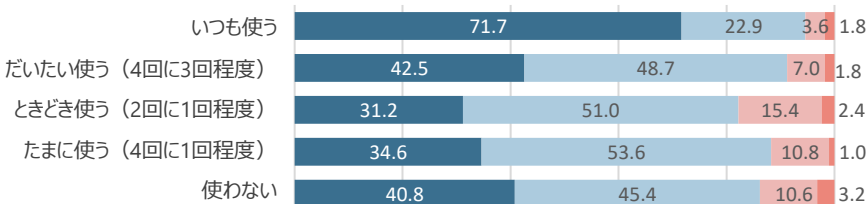
数学 n=1,931



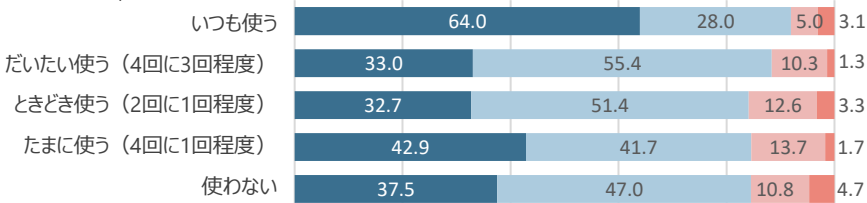
英語 n=2,110



理科 n=2,591



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、対話的で深い学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科と数学はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約31ポイント、約29ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（71.7%）、国語（71.0%）、数学（66.4%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-7 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連

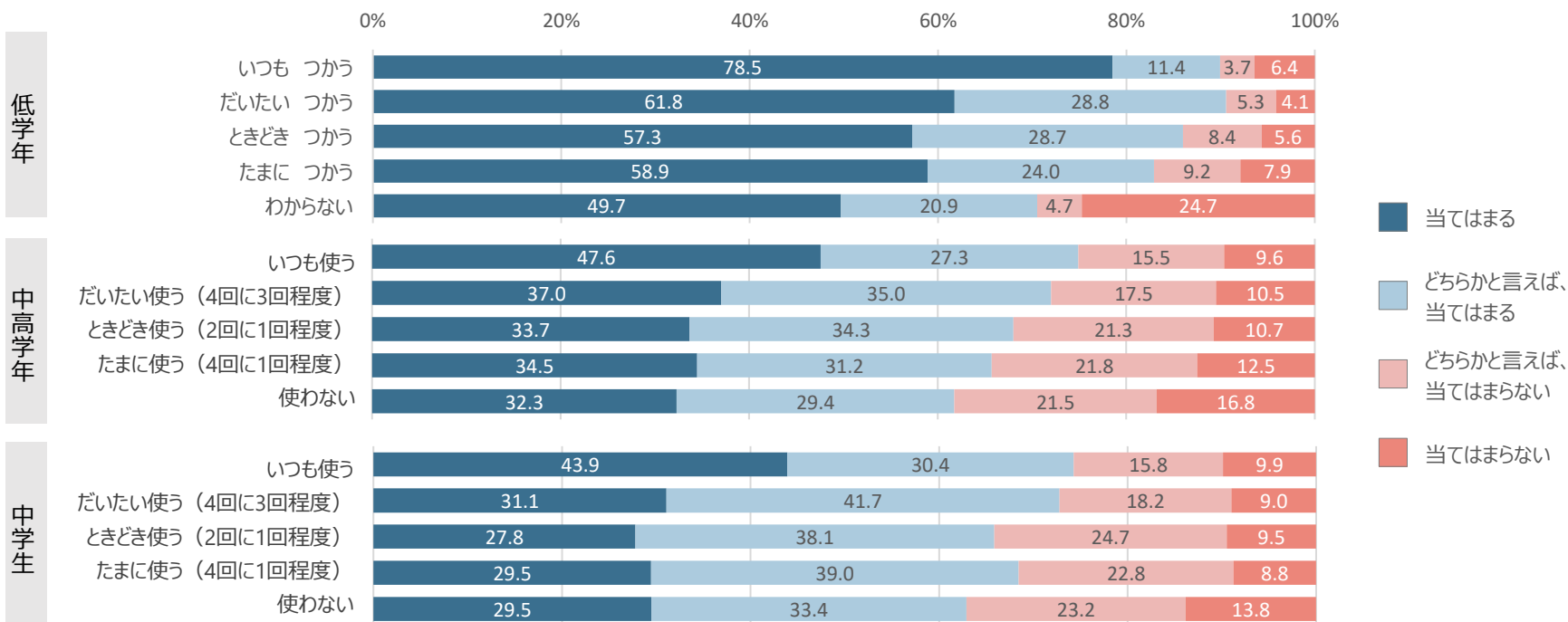
全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.5 回答教科が好きか

低学年：n=2,435 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899

中高学年・中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.9 回答教科が好きか



傾向/示唆

- 低学年、中高学年、中学生いずれについても、授業中デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- 低学年では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「わからない」、「たまに使う」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が、それぞれ約29ポイント、約20ポイント高くなっている。
- 中高学年、中学生では、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が、それぞれ約15ポイント、約14ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-7 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連

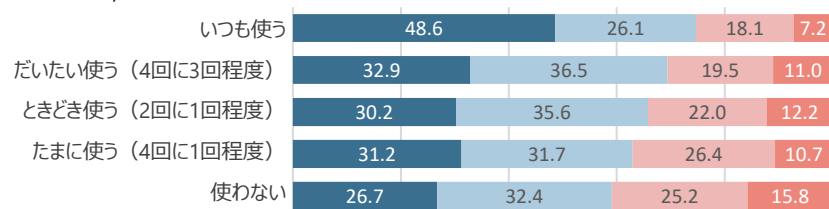
主要5教科別

中高学年

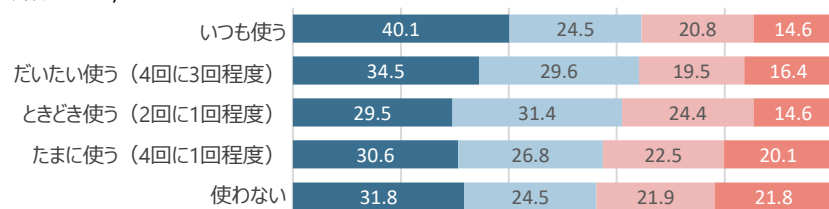
中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.9 回答教科が好きか

n=12,556

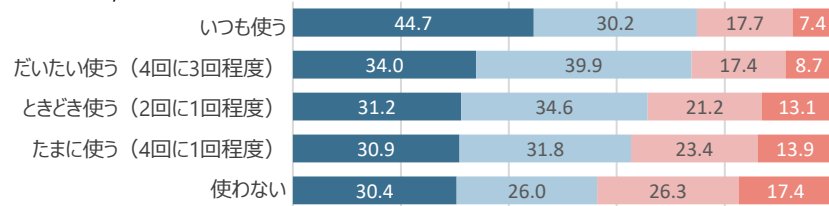
国語 n=2,257



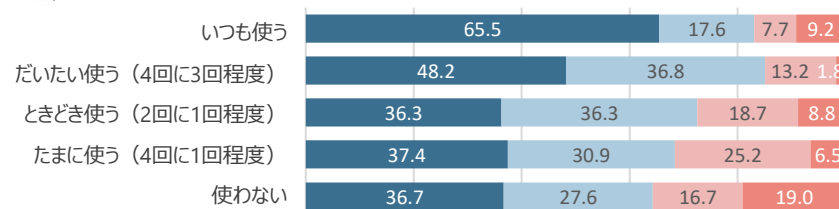
算数 n=2,472



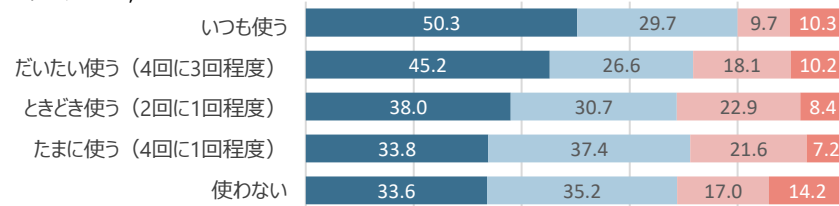
英語 n=2,105



理科 n=696



社会 n=1,212



傾向/示唆

- 中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に理科と国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約29ポイント、約22ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（65.5%）、社会（50.3%）、国語（48.6%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-7 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連

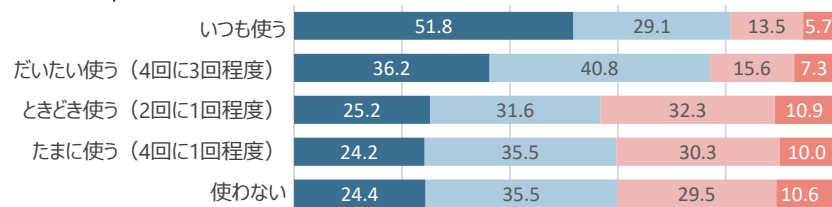
主要5教科別

中学生

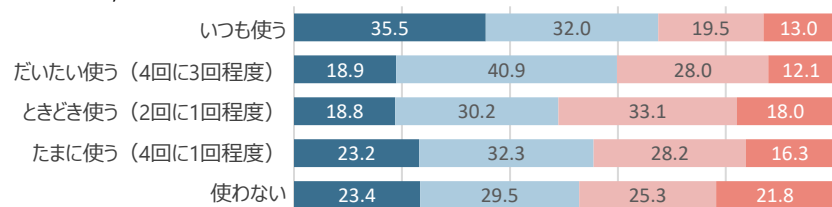
中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中学生Q.9 回答教科が好きか

n=17,899

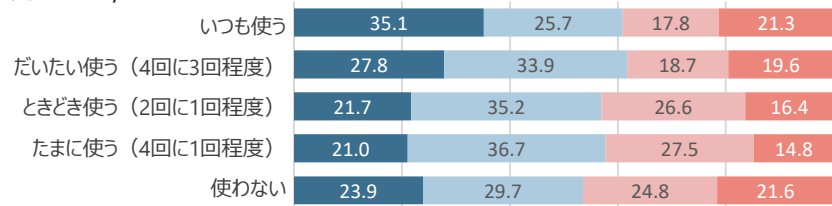
国語 n=1,532



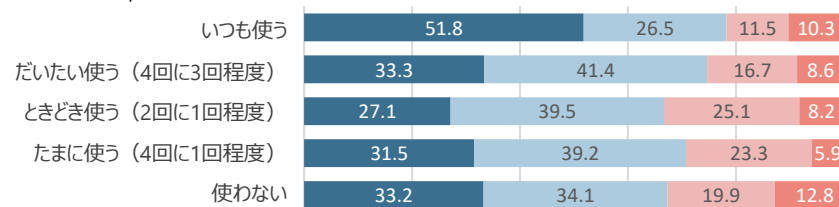
数学 n=1,931



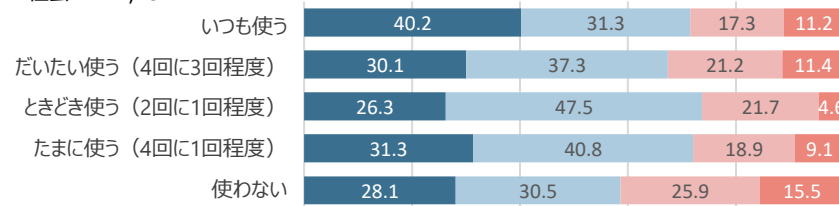
英語 n=2,110



理科 n=2,591



社会 n=1,794



傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループが、回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- 特に国語と理科はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約27ポイント、約19ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、国語・理科（51.8%）、社会（40.2%）の順に高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑥ デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

分析⑥-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連

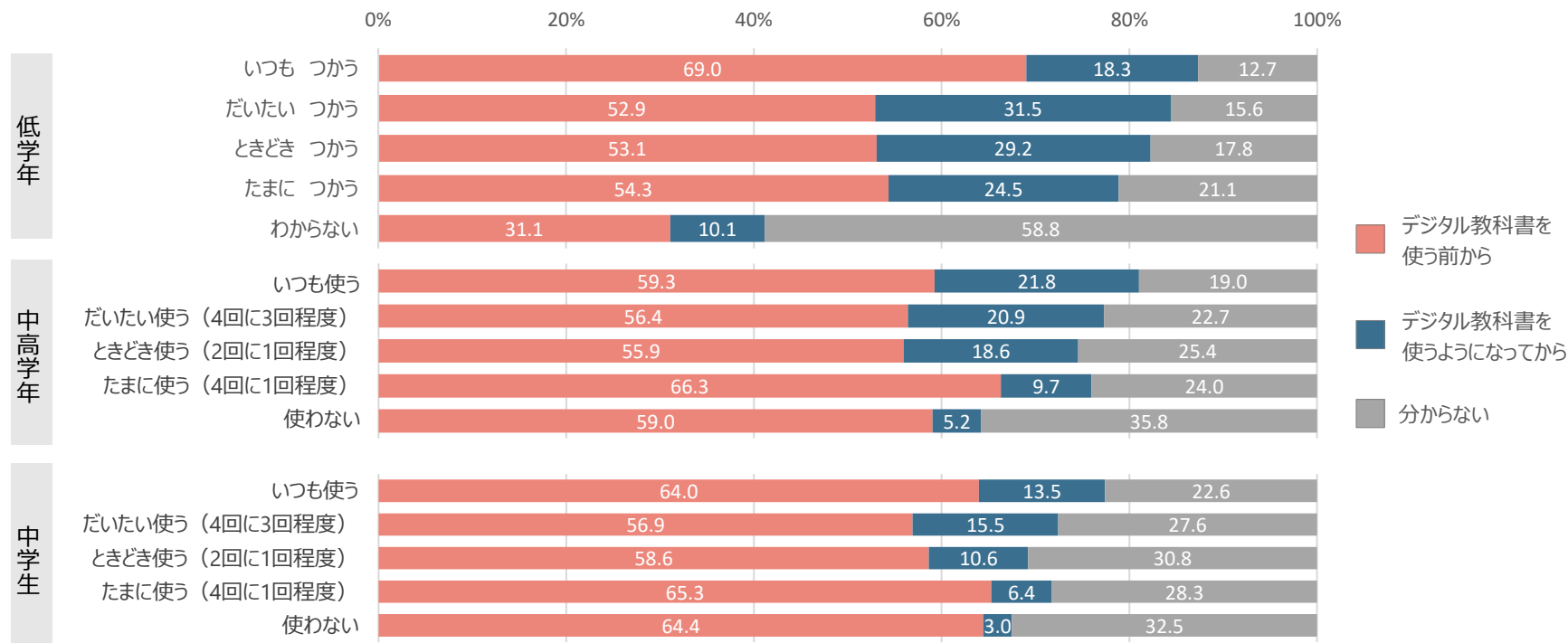
全教科総計

低学年／中高学年
／中学生

低学年Q.4 授業での使用頻度 × 低学年Q.6 教科が好きになった時期

低学年：n=2,435 中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899

中高学年・中学生Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.10 教科が好きになった時期



傾向/示唆

- 「ときどき使う (2回に1回程度)」以上と回答したグループについて、低学年では15~30%程度、中高学年では20%程度、中学生では10~15%程度の児童生徒が、デジタル教科書を使うようになってからその教科が好きになったと回答している。
- 「ときどき使う (2回に1回程度)」以上と回答したグループは、「たまに使う (4回に1回程度)」以下と回答したグループよりも、**デジタル教科書を使うようになってからその教科が好きになったと回答している割合が高い傾向にある**。一部の児童生徒については、デジタル教科書の使用が教科を好きになる一因になっている可能性がある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

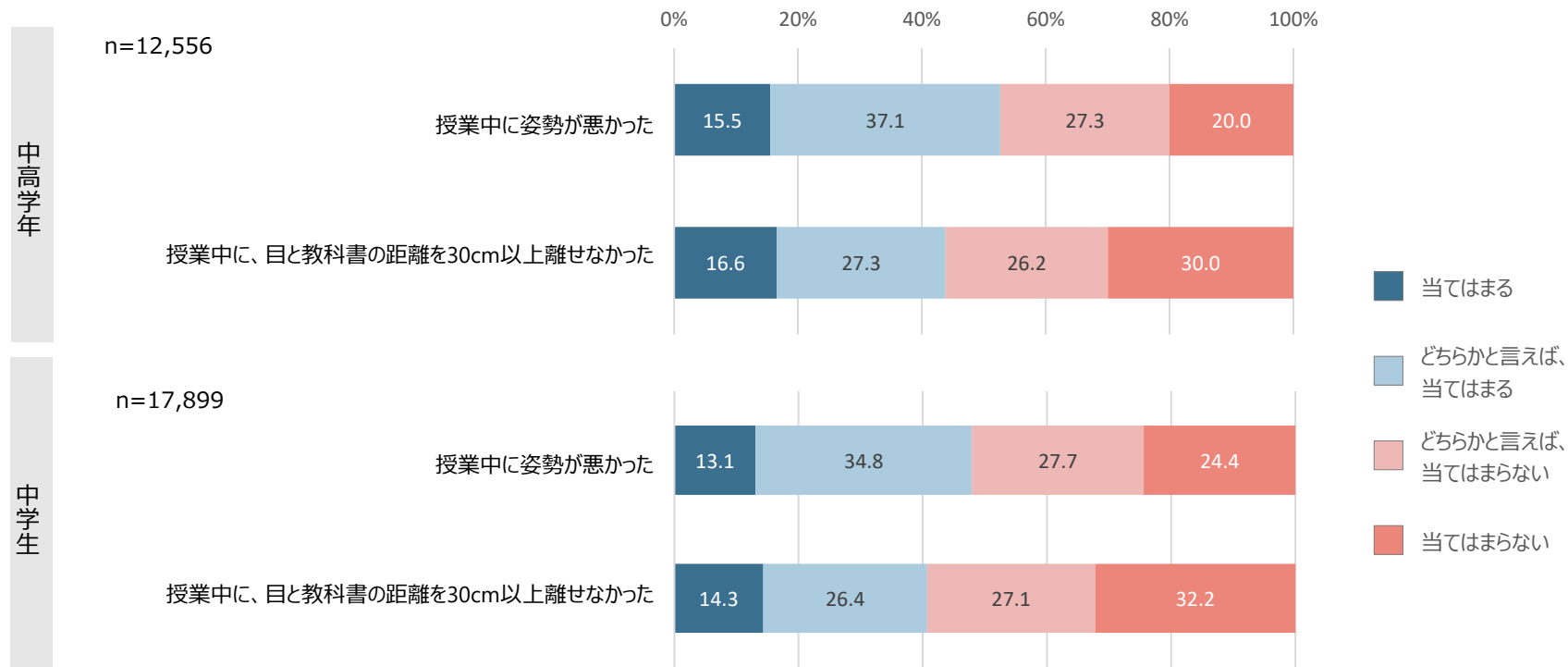
⑦ デジタル教科書の健康面への影響

分析⑦-1 児童生徒の健康面への影響

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.5 健康面への影響



傾向/示唆

- ・ 中高学年の過半数の児童が、授業中の目と教科書の距離について注意できていたと回答している。
- ・ 中学生の過半数の生徒が、授業中の姿勢及び目と教科書の距離について注意できていたと回答している。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

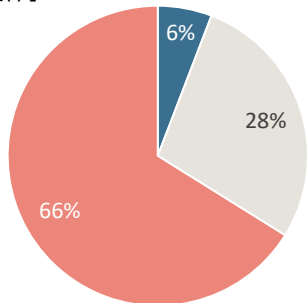
分析⑧-1 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合

全教科総計
／主要教科別

教師

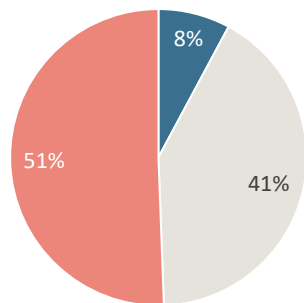
教師Q.12 家庭学習の出題有無

【全体】

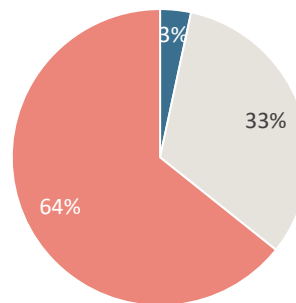


n=7,699

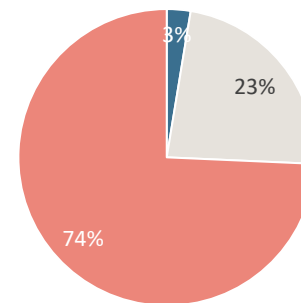
国語【n=255】



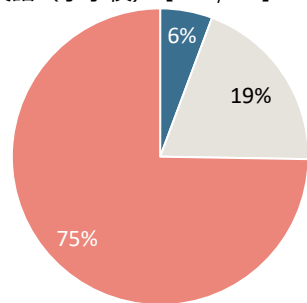
算数【n=2,889】



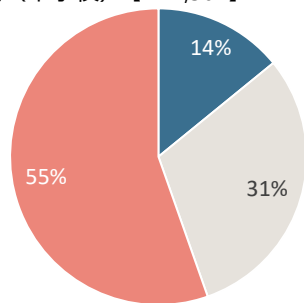
数学【n=1,428】



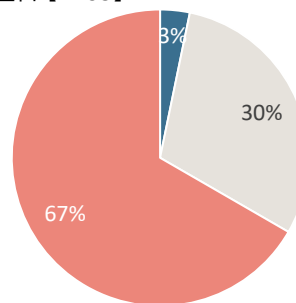
英語（小学校）【n=1,124】



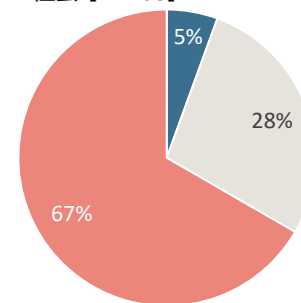
英語（中学校）【n=1,502】



理科【n=93】



社会【n=108】



■ デジタル教科書を使って取り組む課題を出している
 ■ 端末を使って取り組む課題は出しているが、デジタル教科書を使う課題は出していない
 ■ デジタル教科書・端末を使う課題は出していない

傾向/示唆

- 教科全体で見ると、3割強の教師が、デジタル教科書または端末を使った家庭学習課題を出している。
- 教科別では、英語（中学校）で、デジタル教科書を使った家庭学習課題を出している割合が高い。本文の学習や音読練習にデジタル教科書を使うケースが多いことが一因として考えられる。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

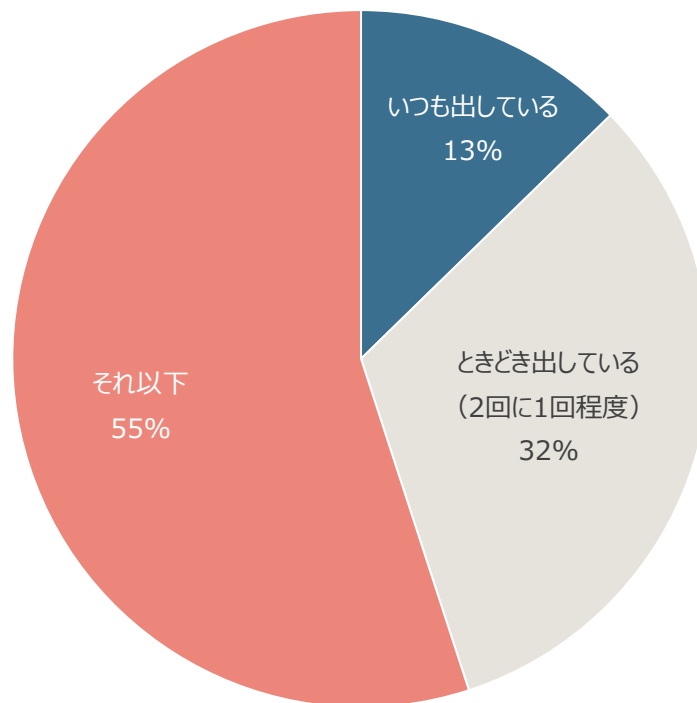
分析⑧-2 デジタル教科書を使用した家庭学習の出題頻度

全教科総計

教師

教師Q.13 家庭学習の出題頻度

n=449



(※1) 「教師Q.12家庭学習の出題有無」にて、「デジタル教科書を使って取り組む宿題を出している」と回答した教師を対象に調査。

傾向/示唆

- デジタル教科書を使った家庭学習課題を出している教師の半数程度は、2回に1回程度以上の頻度で出していることが見て取れる。元々デジタル教科書の活用に積極的な教師による回答であることが一因として考えられる。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

分析⑧-3 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合と、デジタル教科書の場合別の使用感の関連

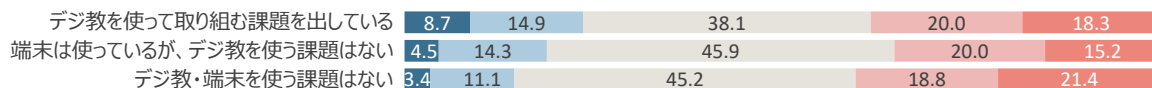
全教科総計

教師

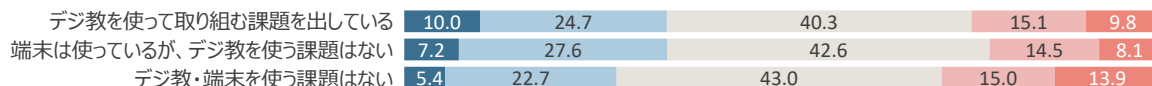
教師Q.12 デジタル教科書を使用した家庭学習の出題（※1） × 教師Q.14 個別学習の使用感

n=7,699

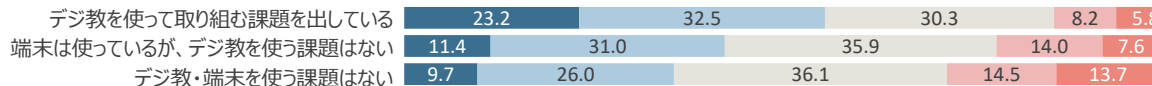
児童生徒が自分の意思で教科書を見て学習の見通しを持つことに適している



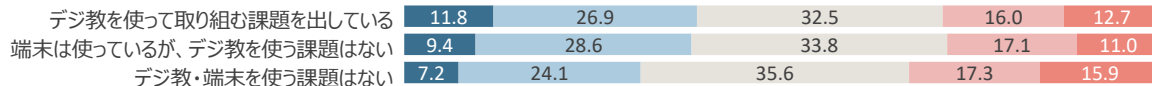
児童生徒が試行錯誤して考えを形成するのに適している



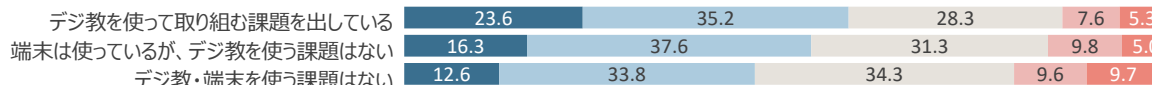
繰り返し用いることで知識・技能を身に付けさせることに適している



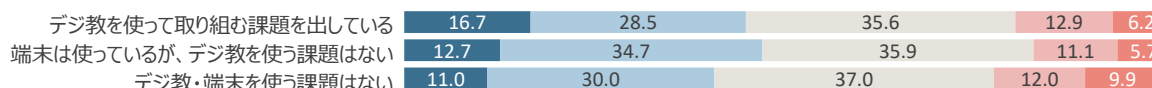
児童生徒が俯瞰しながら複数の資料を交互に見ることに適している



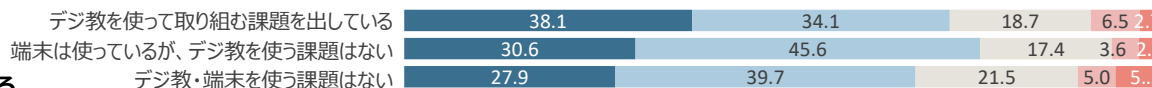
児童生徒が自分で見たい資料を選択することに適している



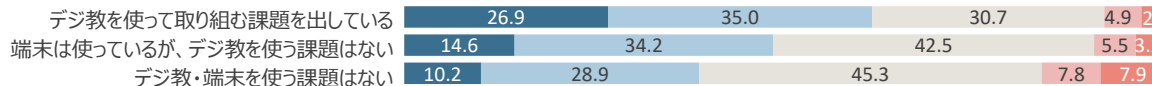
児童生徒が図表や文章などを比較して考え理解を深めるのに適している



写真、イラスト、図表の細部まで確認させ、児童生徒の驚きや興味関心の喚起を図るのに適している



児童生徒の習熟度に応じた学習を行うことに適している



デジタル教科書の方がそう感じる

デジタル教科書の方がややそう感じる

どちらも同じくらい

紙の教科書の方がややそう感じる

紙の教科書の方がそう感じる

（※1）選択肢を一部簡略化して記載。正式な文言は分析⑧-1の選択肢を参照。（以下同様）

傾向/示唆

- 個別学習において、「デジタル教科書を使用した家庭学習を出している」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、デジタル教科書に肯定的な回答を示している。
- 特に「児童生徒の習熟度に応じた学習を行うことに適している」についてはその傾向が顕著であり、「デジタル教科書・端末を使う課題は出していない」グループと比べて、「デジタル教科書を使って取り組む課題を出している」グループでは、「デジタル教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約17ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

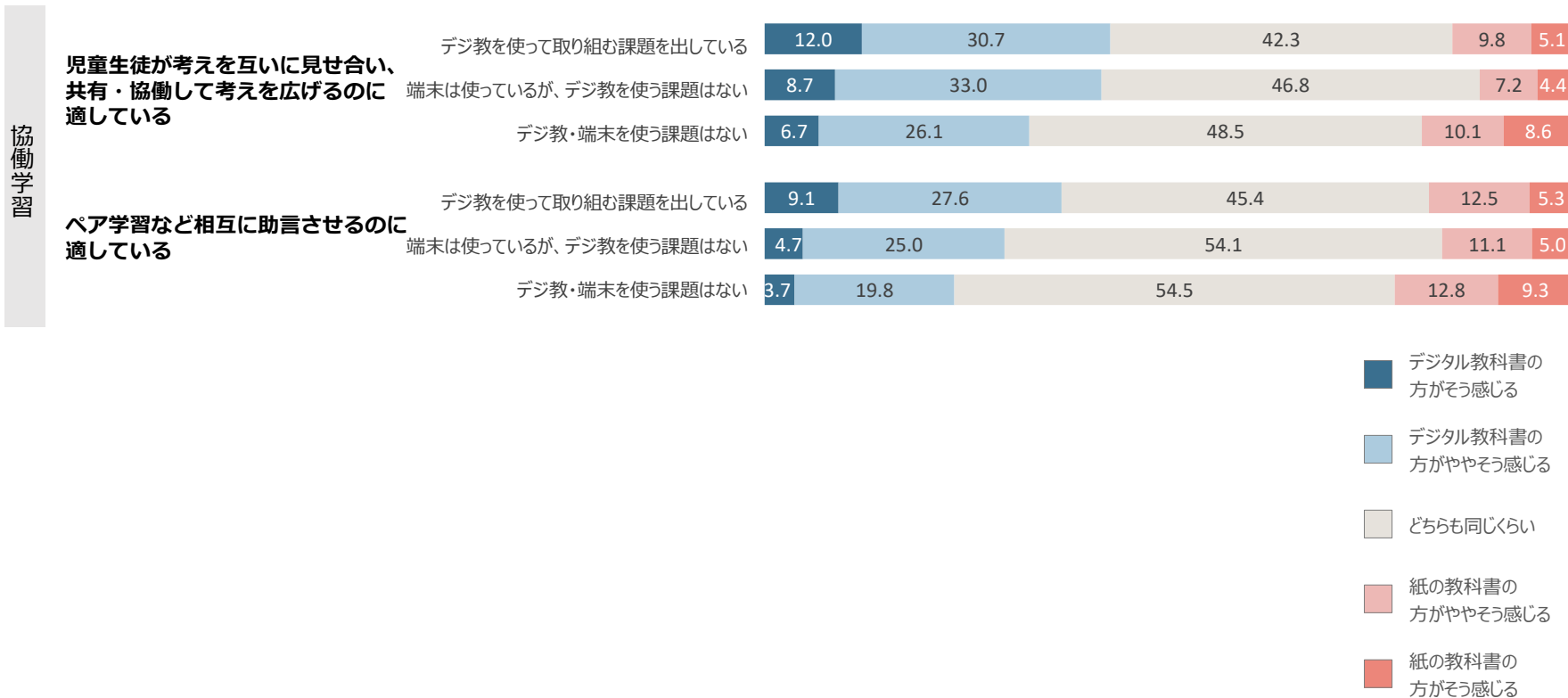
分析⑧-3 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合と、デジタル教科書の場面別の使用感の関連

全教科総計

教師

教師Q.12 デジタル教科書を使用した家庭学習の出題 × 教師Q.15 協働学習の使用感

n=7,699



傾向/示唆

- 協働学習において、「デジタル教科書を使用した家庭学習を出している」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、デジタル教科書に肯定的な回答を示している。
- 「児童生徒が考えを互いに見せ合い、共有・協働して考えを広げるのに適している」、「ペア学習など相互に助言させるのに適している」の両方について、「デジタル教科書・端末を使う課題は出していない」グループと比べて、「デジタル教科書を使って取り組む課題を出している」グループでは、「デジタル教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約5ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑧ デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

分析⑧-3 デジタル教科書を使用した家庭学習を出している割合と、デジタル教科書の場合別の使用感の関連

全教科総計

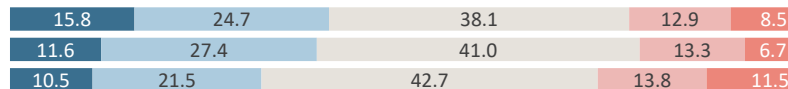
教師

教師Q.12 デジタル教科書を使用した家庭学習の出題 × 教師Q.16 一斉学習の使用感

n=7,699

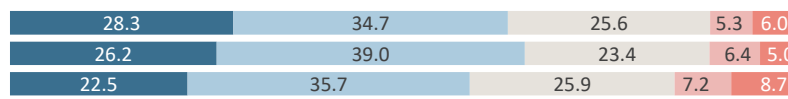
前回授業や既習事項の振り返りを行うのに適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



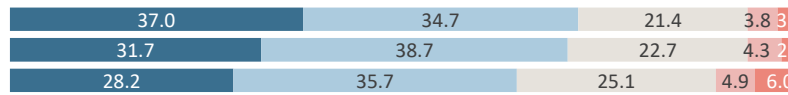
必要な情報のみを見せたいときに適している（解法への事前のアクセスを防ぐ、学習範囲を明確にする等）

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



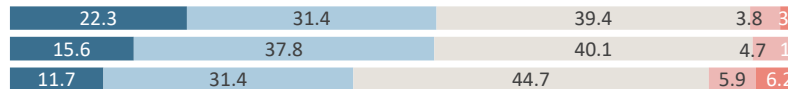
学習内容を視覚的に確認する際に適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



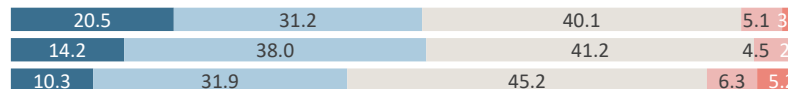
児童生徒の考えを発表共有するのに適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



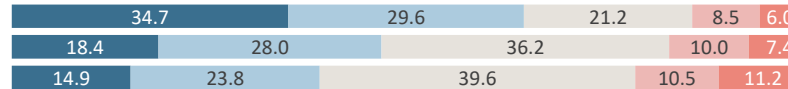
学級全体で考察する際に、児童生徒の考えを分類・整理するのに適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



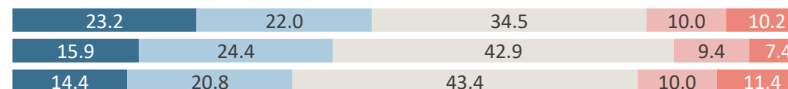
音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



一斉指導の指示を行うのに適している

デジ教を使って取り組む課題を出している
端末は使っているが、デジ教を使う課題はない
デジ教・端末を使う課題はない



■ デジタル教科書の方がそう感じる
■ デジタル教科書の方がややそう感じる
■ どちらも同じくらい
■ 紙の教科書の方がややそう感じる
■ 紙の教科書の方がそう感じる

傾向/示唆

- 一斉学習において、「デジタル教科書を使用した家庭学習を出している」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、デジタル教科書に肯定的な回答を示している。
- 特に「音読朗読など学級全体で活動する際に児童生徒が参照する資料として適している」についてはその傾向が顕著であり、「デジタル教科書・端末を使う課題は出していない」グループと比べて、「デジタル教科書を使って取り組む課題を出している」グループでは、「デジタル教科書の方がそう感じる」と回答した割合が約20ポイント高くなっている。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑨ 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響

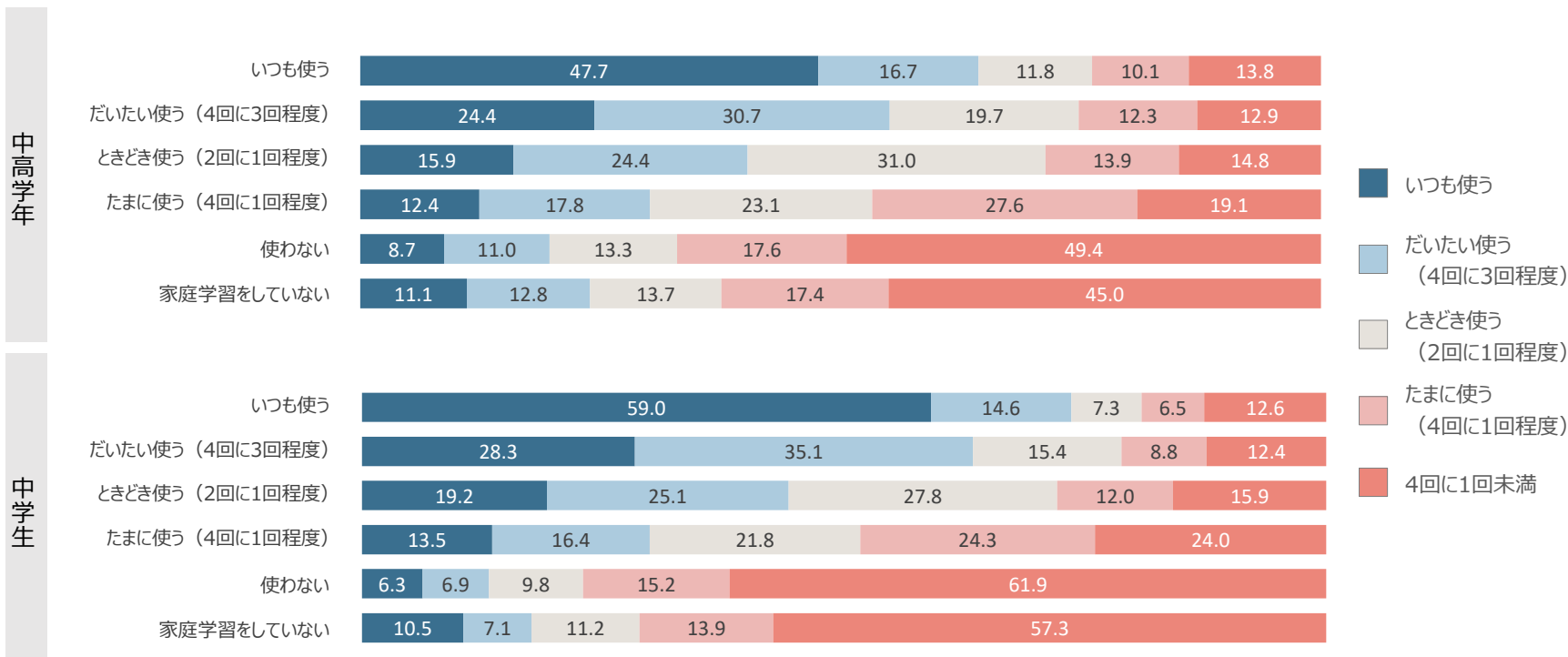
分析⑨-1 児童生徒の家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度と、授業の学習場面別のデジタル教科書の使用頻度の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.15 家庭学習での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.12 個別学習の場面での使用頻度（※1）

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、一人で課題に取り組む場面で使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生ともに、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べ、授業中一人で課題に取り組む場面でのデジタル教科書の使用頻度が高い傾向にある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑨ 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響

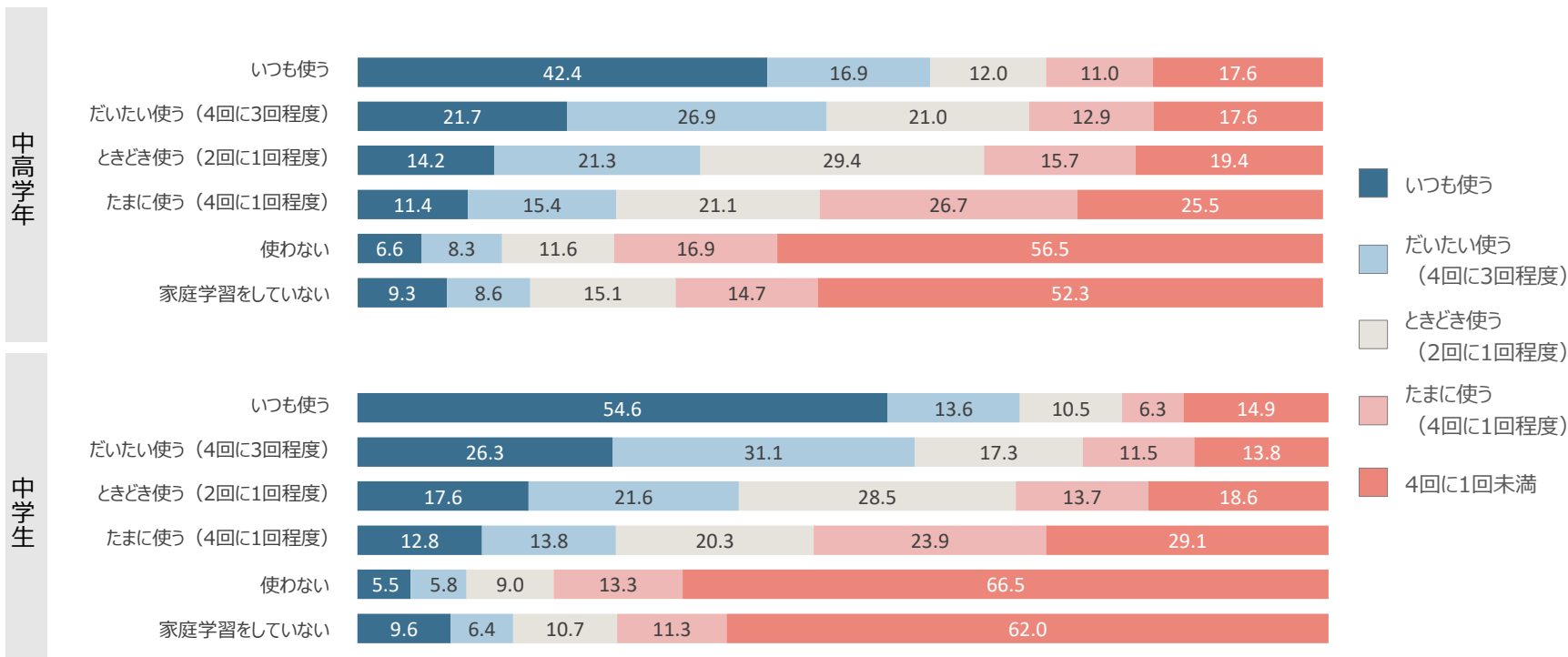
分析⑨-1 児童生徒の家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度と、授業の学習場面別のデジタル教科書の使用頻度の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.15 家庭学習での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.12 振り返りの場面での使用頻度（※1）

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



傾向/示唆

- 中高学年、中学生ともに、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べ、授業中学んだことを自分で振り返る場面でのデジタル教科書の使用頻度が高い傾向にある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑨ 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響

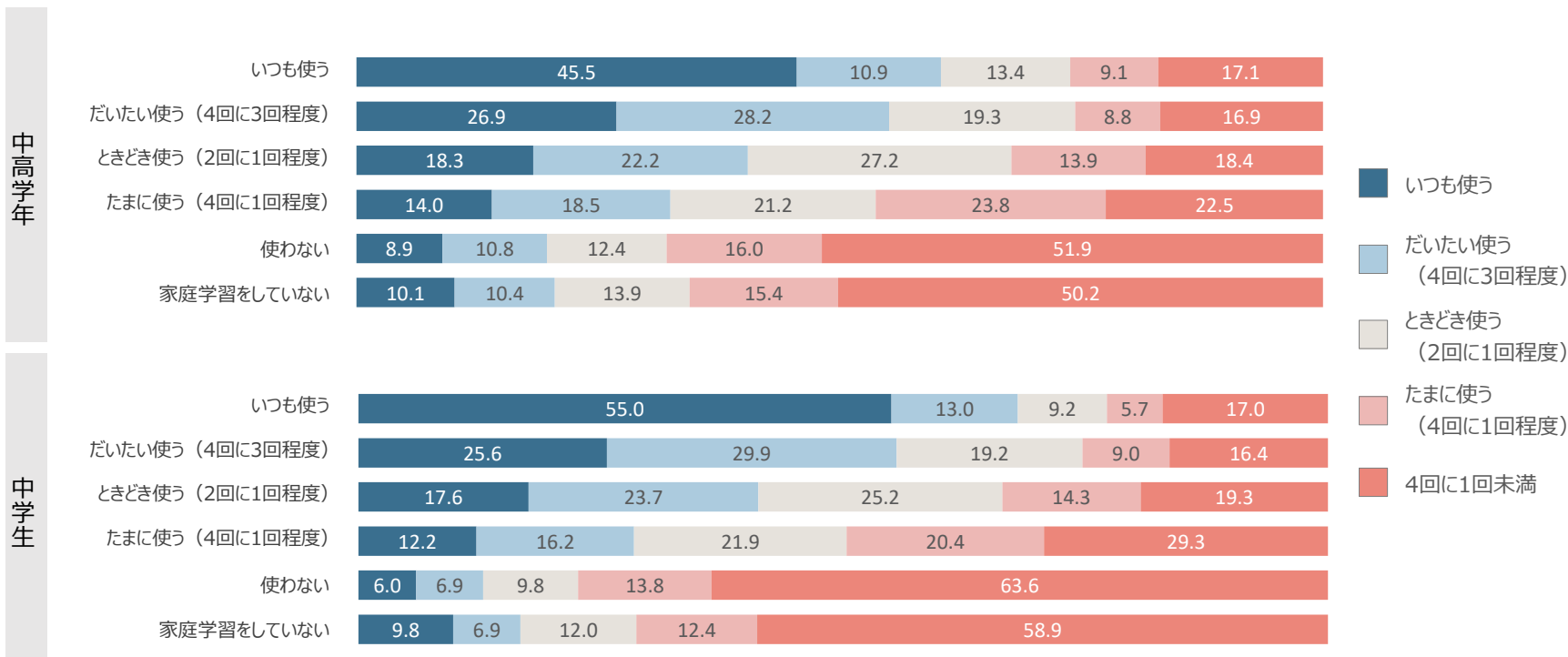
分析⑨-1 児童生徒の家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度と、授業の学習場面別のデジタル教科書の使用頻度の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.15 家庭学習での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.12 協働学習の場面での使用頻度（※1）

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、友達と資料や考えをペアで見せ合う場面で使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生ともに、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べ、授業中友達と資料や考えをペアで見せ合う場面でのデジタル教科書の使用頻度が高い傾向にある。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑨ 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響

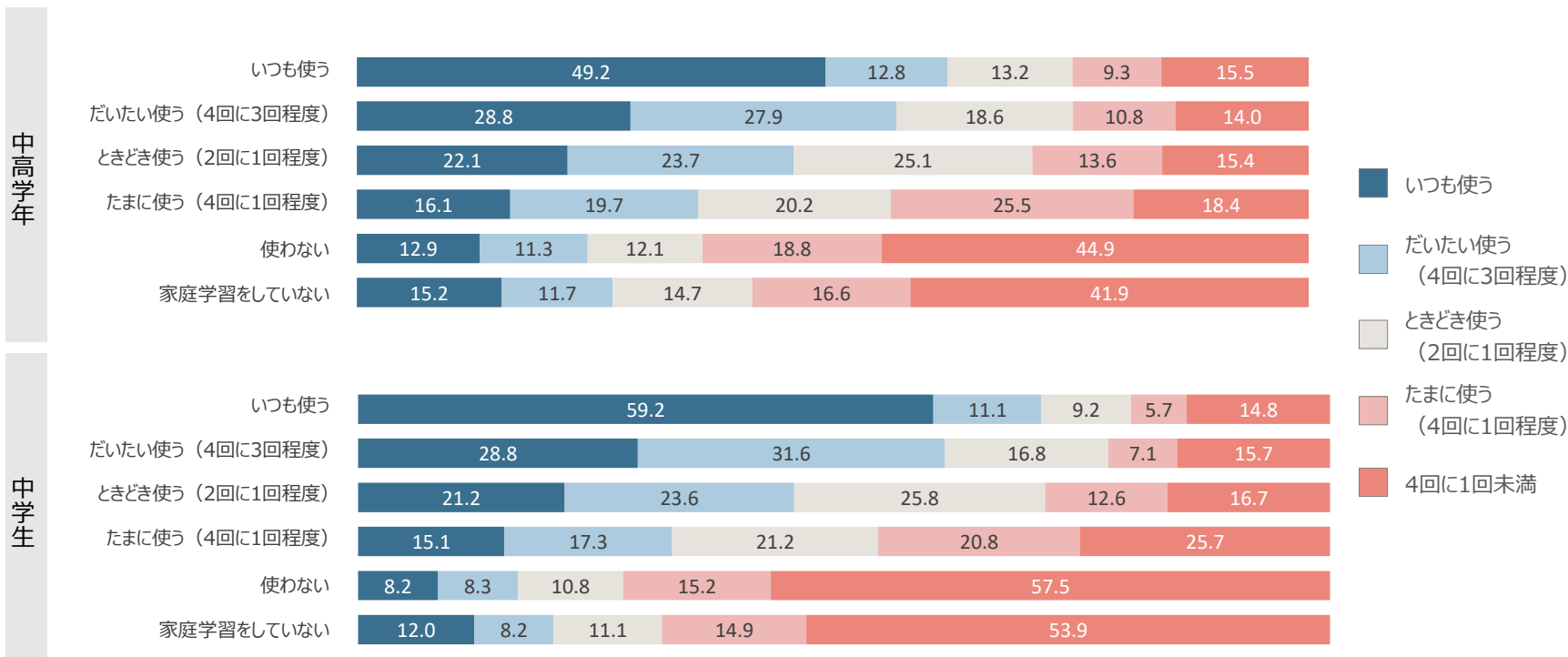
分析⑨-1 児童生徒の家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度と、授業の学習場面別のデジタル教科書の使用頻度の関連

全教科総計

中高学年／中学生

中高学年・中学生Q.15 家庭学習での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.12 一斉学習の場面での使用頻度（※1）

中高学年：n=12,556 中学生：n=17,899



（※1）回答教科の授業において、クラスのみならず取り組む場面での使用している頻度を回答。

傾向/示唆

- 中高学年、中学生ともに、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べ、クラスのみならず取り組む場面でのデジタル教科書の使用頻度が高い傾向にある。
- ⑨-1を通じて、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」グループと「使わない」グループにおける、授業中の各場面で「いつも使う」の回答割合の差は、中高学年では36～39ポイント、中学生では49～53ポイントであり、中学生の方が差が顕著である。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑩ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

分析⑩-1 デジタル教科書に関する情報に触れた経験の経年変化

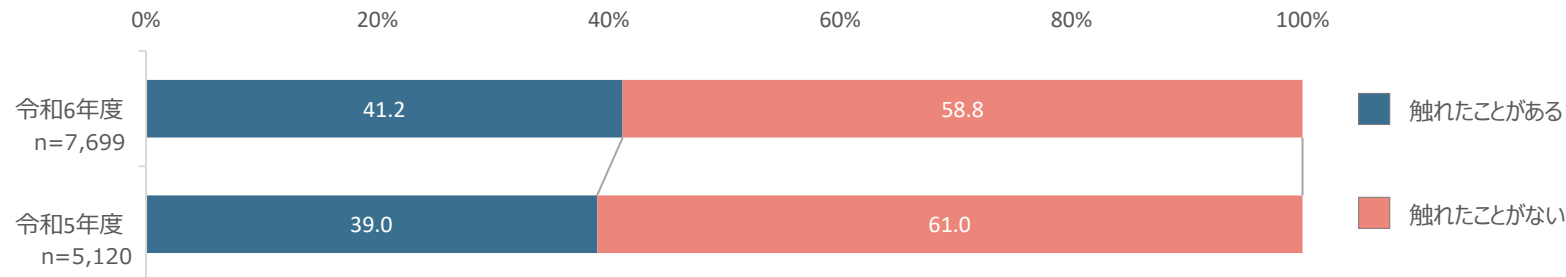
全教科総計

教師

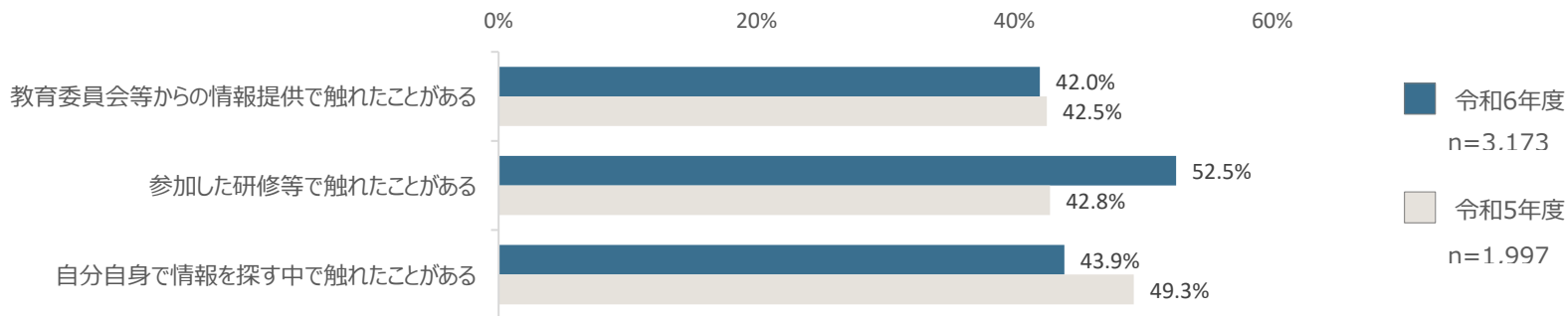
教師Q.22 活用方法に関する情報に触れる機会、教師Q.23 活用方法に関する情報にどのように触れたか（複数選択可）

n=7,699

デジタル教科書の活用方法に関する情報に触れる機会



デジタル教科書の活用方法に関する情報にどのように触れたか



傾向/示唆

- 令和5年度と比較して、デジタル教科書に関する情報に触れた経験のある教師の割合は増えており、特に研修等で触れたことがある教師の割合は約10ポイント増加している。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑩ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

分析⑩-2 デジタル教科書に関する研修を受けた経験

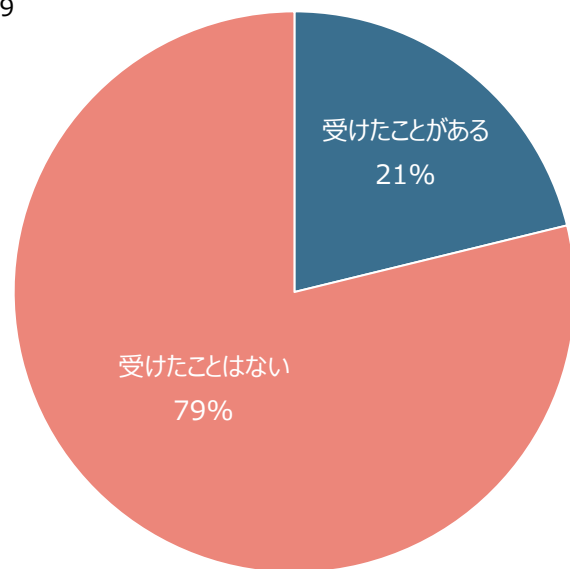
全教科総計

教師

教師Q.24 研修を受けた経験、教師Q.25 受けた研修の内容（複数選択可）

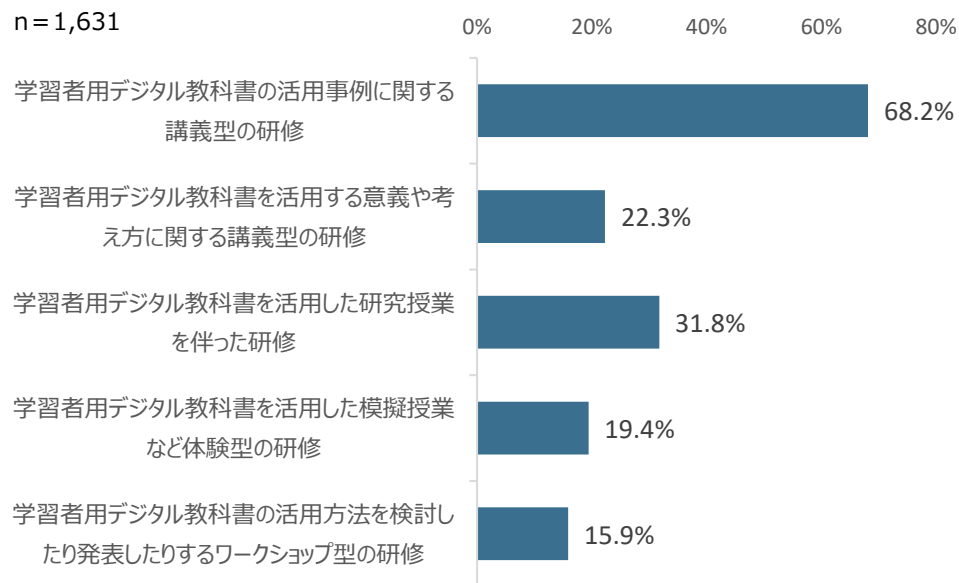
学習者用デジタル教科書に関する研修を受けたことがあるか

n=7,699



どのような研修を受けたことがあるか

n=1,631



傾向/示唆

- 8割弱の教師は、これまで学習者用デジタル教科書に関する研修を受けたことがない。（なお、「学習者用デジタル教科書に関する研修」の定義は回答者の任意としたので、他の主題に関する研修でデジタル教科書を扱った例は含まれていない可能性もある点に留意。）
- デジタル教科書に関する研修を受けたことがある教師のうち、7割弱の教師が活用事例に関する講義型の研修を受けたことがある。次いで、研究授業を伴った研修が多い。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑩ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

分析⑩-3 デジタル教科書の使用頻度・時間と、デジタル教科書に関する研修を受けた経験の関連

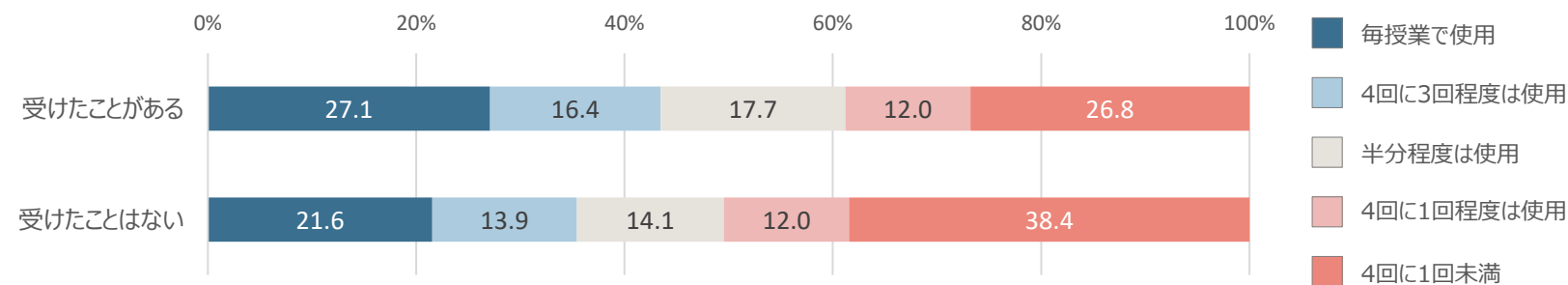
全教科総計

教師

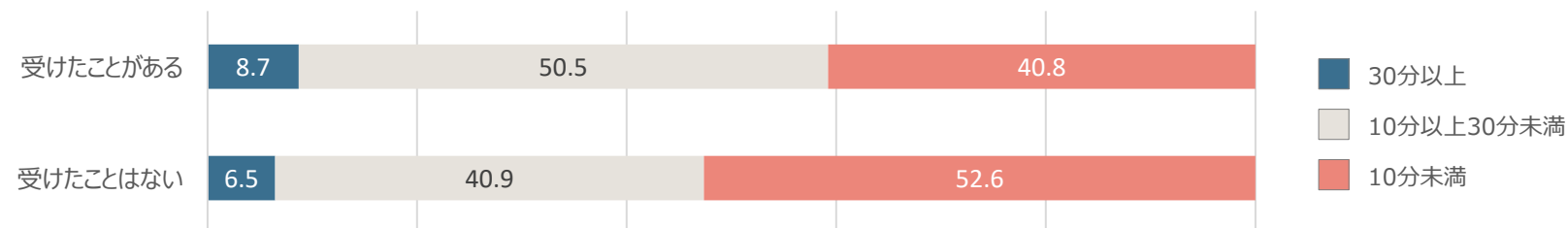
教師Q.24 研修を受けた経験 × 教師Q.8 使用頻度、教師Q.9 使用時間

n=7,699

研修を受けた経験と、授業中の使用頻度の関連



研修を受けた経験と、授業中の使用時間の関連



傾向/示唆

- デジタル教科書に関する研修を受けた経験があると回答した教師は、研修を受けたことがないと回答した教師に比べ、授業中の使用頻度が高く、使用時間も長い。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑩ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

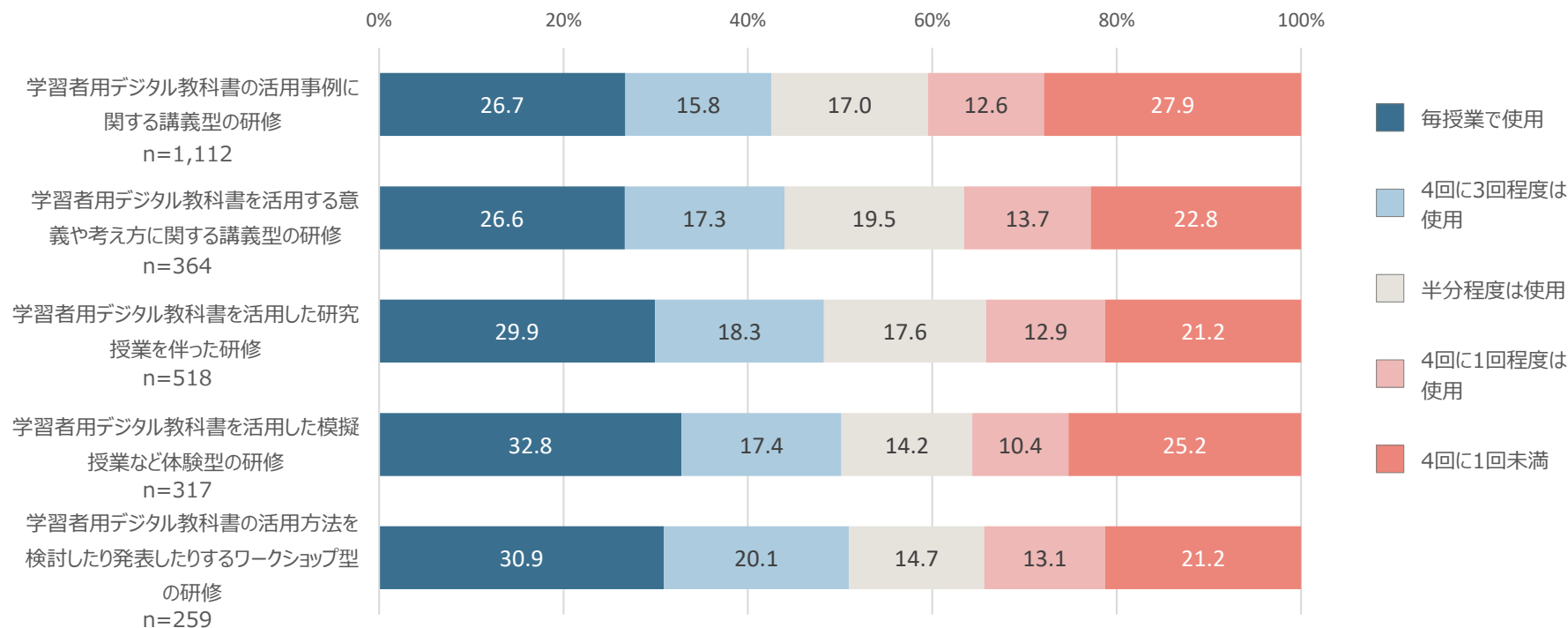
分析⑩-4 デジタル教科書の使用頻度・時間と、受けたことのある研修の内容の関連

全教科総計

教師

教師Q.25 受けた研修の内容 × 教師Q.8 使用頻度

n=1,631



傾向/示唆

- 講義型の研修を受けたと回答したグループよりも、研究授業や模擬授業、ワークショップ等の体験型の研修を受けたと回答したグループの方が、デジタル教科書を4回に3回以上使用している割合が高い。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.3. テーマ別分析結果

⑪ 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書が有効と感じる観点

分析⑪-1 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書が有効と感じる観点

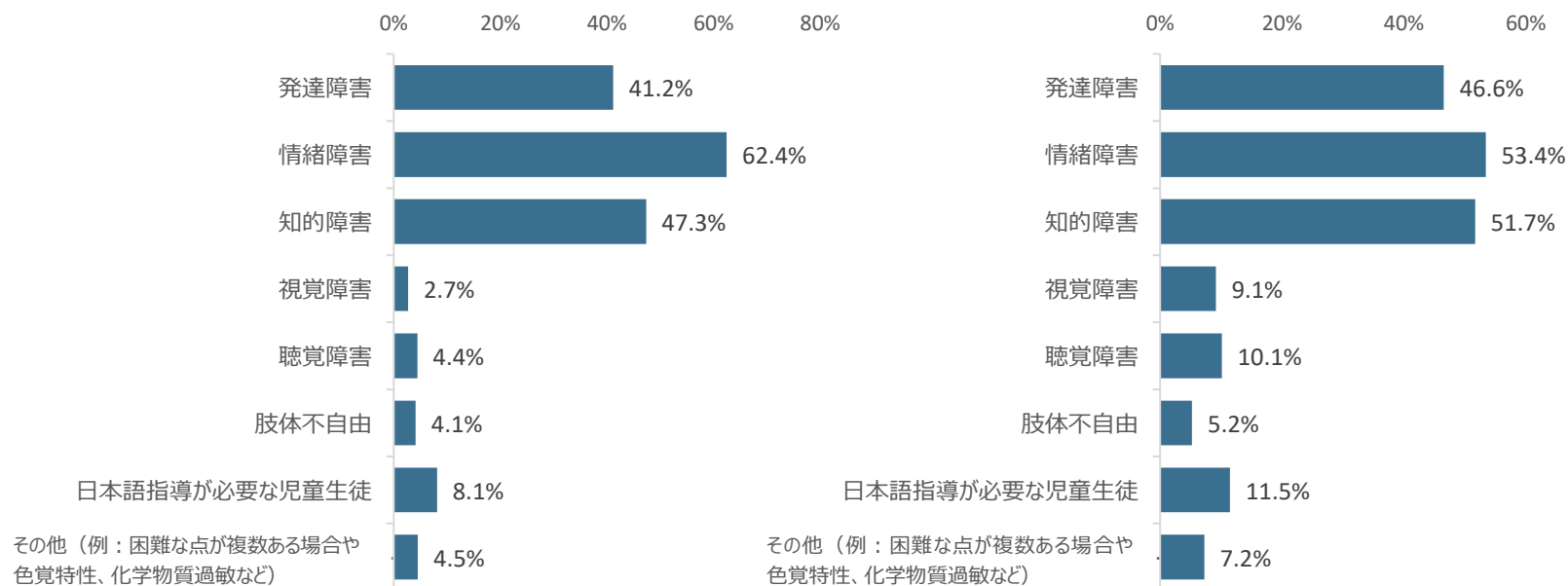
全教科総計

教師

教師Q.5 特別支援での使用有無（複数選択可）、教師Q.6 特別支援での使用効果（複数選択可）（※1） n=1,946

教科指導にデジタル教科書を使用している児童生徒は、
どのような観点で特別な配慮が必要か

教科指導に学習者用デジタル教科書を使用することが有効と感じるのは
どのような観点で特別な配慮が必要な児童生徒か



（※1）教科指導に学習者用デジタル教科書を使用することが有効と感じるのはどのような観点で特別な配慮が必要な児童生徒かを回答。

傾向/示唆

- 特別な配慮が必要な児童生徒のうち、情緒障害、知的障害、発達障害の順に、デジタル教科書の有効性を感じると回答した教師の割合が多い。（特別な配慮が必要な観点ごとに、元々の児童生徒数の割合が異なることに留意。）
- Q5とQ6を比較すると、実際に担当していない特性の児童生徒の指導にも効果を感じている教師が存在すると推察される。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

3.4. 追加ヒアリング調査結果

- アンケート調査では十分な把握が困難な、要配慮児童生徒へのデジタル教科書の効果（学習上の困難の低減に対する効果）を分析するため、要配慮児童生徒の授業を担当されている教員を対象にヒアリング調査を行いました。

美里町立南郷中学校

アンケートからは得られにくい、要配慮児童生徒へのデジタル教科書の効果（学習上の困難の低減に対する効果）を深掘り調査するため、要配慮児童生徒の授業を担当されている教員への個別ヒアリングを実施

調査対象の児童生徒

- ・ 特性：発達障害（ADHD、ASD）
- ・ 学年：中学校1年～3年
- ・ 教科：数学
- ・ 指導形態：通級による指導・少人数指導

デジタル教科書の利用状況

- ・ 教科書発行者：東京書籍
- ・ デジタル教科書の利用開始時期：令和6年度
- ・ デジタル教科書の使用頻度・使用時間：毎時間使用・1回の授業あたり平均30分以上使用
- ・ デジタル教科書の主な利用機能：拡大機能、シミュレーション機能
- ・ 教室で利用しているICT機器等：コラボレーションツール

デジタル教科書の活用場面

■ デジタル教科書等ICT機器を活用した場面・活用方法

- ・ 拡大機能を活用することで、集中的に確認したい部分のみを大きく表示。
- ・ 図形の単元で、デジタル教科書のコンテンツを活用し、図形を自由に回転させたり、辺の数を数える際に色を付けたり、背景を透かして図形の確認をさせたりしている。
- ・ 自身で作成した図形を、コラボレーションツールを活用して生徒同士で共有。
- ・ 関数の単元で、点を増やして線に近づけるシミュレーション機能を活用。
- ・ 図形等のイメージを用いて視覚に訴えて説明でき、言葉の壁を緩和。

■ 活用による生徒の変化

- ・ デジタル教科書の導入後、生徒の学習への意欲や学力の向上が見られた。

考察／示唆

■ 拡大機能・シミュレーション機能の効果

- ・ 発達障害の生徒は、紙の教科書では集中力が持続せず、紙面から必要な情報を取得することが難しい傾向にある。拡大機能を活用することで、**生徒の学習への集中力が向上**と考えられる。
- ・ こだわりが強い傾向にある生徒にとっては、デジタル教科書等を活用し図形を**自分の手で動かしたり色を付けたりすることで、学習への関心を引き付けられる**と考えられる。

■ 指導負担の軽減に関する効果

- ・ デジタル教科書を導入する前は、生徒が触ることのできる図形の模型を実際に作っていたため、**授業準備の時間が軽減**し、その分、生徒の見取りに割ける時間が増えたと考えられる。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考1) 授業全体の使用頻度・使用時間別の教科ごとのサンプル数

- 主なクロス集計の対象となっている、授業でのデジタル教科書の使用頻度・使用時間について、教科別のサンプル数を参考として示します。
- 灰色セルの区分では、標本誤差が大きく（10%超）、分析結果では該当するグラフに◆を記載しています。

教師の回答数

デジタル教科書の使用頻度	全教科
100%（毎授業で使用）	1,750
75%（4回に3回程度は使用）	1,108
50%（半分程度は使用）	1,147
25%（4回に1回程度は使用）	925
25%未満（4回に1回未満）	2,769

デジタル教科書の授業ごとでの使用時間	全教科
30分以上	534
10分以上30分未満	3,307
10分未満	3,858

児童生徒の回答数

小学生（低学年）の使用頻度	国語	算数	全教科
いつも つかう	85	51	219
だいたい つかう	168	38	340
ときどき つかう	178	100	550
たまに つかう	296	163	861
わからない	164	22	465

小学生（中高学年）の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	249	212	215	142	155	1,196
だいたい使う（4回に3回程度）	471	287	321	114	177	1,774
ときどき使う（2回に1回程度）	500	369	382	91	179	2,126
たまに使う（4回に1回程度）	580	770	525	139	278	3,465
使わない	457	834	662	210	423	3,995

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	141	169	202	253	179	1,629
だいたい使う（4回に3回程度）	218	132	230	162	193	1,869
ときどき使う（2回に1回程度）	266	245	244	291	217	2,328
たまに使う（4回に1回程度）	521	418	480	558	265	4,336
使わない	386	967	954	1,327	940	7,737

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考1) 児童生徒一人一人が取り組む学習での使用頻度別の教科ごとのサンプル数

■ (前頁の続き)

教師の回答数

デジタル教科書の使用頻度	全教科
100% (毎授業で使用)	464
75% (4回に3回程度は使用)	760
50% (半分程度は使用)	1,171
25% (4回に1回程度は使用)	1,138
25%未満 (4回に1回未満)	4,166

児童生徒の回答数

小学生 (中高学年) の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	373	256	259	147	191	1,603
だいたい使う (4回に3回程度)	448	282	302	95	186	1,876
ときどき使う (2回に1回程度)	437	407	423	91	183	2,138
たまに使う (4回に1回程度)	440	491	355	73	184	2,324
使わない	559	1,036	766	290	468	4,615

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	205	160	216	301	164	1,974
だいたい使う (4回に3回程度)	245	138	210	225	232	1,954
ときどき使う (2回に1回程度)	247	231	280	313	225	2,363
たまに使う (4回に1回程度)	301	286	353	349	188	2,823
使わない	534	1,116	1,051	1,403	985	8,785

※ 児童生徒は、回答教科の授業において、一人で課題に取り組む場面で使用している頻度を回答。

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考1) 児童生徒が協働的に取り組む学習での使用頻度別の教科ごとのサンプル数

■ (前頁の続き)

教師の回答数

デジタル教科書の使用頻度	全教科
100% (毎授業で使用)	390
75% (4回に3回程度は使用)	641
50% (半分程度は使用)	1,066
25% (4回に1回程度は使用)	1,010
25%未満 (4回に1回未満)	4,592

児童生徒の回答数

小学生 (中高学年) の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	423	262	290	126	173	1,672
だいたい使う (4回に3回程度)	445	306	312	76	151	1,801
ときどき使う (2回に1回程度)	429	338	370	84	183	1,999
たまに使う (4回に1回程度)	353	450	311	89	165	2,075
使わない	607	1,116	822	321	540	5,009

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	211	132	179	285	165	1,833
だいたい使う (4回に3回程度)	202	122	186	233	228	1,892
ときどき使う (2回に1回程度)	289	223	259	299	219	2,378
たまに使う (4回に1回程度)	277	264	305	313	177	2,558
使わない	553	1,190	1,181	1,461	1,005	9,238

※ 児童生徒は、回答教科の授業において、友達と資料や考えをペアで見せ合う場面で使用している頻度を回答。

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考1) 児童生徒が一斉に取り組む学習での使用頻度別の教科ごとのサンプル数

■ (前頁の続き)

教師の回答数

デジタル教科書の使用頻度	全教科
100% (毎授業で使用)	1,248
75% (4回に3回程度は使用)	1,038
50% (半分程度は使用)	1,071
25% (4回に1回程度は使用)	926
25%未満 (4回に1回未満)	3,416

児童生徒の回答数

小学生 (中高学年) の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	458	395	386	182	200	2,128
だいたい使う (4回に3回程度)	502	301	310	85	185	1,883
ときどき使う (2回に1回程度)	376	360	359	88	166	1,933
たまに使う (4回に1回程度)	405	515	328	90	172	2,327
使わない	516	901	722	251	489	4,285

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	263	197	242	305	197	2,284
だいたい使う (4回に3回程度)	213	154	223	243	225	2,088
ときどき使う (2回に1回程度)	284	238	257	334	245	2,454
たまに使う (4回に1回程度)	307	291	323	331	178	2,733
使わない	465	1,051	1,065	1,378	949	8,340

※ 児童生徒は、回答教科の授業において、クラスみんなで取り組む場面で使用している頻度を回答。

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考1) 児童生徒が学んだことを自分で振り返る場面での使用頻度別の教科ごとのサンプル数

■ (前頁の続き)

児童生徒の回答数

小学生（中高学年）の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	322	204	218	117	138	1,352
だいたい使う（4回に3回程度）	436	233	244	65	158	1,532
ときどき使う（2回に1回程度）	408	350	356	97	173	1,987
たまに使う（4回に1回程度）	416	470	349	97	183	2,250
使わない	675	1,215	938	320	560	5,435

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	199	146	142	279	125	1,796
だいたい使う（4回に3回程度）	155	128	156	224	193	1,673
ときどき使う（2回に1回程度）	255	199	257	325	216	2,264
たまに使う（4回に1回程度）	304	264	321	329	197	2,596
使わない	619	1,194	1,234	1,434	1,063	9,570

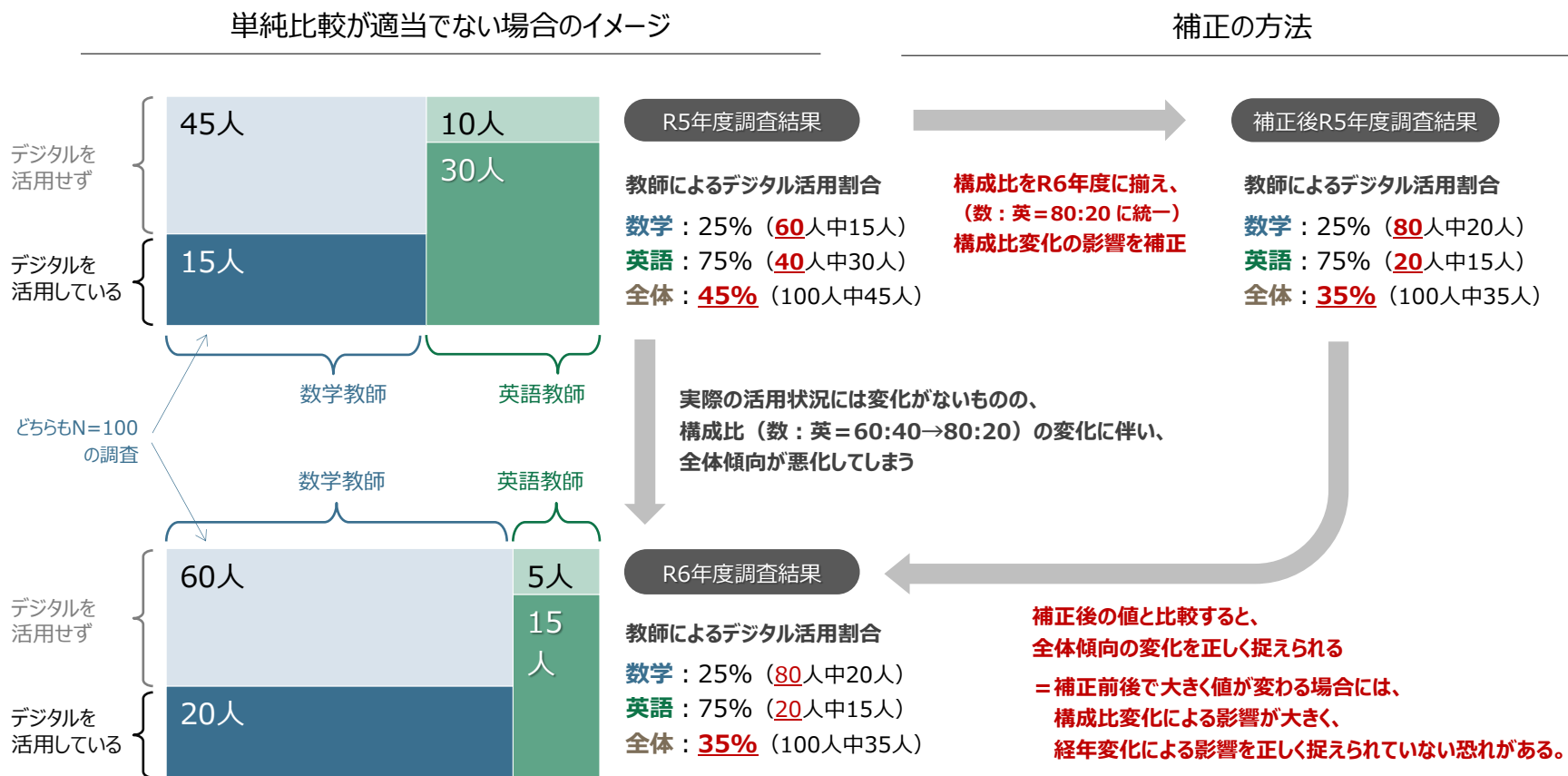
※ 本設問は児童生徒のみ回答。

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考2) 経年変化分析の留意点：回答者構成の変化に伴う影響（1/2）

- 過年度の調査結果と比較する際、年度間で回答者の構成（教科の構成比）が著しく異なる場合には、単純比較が適当でない（時系列的な傾向を正しく捉えられない）可能性があります。（左図）
- 回答者構成の差異による影響の大きさを評価するために、“過年度調査の回答者構成”を“今年度調査の回答者構成”と揃えることによって、調査結果の補正を行い、補正前の値と補正後の値の比較・検証を行います。
- このとき、補正前後で大きく値が変わる場合には、“構成比の変化による影響”が大きく、単純比較では、“経年変化による影響”を正しく捉えられていない恐れがあります。

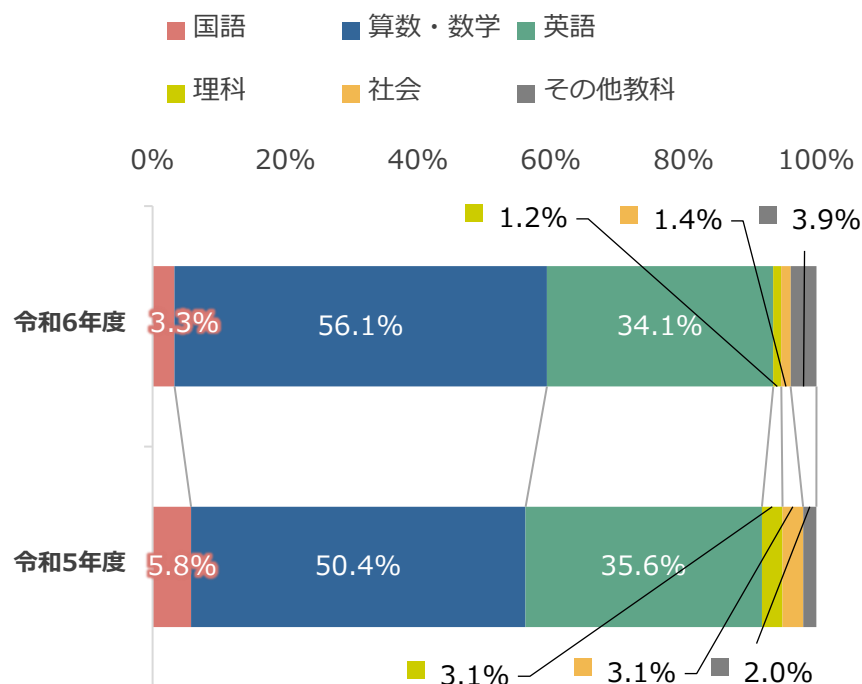


3. 大規模アンケート調査等の分析結果

(参考2) 経年変化分析の留意点：回答者構成の変化に伴う影響（2/2）

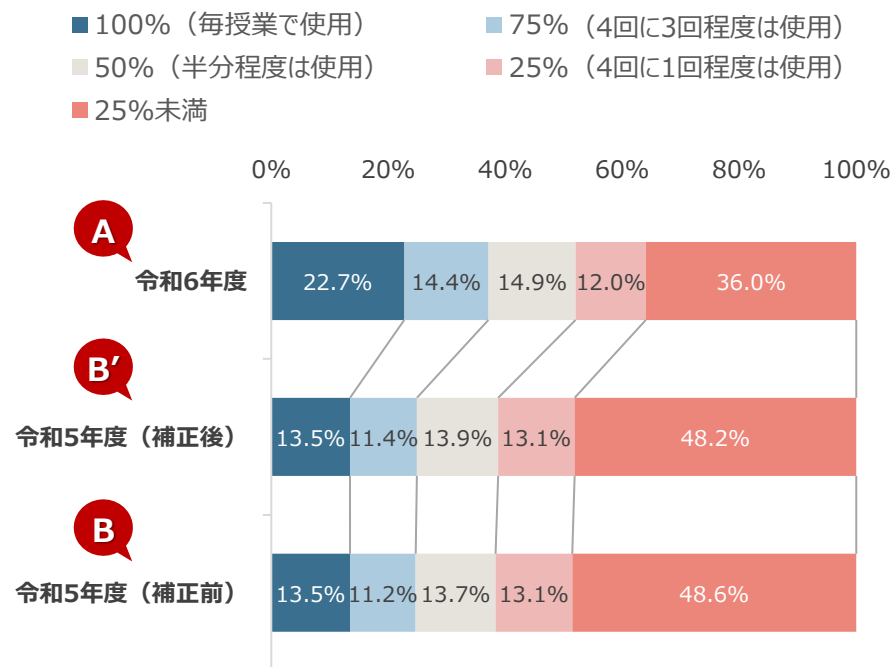
- 令和5年度調査と令和6年度調査の教科構成比を比較すると、「算数・数学」の割合が5.7ポイント増加しており、それに伴い、「英語」、「国語」など他教科の割合が減少しています。（左図）
- 一方、主要指標である「教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度」（令和5年度調査結果）について、補正前（右図B）と補正後（右図B'）を比較すると、その差異は最大0.4%となっています。このように、“構成比の変化による影響”（右図BとB'の差異）は“経年変化による影響”（右図AとB'の差異）に比べると小さく、無視できる程度と考えられます。
- 上記のように、分析の中で“経年変化による影響”が見られる際は、“構成比の変化による影響”にも留意した上で、報告書の記載を行っております。

教科構成比の比較



補正前後の値の比較

教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度



4. 主な分析結果のまとめ



4. 主な分析結果のまとめ（1/5）

- 各分析テーマにおける、主な分析結果は以下のとおりです。

1 授業中のデジタル教科書の使用状況

p.21

教師向け調査の結果から

- 令和6年度までの3か年分の調査結果を比較すると、教師の授業中でのデジタル教科書の使用頻度は、全ての教科で年々高まっている。
- 学習場面ごとに比較すると、デジタル教科書を使用した「児童生徒が一齐に取り組む学習」は多くの教員（56%）が行えている一方、デジタル教科書を使用した「児童が一人一人で行う学習」（46%）、「児童生徒が協働的に取り組む学習」（40%）は比較的に少ない。

児童生徒向け調査の結果から

- 過年度と比較すると、いずれの発達段階でも、授業中のデジタル教科書の使用頻度は高まっており、令和6年度では62%の児童生徒が授業の4回に1回以上の頻度でデジタル教科書を使用している。
- 教師向け調査と同様に、一齐（クラスみんなで取り組む場面）、個別（一人で課題に取り組む場面）、協働（友達と資料や考えをペアで見せ合う場面）の順に使用頻度が高い傾向が見られている。

2 デジタル教科書による授業負担の増減効果

p.40

教師向け調査の結果から

- 過年度調査と比較して、全体的にデジタル教科書による授業負担の軽減を感じている教師の割合が増えている。
特に、児童生徒の手元の画面上や大型提示装置への表示に切り替えたことによる負担軽減について、「あてはまる」と回答した割合は、令和4年度から増加している。
- 授業準備、授業中、授業後のいずれも場面においても、デジタル教科書を授業内で使用している頻度が高い方が（また、授業内で使用している時間が長い方が）、授業に関する負担が軽減したと回答した割合が高い。

4. 主な分析結果のまとめ（2/5）

- （前頁の続き）

3 使用場面別のデジタル教科書と紙教科書との比較

p.51

教師向け調査の結果から

- 個別学習、協働学習、一斉学習のいずれの場面においても、デジタル教科書を「毎授業で使用」と回答したグループは、「4回に1回未満」と回答したグループに比べ、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。
- 「場面に応じて、学習媒体を教師が指定する場合と児童生徒が自由に選択する場合がある」形式で授業をしていると回答した教師は、「学習媒体を児童生徒が自由に選択している」、「学習媒体を教師が指定している」形式で授業をしていると回答した教師よりも、個別学習、協働学習、一斉学習のすべての場面において、デジタル教科書の優位性を感じる割合が高い。回答教科の各学習場面において達成すべき「教科のねらい」を深く理解した上で、そのねらいを達成するためにデジタルの良さ、紙の良さを理解した上で、有効な学習媒体を選択していると考えられる。それ故に、デジタル教科書の持つ優位性を引き出している可能性がある。
- 経年変化に増減が見られる項目があることから、デジタル教科書の活用が進み、教師が試行錯誤しながらデジタル教科書の優位性を模索している段階であることが示唆される。

4 デジタル教科書を使用するに当たっての課題感

p.64

教師向け調査の結果から

- 過年度調査と比較して、デジタル教科書の課題が「特にない」と回答した教師の割合は、年々増加している。また、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」と回答した教師の割合は年々減少している。
- 「本年度に初めて使用する」教師に比べ、「令和2年度以前に使用したことがある」教師は、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」ことを課題に感じている割合が低い。デジタル教科書の習熟度に応じて、効果的な活用方法を習得できていることが一因として考えられる。

4. 主な分析結果のまとめ（3/5）

- （前頁の続き）

5 児童生徒のデジタル教科書の使用感

p.68

児童生徒向け調査の結果から

- いずれの発達段階でも、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べて、デジタル教科書の使用感を肯定的に捉える傾向にある。
- 中高学年、中学生ともに、デジタル教科書の使用頻度が高い方が、デジタル教科書について「使いづらいと感じたことはない」と回答した児童生徒の割合が高くなっている。

6 デジタル教科書が内容理解や主体的・対話的で深い学び等に与える影響

p.78

児童生徒向け調査の結果から

- 中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
特に振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が高くなっている。
- 中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
特に個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が高くなっている。
- 中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、対話的で深い学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
特に協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループよりも、「当てはまる」と回答した割合が高くなっている。

7 児童生徒の健康面への影響

p.100

児童生徒向け調査の結果から

- 中高学年の過半数の児童が、授業中の目と教科書の距離について注意できていたと回答している。
- 中学生の過半数の生徒が、授業中の姿勢及び目と教科書の距離について注意できていたと回答している。

4. 主な分析結果のまとめ（4/5）

- （前頁の続き）

8 デジタル教科書を用いた家庭学習の出題状況

p.101

教師向け調査の結果から

- 教科全体で見ると、デジタル教科書または端末を使った家庭学習課題を出している教師が3割強存在する。
教科別では、中学校英語で、デジタル教科書を使った家庭学習を出している割合が高い。本文の学習や音読練習にデジタル教科書を使うケースが多いことが一因として考えられる。
- 個別学習、協働学習、一斉学習のいずれについても、「デジタル教科書を使用した家庭学習を出している」と回答したグループは、他の回答グループに比べて、デジタル教科書に肯定的な回答を示している。

9 児童生徒による家庭学習でのデジタル教科書の使用頻度が授業中の学びに与える影響

p.106

児童生徒向け調査の結果から

- 中高学年、中学生ともに、家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、その他の回答グループに比べ、授業中自分で振り返る場面、授業中友達と資料や考えをペアで見せ合う場面、クラスみんなで取り組む場面でのデジタル教科書の使用頻度が高い傾向にある。
- 家庭学習でデジタル教科書を「いつも使う」グループと「使わない」グループにおける、授業中の各場面で「いつも使う」の回答割合の差は、中高学年では36～39ポイント、中学生では49～53ポイントであり、中学生の方が差が顕著である。

4. 主な分析結果のまとめ（5/5）

■ （前頁の続き）

10 デジタル教科書に関する情報に触れた経験

p.110

教師向け調査の結果から

- 令和5年度と比較して、デジタル教科書に関する情報に触れた経験のある教師の割合は増えており、特に研修等で触れたことがある教師の割合が多く増加している。
- デジタル教科書に関する研修を受けた経験があると回答した教師は、研修を受けたことがないと回答した教師に比べ、授業中の使用頻度・使用時間ともに高い。
- 講義型の研修を受けたと回答したグループよりも、研究授業や模擬授業、ワークショップ等の体験型の研修を受けたと回答したグループの方が、デジタル教科書を4回に3回以上使用している割合が高い。

11 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書が有効と感じる観点

p.114

教師向け調査の結果から

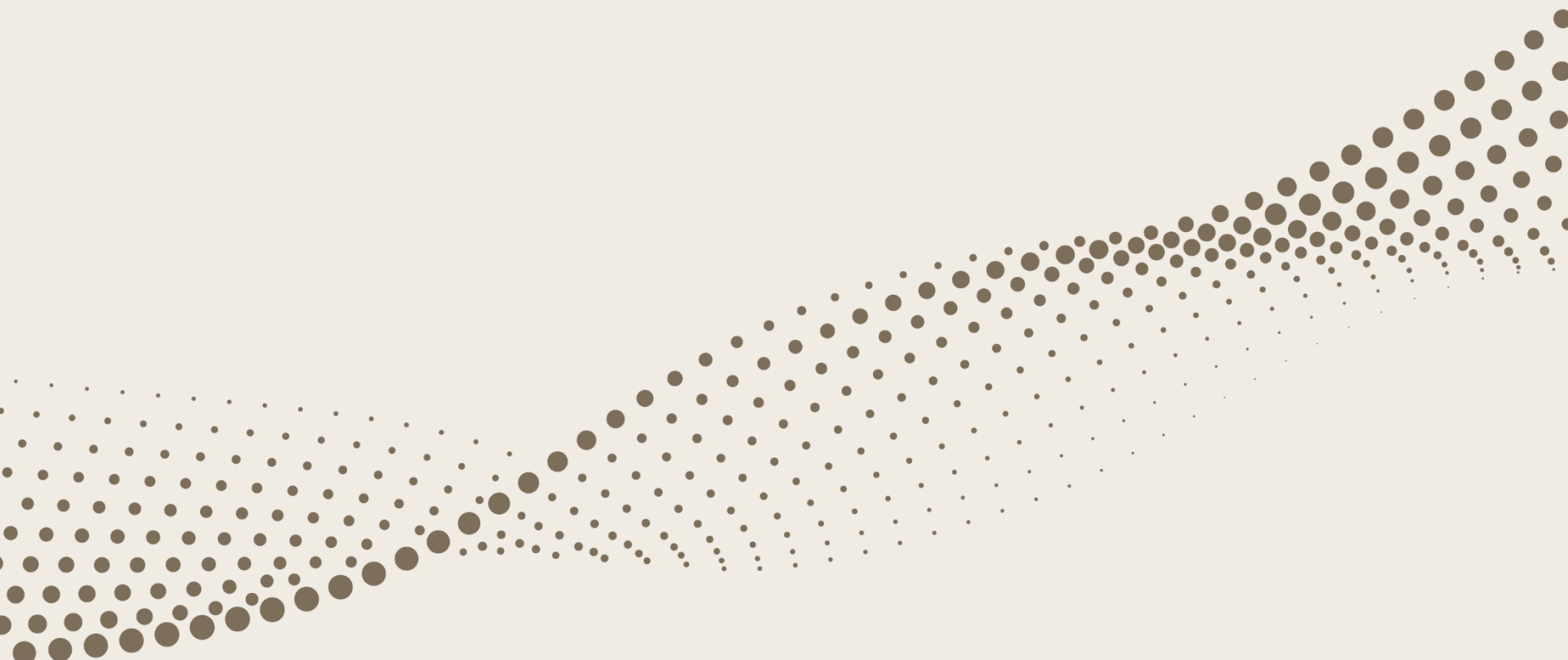
- 特別な配慮が必要な児童生徒のうち、情緒障害、知的障害、発達障害の順に、デジタル教科書の有効性を感じると回答した教師の割合が多い。
- 発達障害（ADHD、ASD）の生徒に対する、デジタル教科書の活用方法の一例として、「拡大機能を活用することで、集中的に確認したい部分のみを大きく表示する」、「図形の単元で、デジタル教科書のコンテンツを活用し、図形を自由に回転させたり、辺の数を数える際に色を付けたり、背景を透かして図形の確認をさせたりする」等がある。

■ 補足事項：

- 教科の学習におけるデジタル教科書の活用方法の詳細については、以下の資料も参照のこと。

【デジタル教科書を活用した授業改善 報告書】 https://www.mext.go.jp/content/20250425-mxt_kyokasyo01-000041995_2.pdf





アビーム、ABeam及びそのロゴは、アビームコンサルティング株式会社の日本その他の国における登録商標です。
本文に記載されている会社名及び製品名は各社の商号、商標又は登録商標です。 ©2025 ABeam Consulting Ltd.



Build Beyond As One.